

## . 調 査 結 果

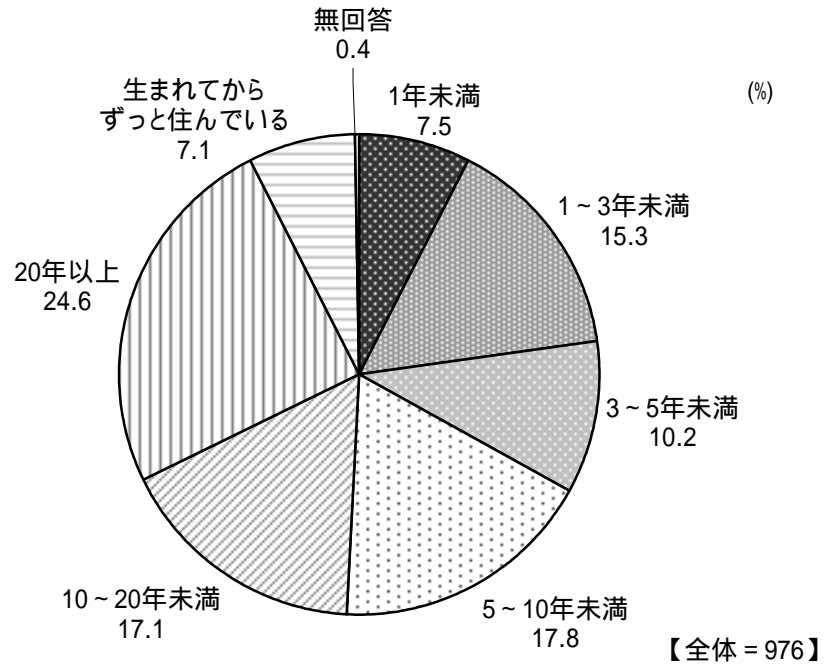
# 調査結果

## 1. 市民の定住状況

### (1) 居住年数

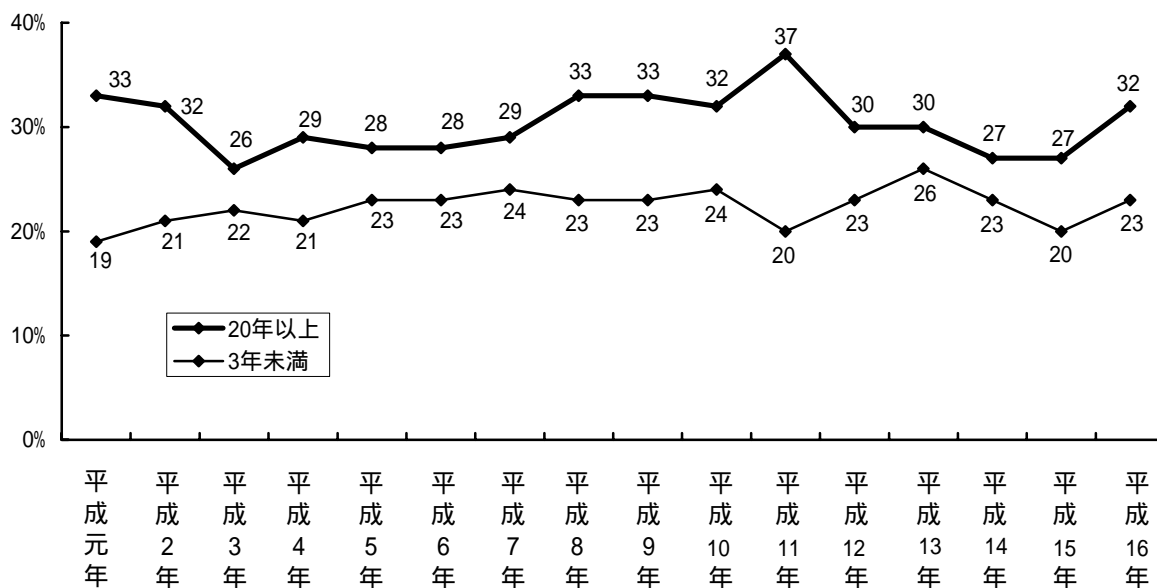
問1 さっそくですが、今のところにお住まいになって、何年になりますか。(1つだけ)

図 1 - 1 回答者数



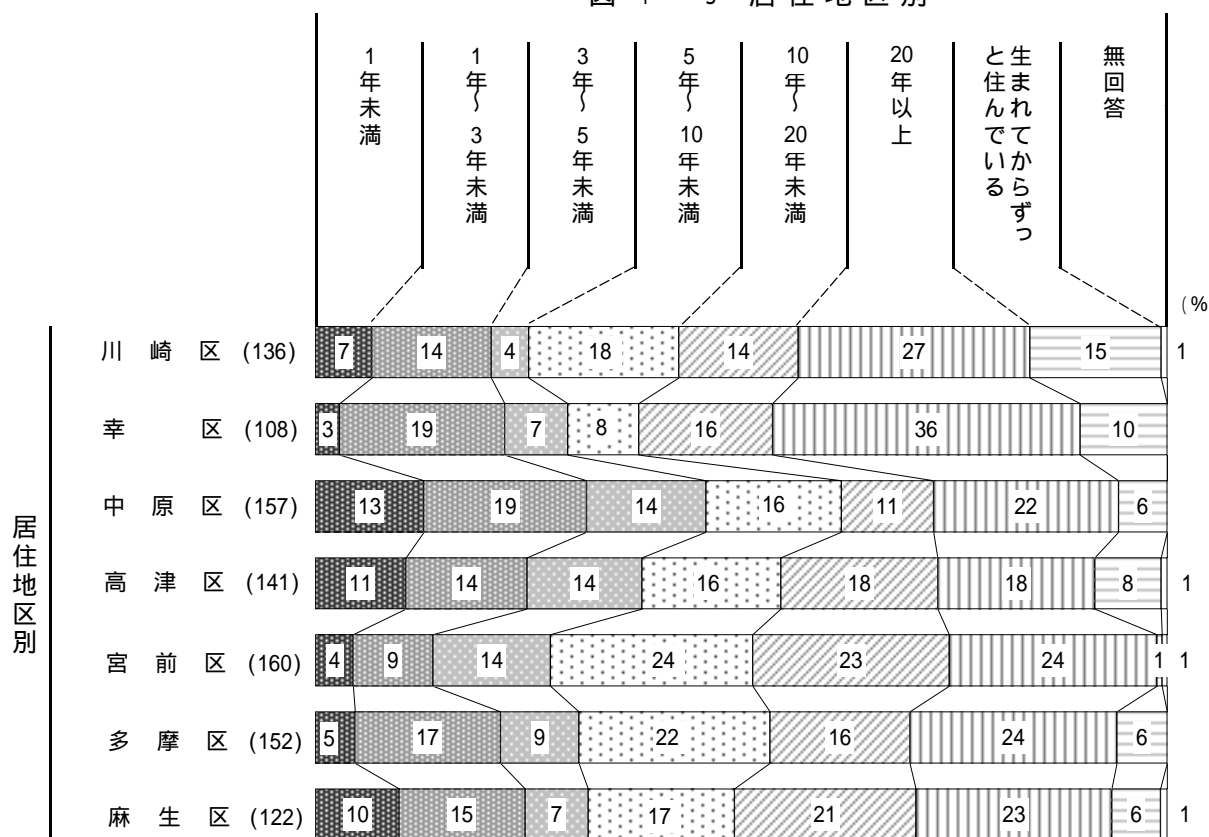
- ・全体で「20年以上」の率が(24.6%)と最も高い。「生まれてからずっと住んでいる」(7.1%)を合計すると(31.7%)で、どの居住層よりも高い結果となっている。

図 1 - 2 過去の推移



・過去の推移で、昨年と比較すると「20年以上」と「生まれてからずっと住んでいる」を合計した率が、(27%)から(32%)へ5%上昇している。他方、「3年未満」も(20%)から(23%)へ3%上昇している。

図 1 - 3 居住地区別



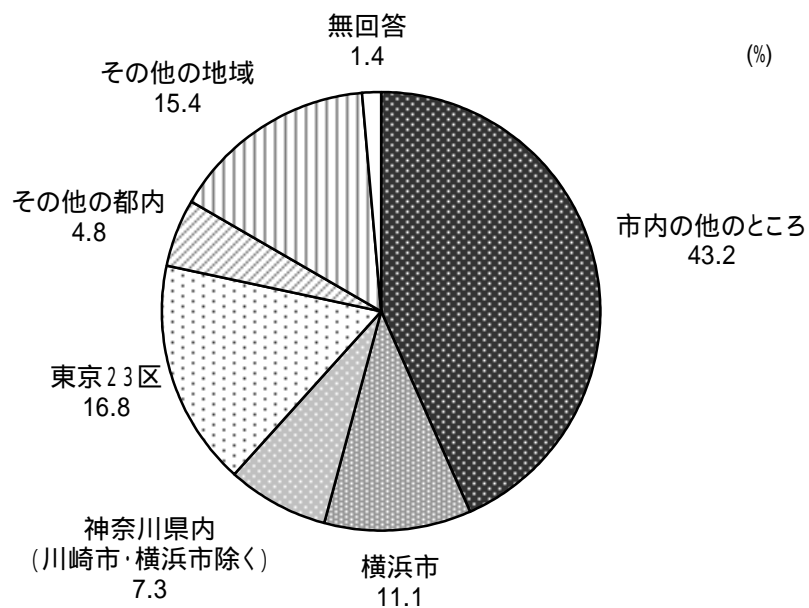
・居住地区別では、幸区で「20年以上」と「生まれてからずっと住んでいる」を合計した率が(46%)と最も高く、次いで川崎区(42%)の順となっている。

(1) - 1 以前の居住地

(問1で、1～6のいずれかを答えた方に)

問1 - 1 今のところに住む以前はどちらにお住まいでしたか。(1つだけ)

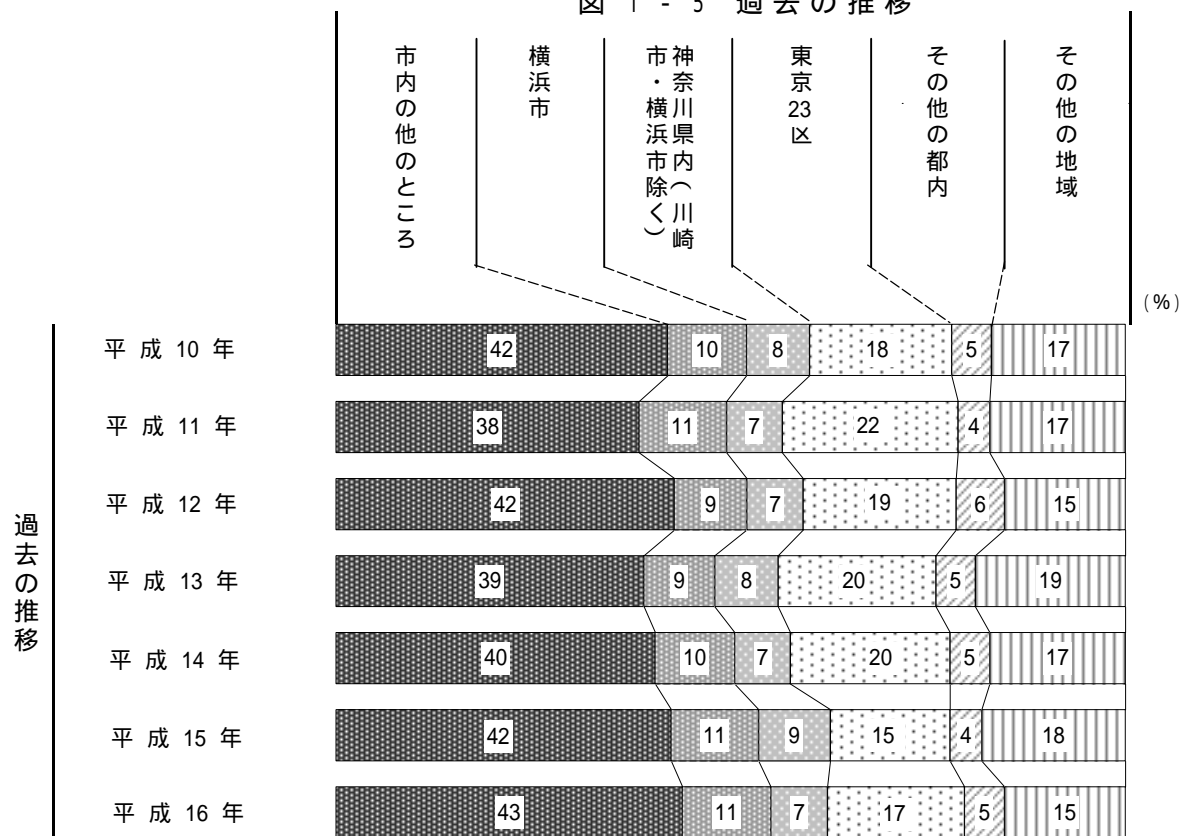
図 1 - 4 回答者数



【n = 903】

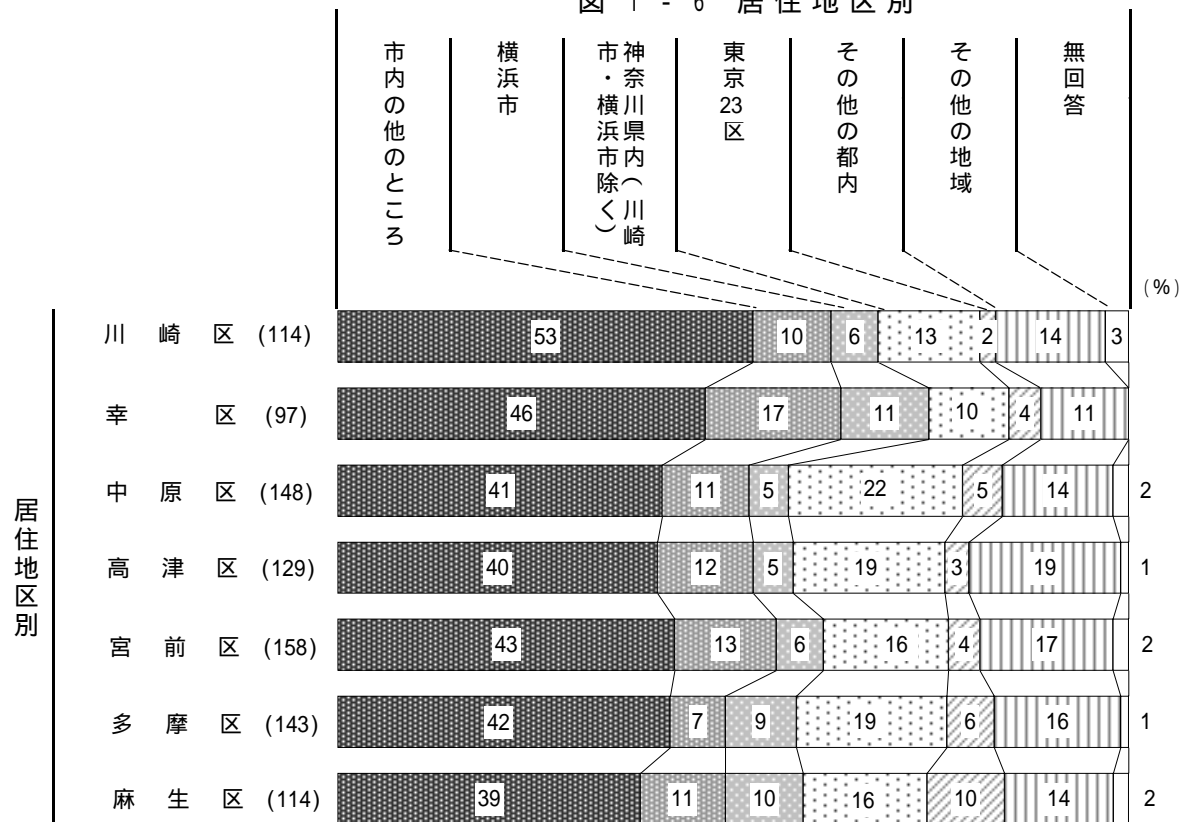
・以前の居住地では、「市内の他のところ」が(43.2%)で、他地域に比べ断然高い。

図 1 - 5 過去の推移



・過去の推移で昨年と比較すると「市内の他のところ」は、(42%)から(43%)と殆ど変化していない。

図 1 - 6 居住地区別

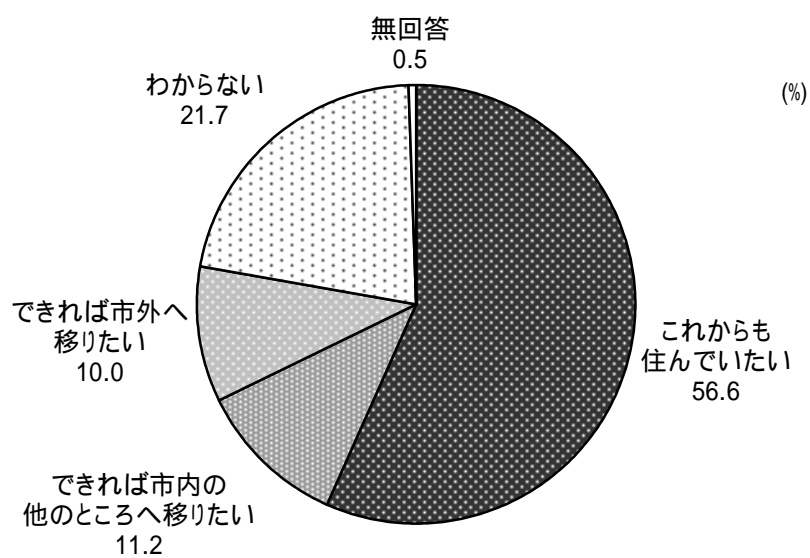


・居住区別では、「市内の他のところ」が最も高い区は、川崎区(53%)。次いで幸区の(46%)の順となっている。

## (2) 定住意向

問2 あなたは、これからも今のところにお住まいになりたいですか。(1つだけ)

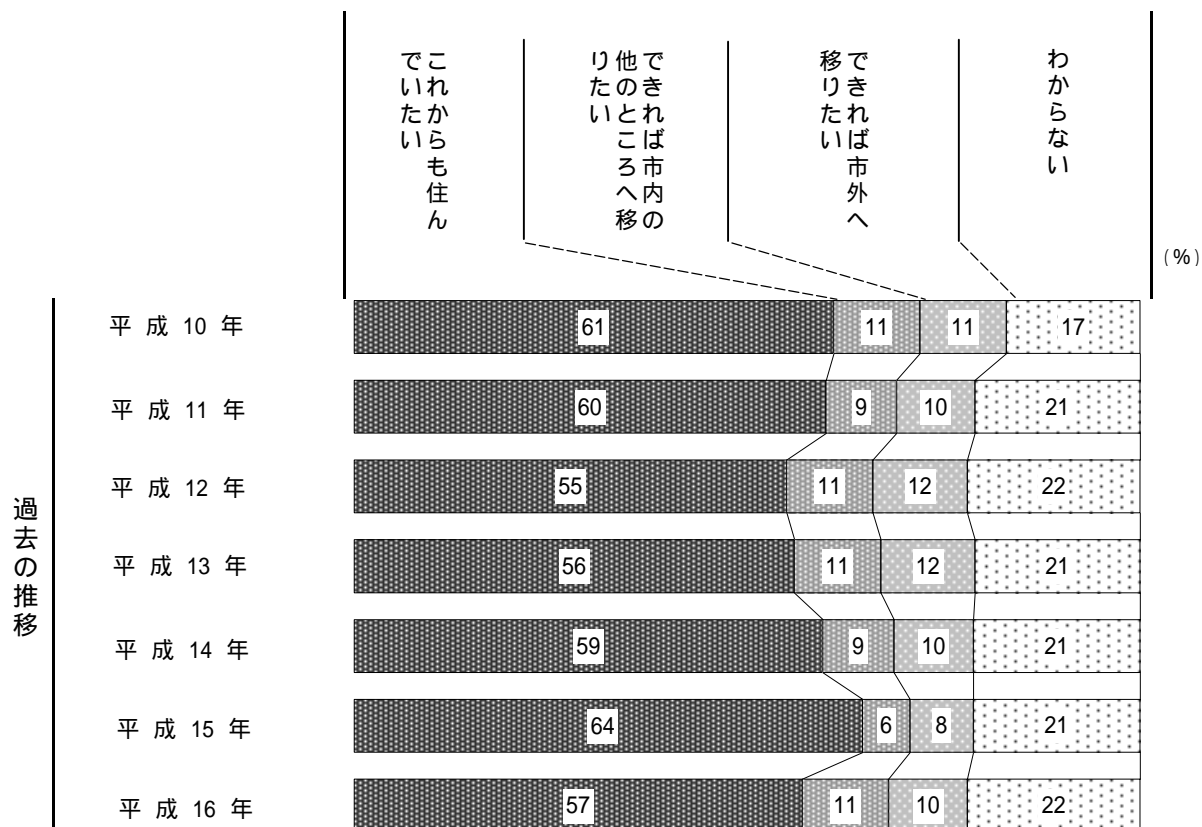
図 2 - 1 回答者数



【全体 = 976】

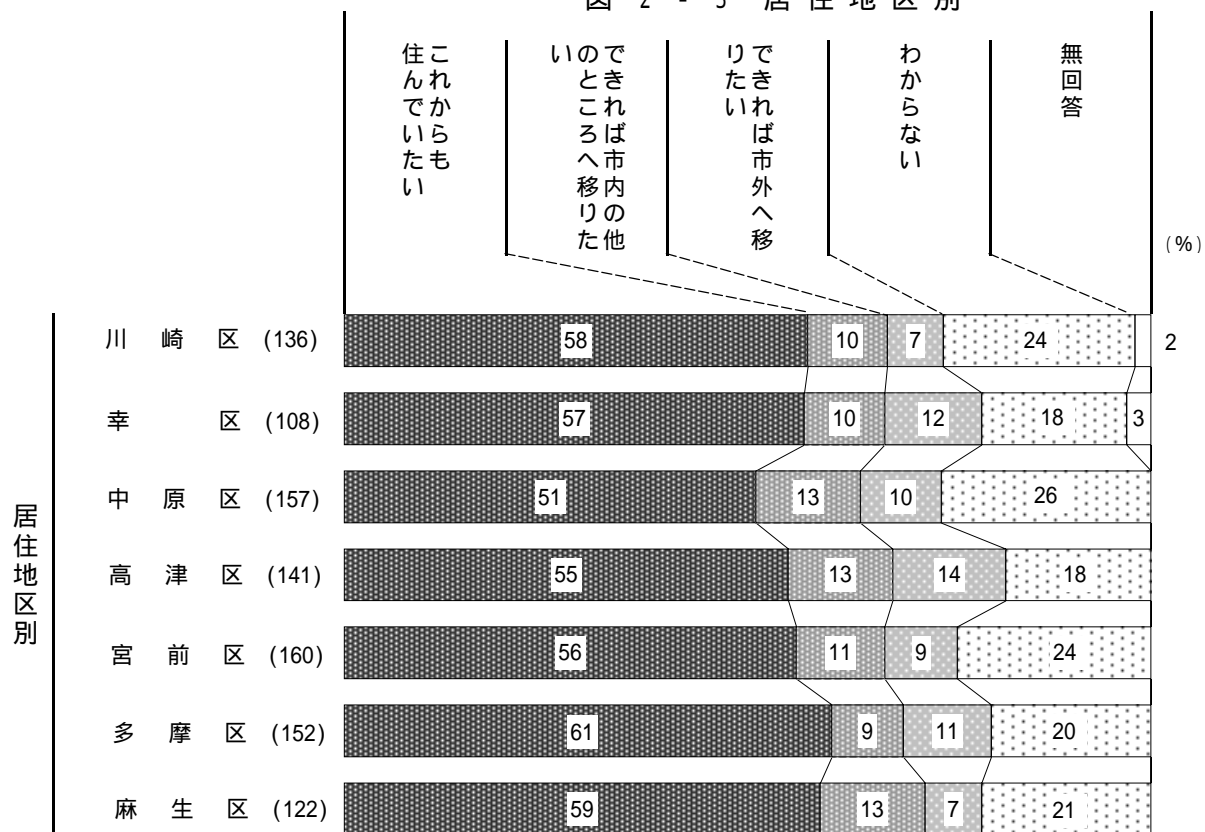
- ・ 定住意向で「これからも住んでいたい」の率は、全体の(56.6%)である。
- ・ 「できれば市内の他のところへ移りたい」と「できれば市外へ移りたい」を合計した転居意向の率は、(21.2%)である。

図 2 - 2 過去の推移



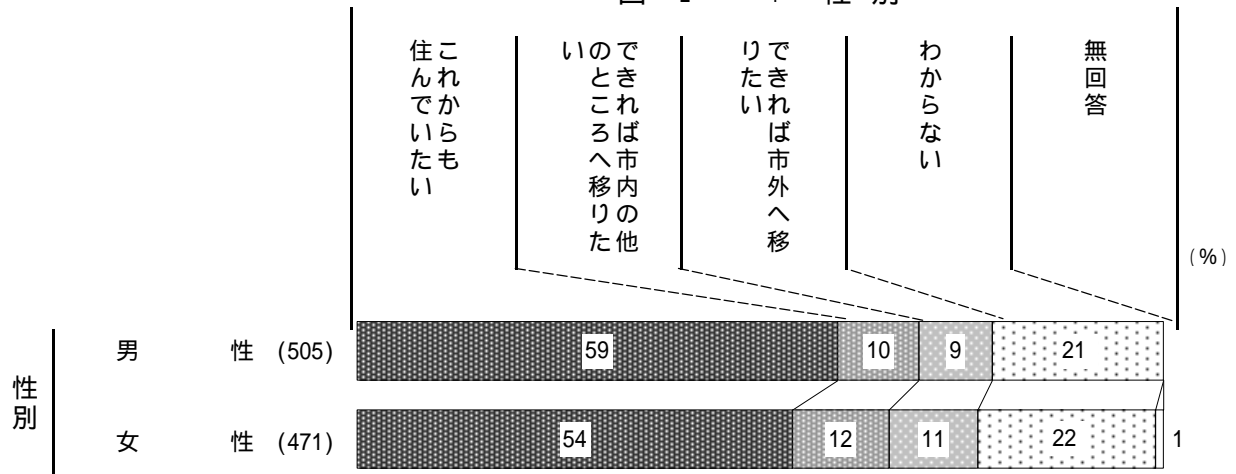
・過去の推移で、昨年と比較すると「これから住んでみたい」率は、(64%)から(57%)と7%低下している。一方、「できれば市内の他のところへ移りたい」が、昨年の(6%)から(11%)と5%上昇している。

図 2 - 3 居住地区別



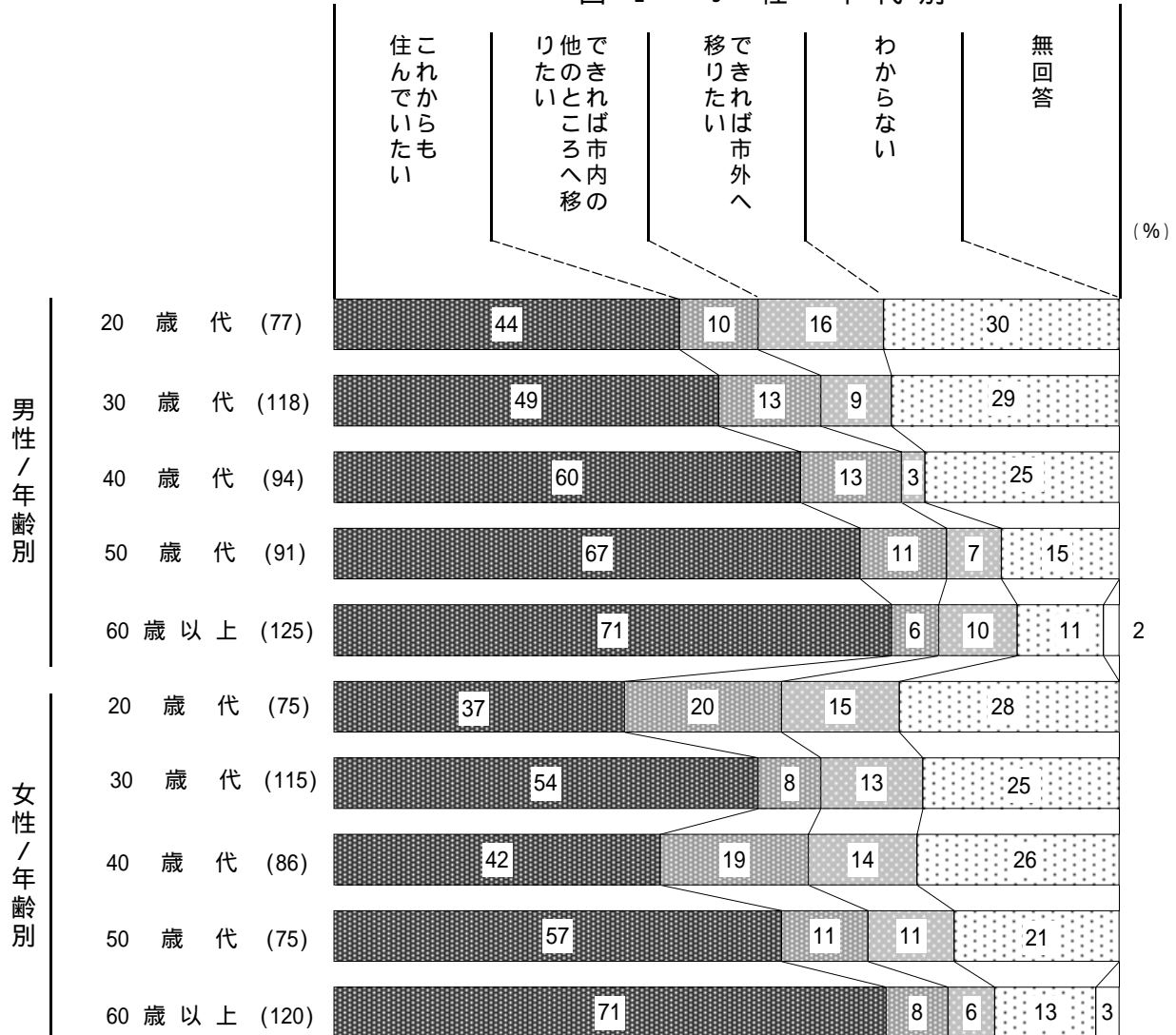
・居住地区別で「これから住んでみたい」の率が最も高いのは、多摩区の(61%)で最も低いのは中原区の(51%)である。

図 2 - 4 性別



・「これからも住んでいたい」は、男性の方が(5%)女性より高い。

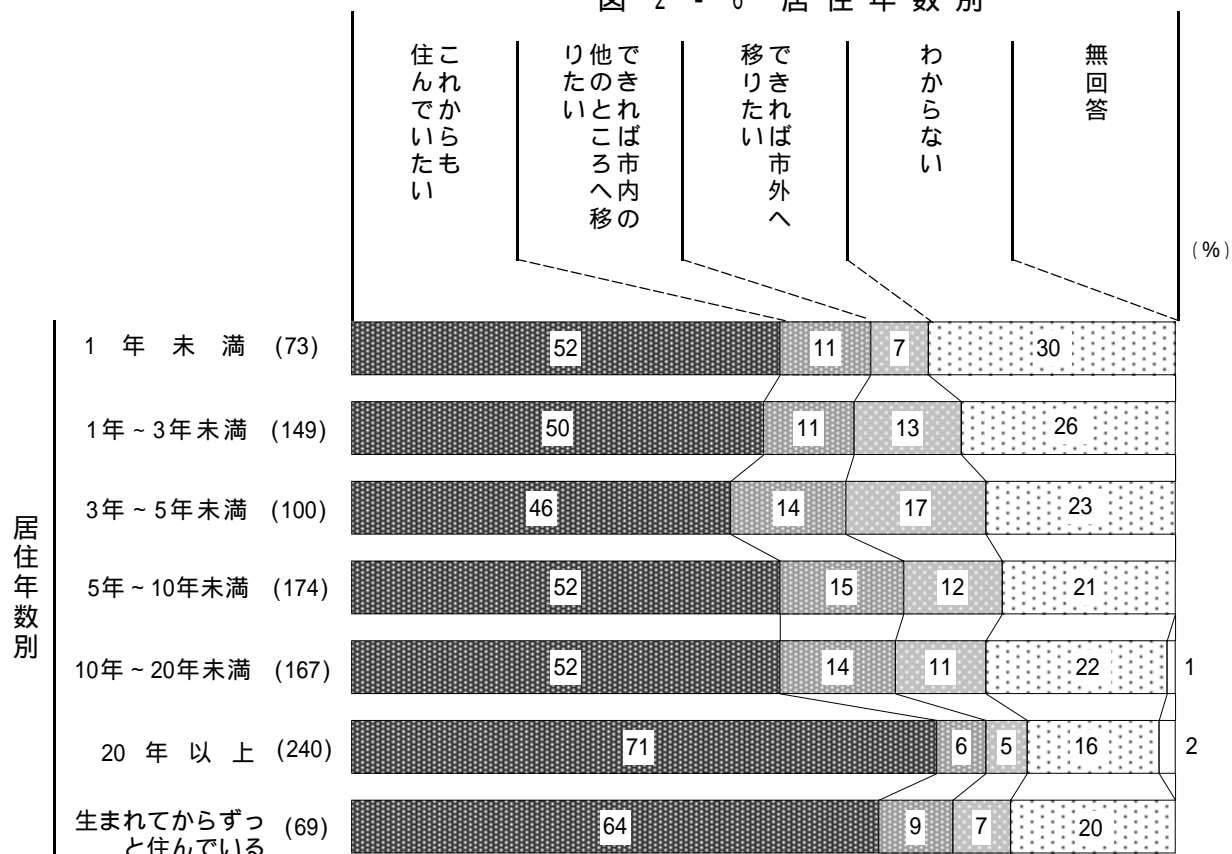
図 2 - 5 性・年代別



・性、年代別で「これからも住んでいたい」率は、男女とも年代が上がるにつれ上昇している傾向ではあるが、女性は30歳代(54%)と40歳代(42%)で逆転している。



図 2 - 6 居住年数別



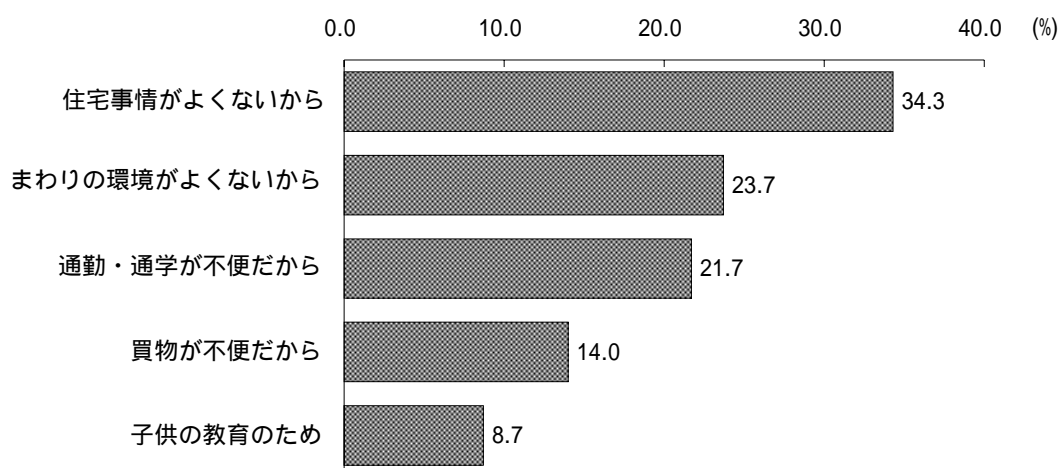
- ・「これからも住んでいたい」の率で、最も高いのは「20年以上」の(71%)。次いで「生まれてからずっと住んでいる」の(64%)順になっている。
- ・他方、「これからも住んでいたい」の率が、最も低いのは「3～5年未満」の(46%)である。

## (2) - 1 移住希望の理由

(問2で、2または3と答えた方に)

問2 - 1 今のところから移りたいという主な理由は何ですか。(2つまで)

図 2 - 7 回答者数



【n = 207】

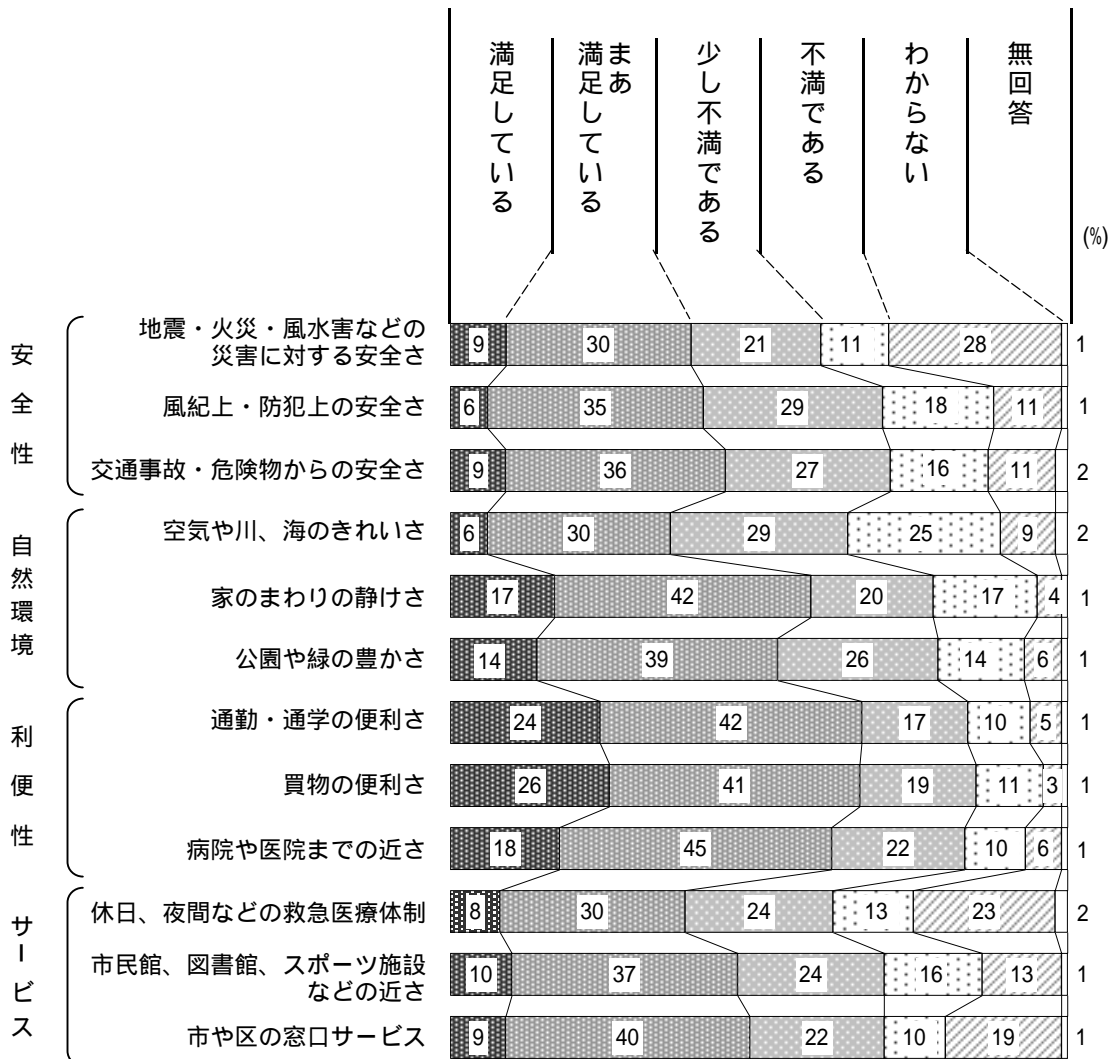
・転居意向の理由の中で最も多いのが、「住宅事情がよくないから」の(34.3%)である。

## 2. 生活環境の評価

### (1) 生活環境満足度

問3 あなたの住まいの周りの生活環境についてお伺いします。次にあげることについてどの程度満足していますか。(各項目ごとにあてはまる番号を1つだけ)

図 3 - 1 回答者数



【全体 = 976】

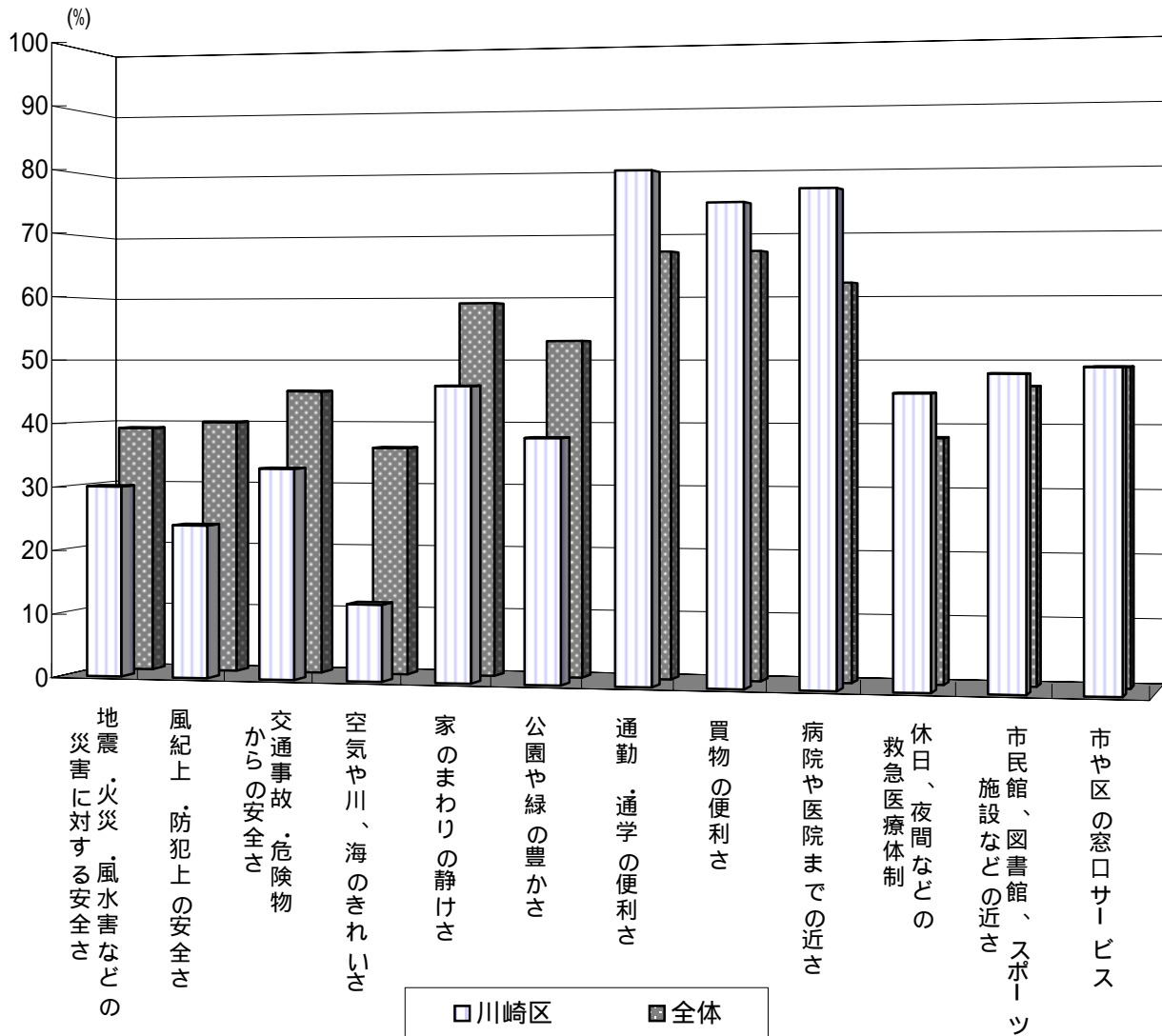
- ・生活環境満足度で「満足している」と「まあ満足している」を合計した「満足度」で最も高いのは「買物の便利さ」(67%)、及び「通勤・通学の便利さ」(66%)である。
- ・他方、最も低いのは「空気や川、海のきれいさ」(36%)、及び「休日、夜間などの救急医療体制」(38%)である。

## 川崎区生活環境満足度

「満足している」+「まあ満足している」= 合計の率で表示

(%)	地震・火災・風水害などの災害に対する安全さ	風紀上・防犯上の安全さ	交通事故・危険物からの安全さ	空気や川、海のきれいさ	家のまわりの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買物の便利さ	病院や医院までの近さ	休日、夜間などの救急医療体制	市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ	市や区の窓口サービス
川崎区	30	24	33	12	46	38	79	74	76	45	48	49
全体	39	40	45	36	59	53	67	67	62	38	46	49

図 3 - 2 川崎区生活環境満足度



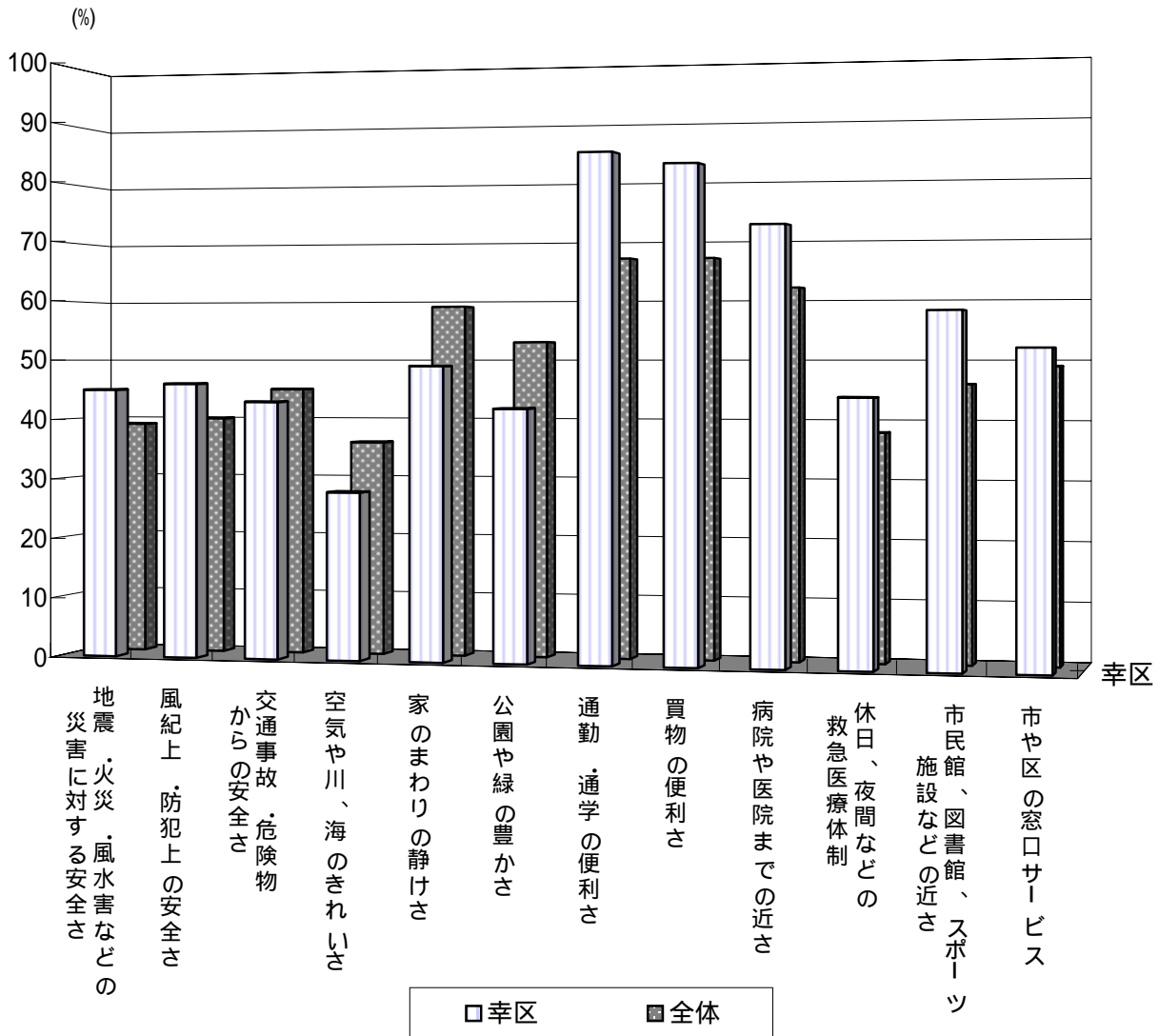
- ・川崎区が（70％）台で、市全体平均を上まわっているのは「通勤・通学の便利さ」（79％）、「病院や医院までの近さ」（76％）、「買物の便利さ」（74％）である。
- ・川崎区で最も低いのは、「空気や海のきれいさ」（12％）で、市全体平均より（24％）下回っている。

## 幸区生活環境満足度

「満足している」+「まあ満足している」= 合計の率で表示

(%)	地震・火災・風水害などの災害に対する安全さ	風紀上・防犯上の安全さ	交通事故・危険物からの安全さ	空気や川、海のきれいさ	家のまわりの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買物の便利さ	病院や医院までの近さ	休日、夜間などの救急医療体制	市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ	市や区の窓口サービス
幸区	45	46	43	28	49	42	84	82	72	44	58	52
全体	39	40	45	36	59	53	67	67	62	38	46	49

図 3 - 3 幸区生活環境満足度



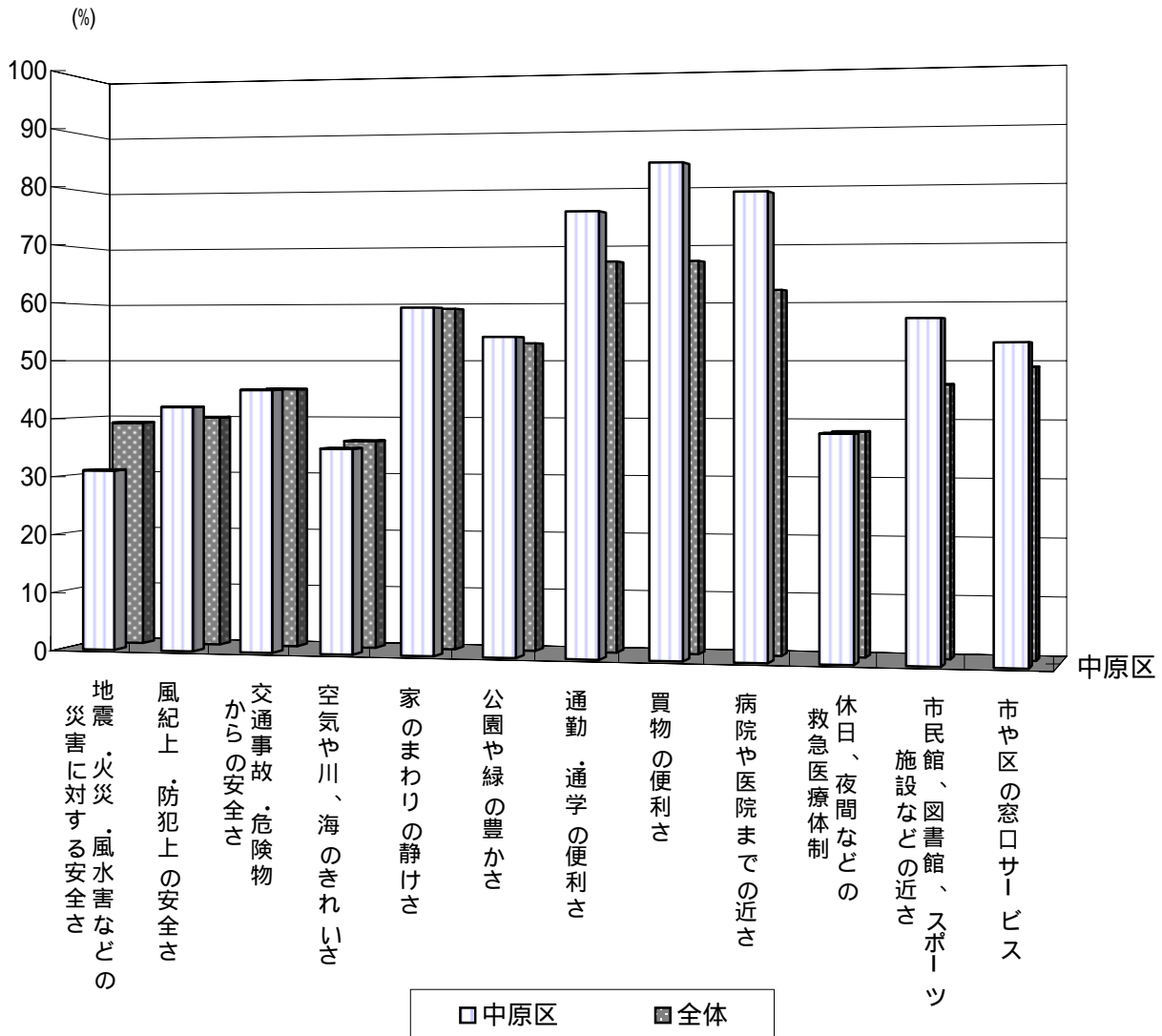
- ・ 幸区が（80％）台で市全体平均を上まわっているのは、「通勤・通学の便利さ」（84％）、「買物の便利さ」（82％）である。
- ・ 幸区で最も低いのは、「空気や川、海のきれいさ」（28％）で、市全体平均より（8％）下回っている。

## 中原区生活環境満足度

「満足している」+「まあ満足している」= 合計の率で表示

(%)	地震・火災・風水害などの災害に対する安全さ	風紀上・防犯上の安全さ	交通事故・危険物からの安全さ	空気や川、海のきれいさ	家のまわりの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買物の便利さ	病院や医院までの近さ	休日、夜間などの救急医療体制	市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ	市や区の窓口サービス
中原区	31	42	45	35	59	54	75	83	78	38	57	53
全体	39	40	45	36	59	53	67	67	62	38	46	49

図 3 - 4 中原区生活環境満足度



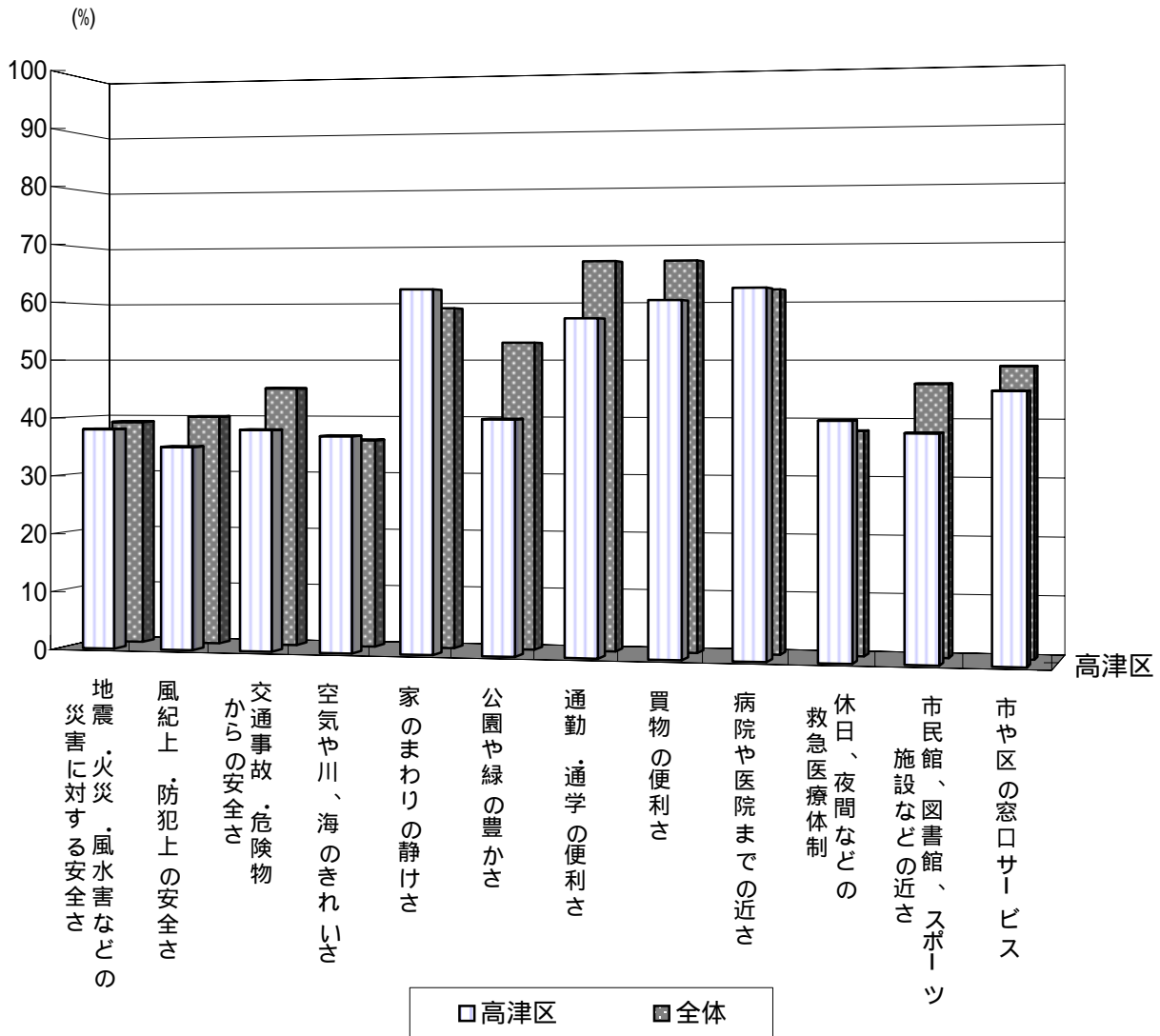
- ・ 中原区が（70％）台以上で、市全体平均を上まわっているのは、「買物の便利さ」（83％）、「病院や医院までの近さ」（78％）、「通勤・通学の便利さ」（75％）である。
- ・ 中原区で最も低いのは、「地震・火災・風水害などの災害に対する安全さ」の（31％）で、市全体平均より（8％）下回っている。

## 高津区生活環境満足度

「満足している」+「まあ満足している」= 合計の率で表示

(%)	地震・火災・風水害などの災害に対する安全さ	風紀上・防犯上の安全さ	交通事故・危険物からの安全さ	空気や川、海のきれいさ	家のまわりの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買物の便利さ	病院や医院までの近さ	休日、夜間などの救急医療体制	市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ	市や区の窓口サービス
高津区	38	35	38	37	62	40	57	60	62	40	38	45
全体	39	40	45	36	59	53	67	67	62	38	46	49

図 3 - 5 高津区生活環境満足度



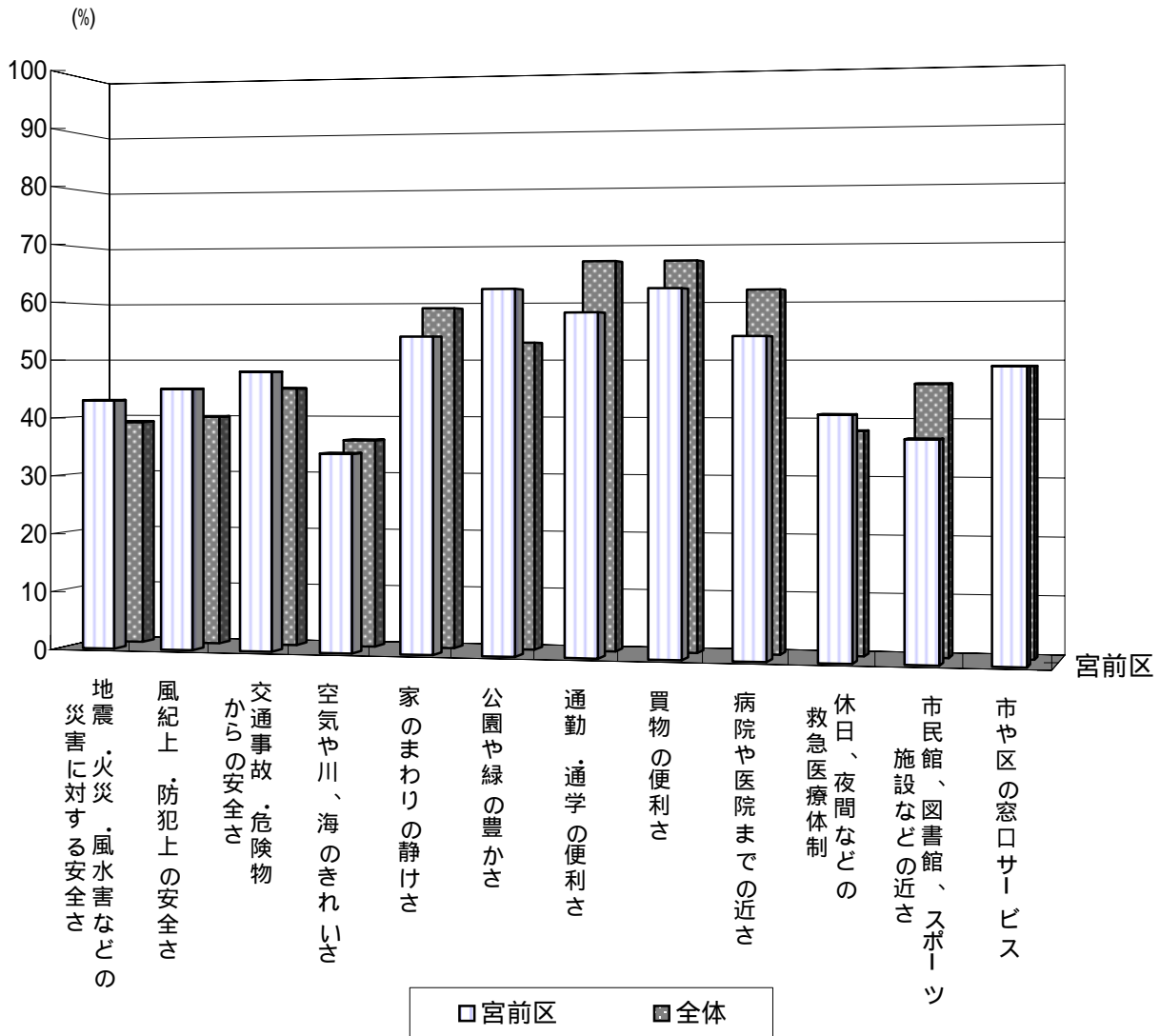
- ・高津区で（60％）台は3項目である。そのうち、市全体平均を上回る項目は「家のまわりの静けさ」（62％）である。市全体と同率は、「病院や医院までの近さ」（62％）で、「買物の便利さ」は（60％）で、市全体平均より（7％）下回っている。

## 宮前区生活環境満足度

「満足している」+「まあ満足している」= 合計の率で表示

(%)	地震・火災・風水害などの災害に対する安全さ	風紀上・防犯上の安全さ	交通事故・危険物からの安全さ	空気や川、海のきれいさ	家のまわりの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買物の便利さ	病院や医院までの近さ	休日、夜間などの救急医療体制	市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ	市や区の窓口サービス
宮前区	43	45	48	34	54	62	58	62	54	41	37	49
全体	39	40	45	36	59	53	67	67	62	38	46	49

図 3 - 6 宮前区生活環境満足度



- ・宮前区の（60％）台で、市全体平均を上まわっているのは、「公園や緑の豊かさ」（62％）である。
- ・「買物の便利さ」も（62％）であるが、市全体平均より（5％）下回っている。
- ・宮前区で最も低いのは、「空気や川、海のきれいさ」の（34％）で、市全体平均より（2％）下回っている。

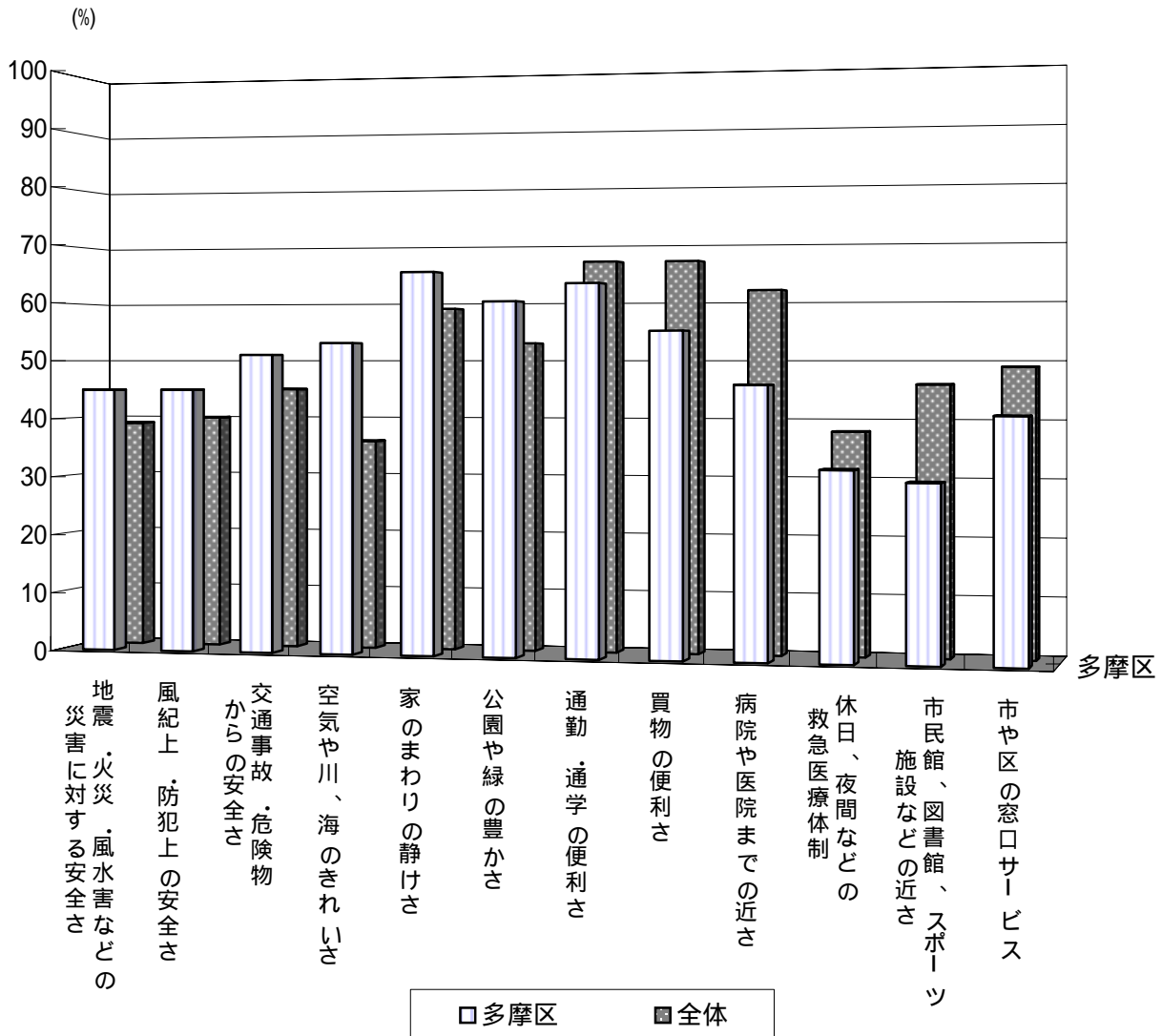


## 多摩区生活環境満足度

「満足している」+「まあ満足している」= 合計の率で表示

(%)	地震・火災・風水害などの災害に対する安全さ	風紀上・防犯上の安全さ	交通事故・危険物からの安全さ	空気や川、海のきれいさ	家のまわりの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買物の便利さ	病院や医院までの近さ	休日、夜間などの救急医療体制	市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ	市や区の窓口サービス
多摩区	45	45	51	53	65	60	63	55	46	32	30	41
全体	39	40	45	36	59	53	67	67	62	38	46	49

図 3 - 7 多摩区生活環境満足度



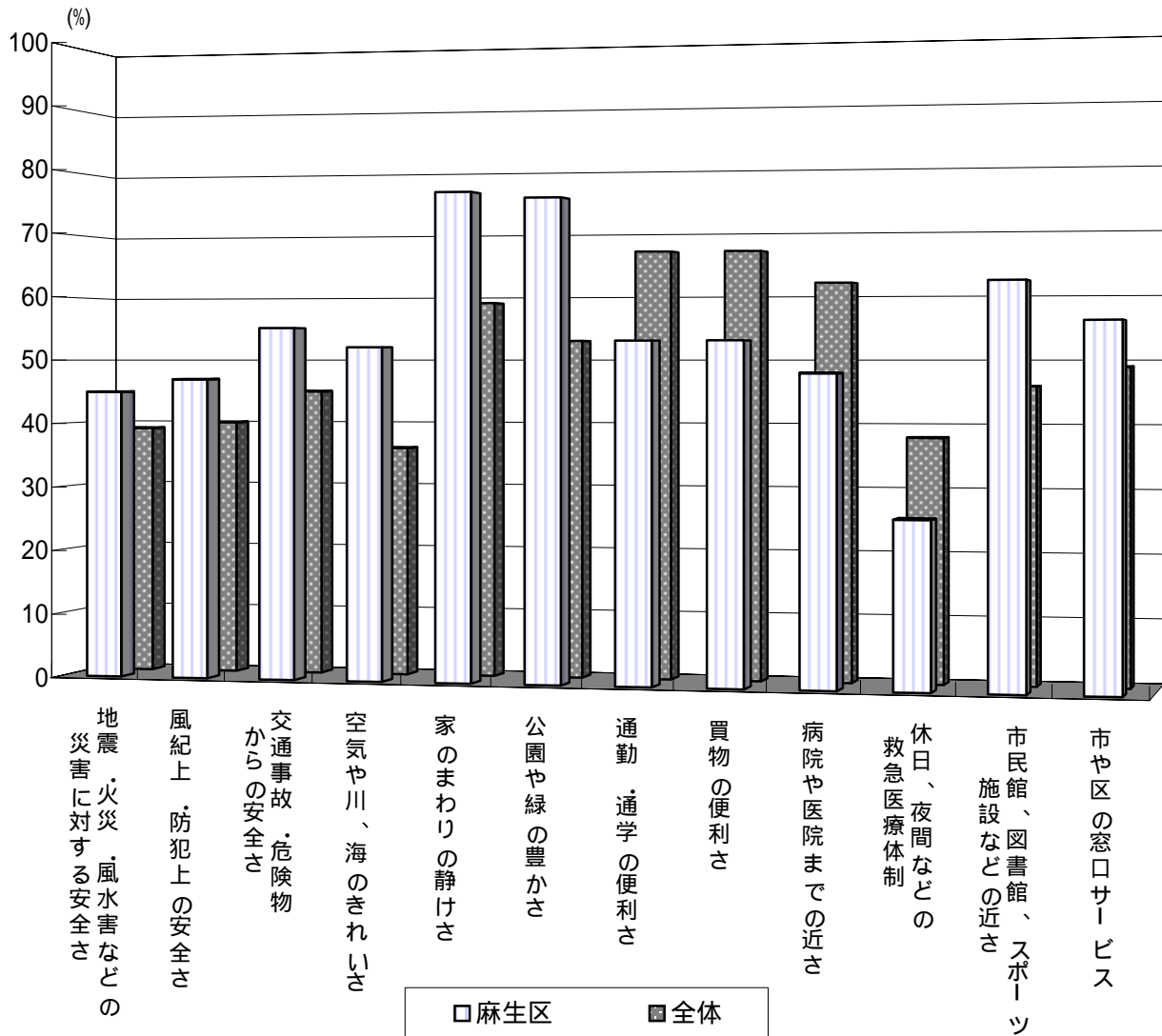
- ・多摩区の(60%)台で、川崎市全体平均を(6~7%)上まわっているのは、「家のまわりの静けさ」(65%)、「公園や緑の豊かさ」(60%)である。
- ・「空気や川、海のきれいさ」は(53%)で、市全体平均より(17%)上回っている。
- ・市全体平均より下回っていて、開きが大きいのは「病院や医院までの近さ」、「市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ」の2項目で各々(16%)の差がある。

## 麻生区生活環境満足度

「満足している」+「まあ満足している」= 合計の率で表示

(%)	地震・火災・風水害などの災害に対する安全さ	風紀上・防犯上の安全さ	交通事故・危険物からの安全さ	空気や川、海のきれいさ	家のまわりの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買物の便利さ	病院や医院までの近さ	休日、夜間などの救急医療体制	市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ	市や区の窓口サービス
麻生区	45	47	55	52	76	75	53	53	48	26	62	56
全体	39	40	45	36	59	53	67	67	62	38	46	49

図 3 - 8 麻生区生活環境満足度

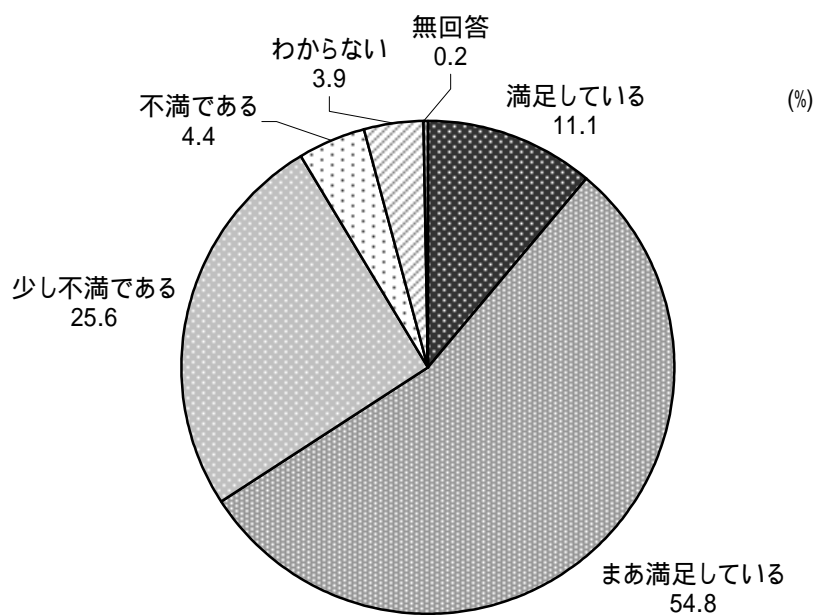


- ・麻生区が（70％）台以上で、市全体平均よりも上回っているのは、「家のまわりの静けさ」（76％）、「公園や緑の豊かさ」（75％）である。
- ・麻生区で最も低いのは、「休日、夜間などの救急医療体制」（26％）で、市全体平均と比べても（12％）低い。

## (2) 総合的な評価

問4 では、地域の生活環境を総合的にみた場合、今住んでいる地域に、どの程度満足していますか。(1つだけ)

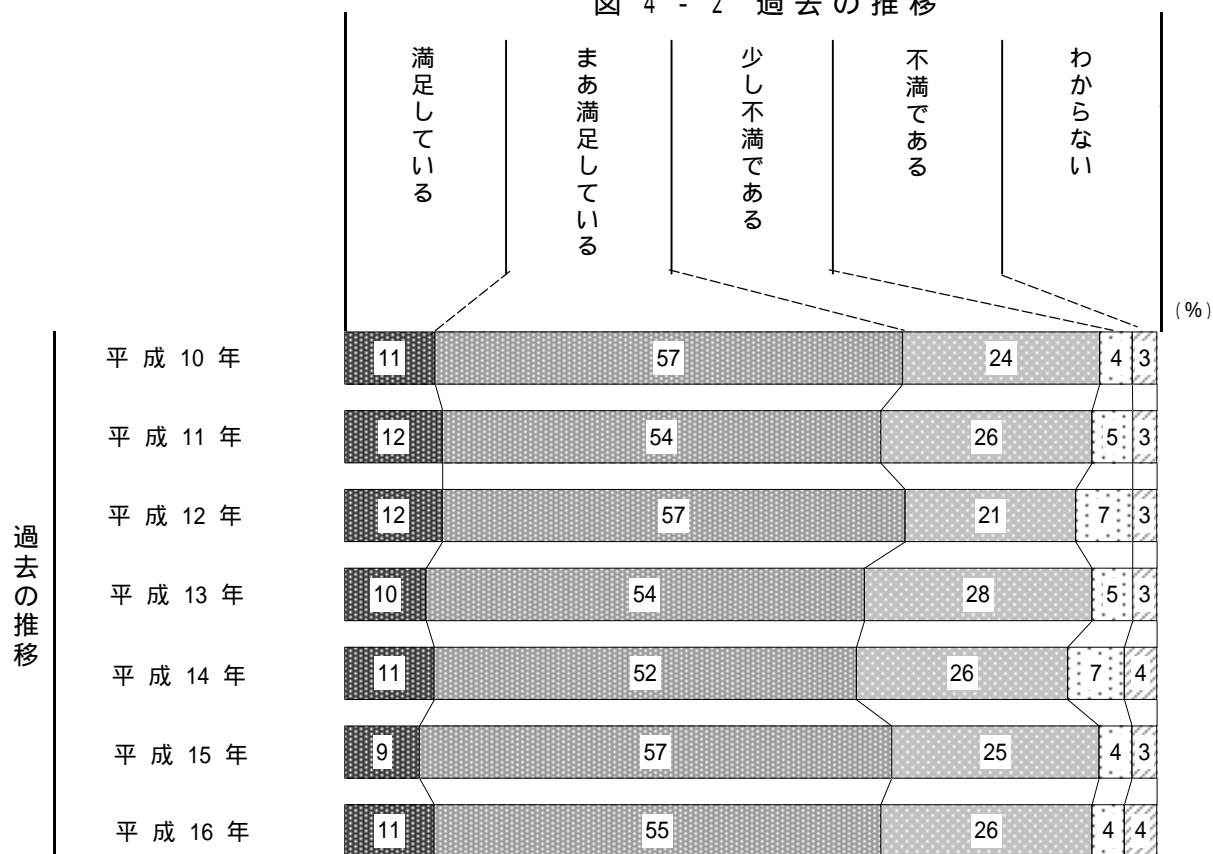
図 4 - 1 回答者数



【全体 = 976】

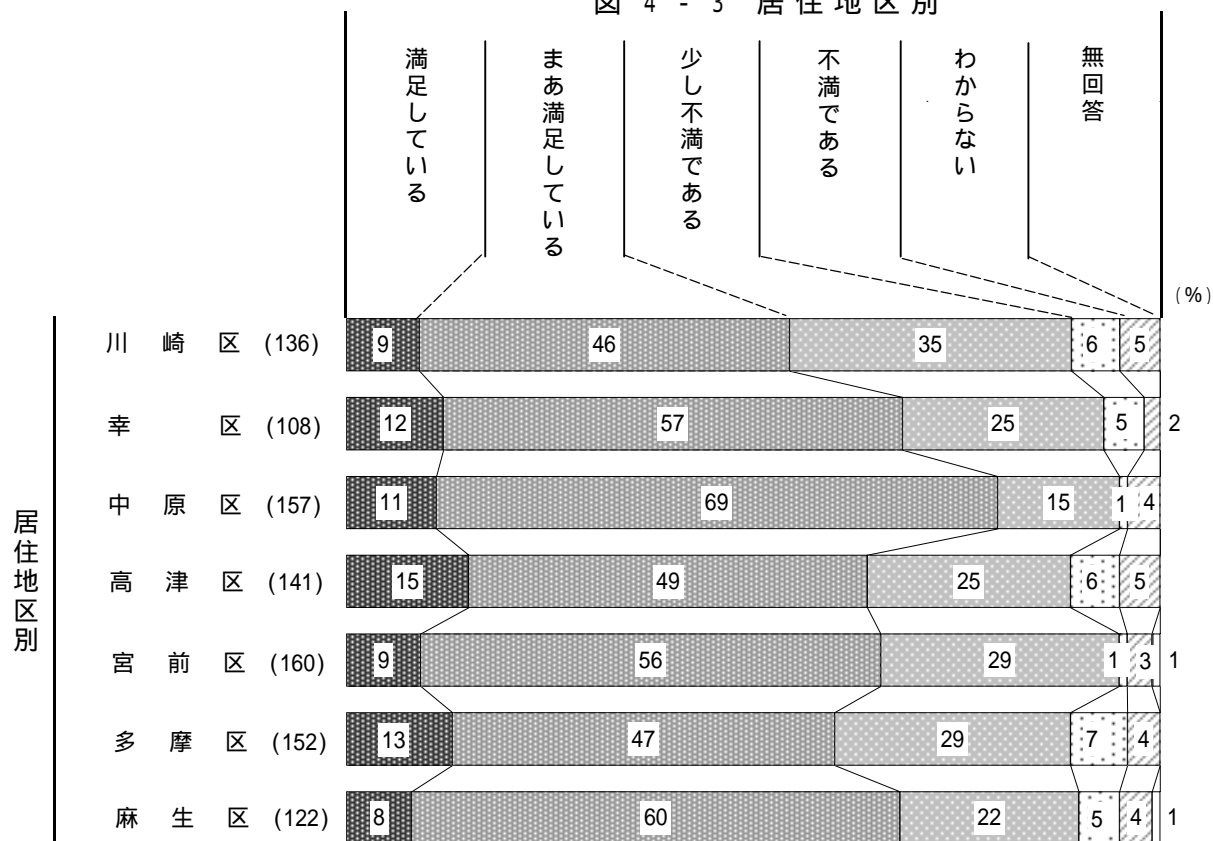
- ・生活環境に対する総合的満足度「満足している」と「まあ満足している」を合計した率は、市全体平均で(65.9%)である。

図 4 - 2 過去の推移



・ 昨年の満足度も（66％）で、本年と比べても変化していない。

図 4 - 3 居住地区別



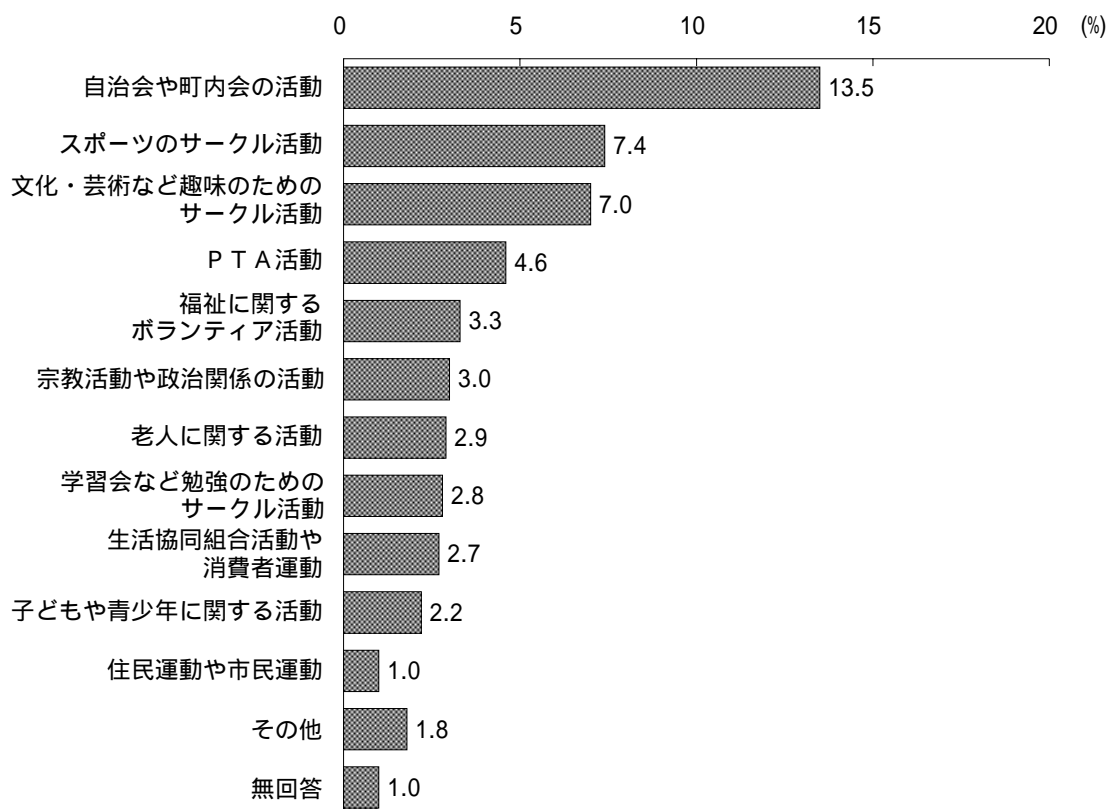
・ 居住区別の満足度では、中原区が（80％）で最も高い。最も低いのは川崎区で（55％）である。

### 3. 地域活動への参加

#### (1) 地域活動への参加状況

問5 あなたは現在、地域で、次にあげるような活動をしていますか。(いくつでも)

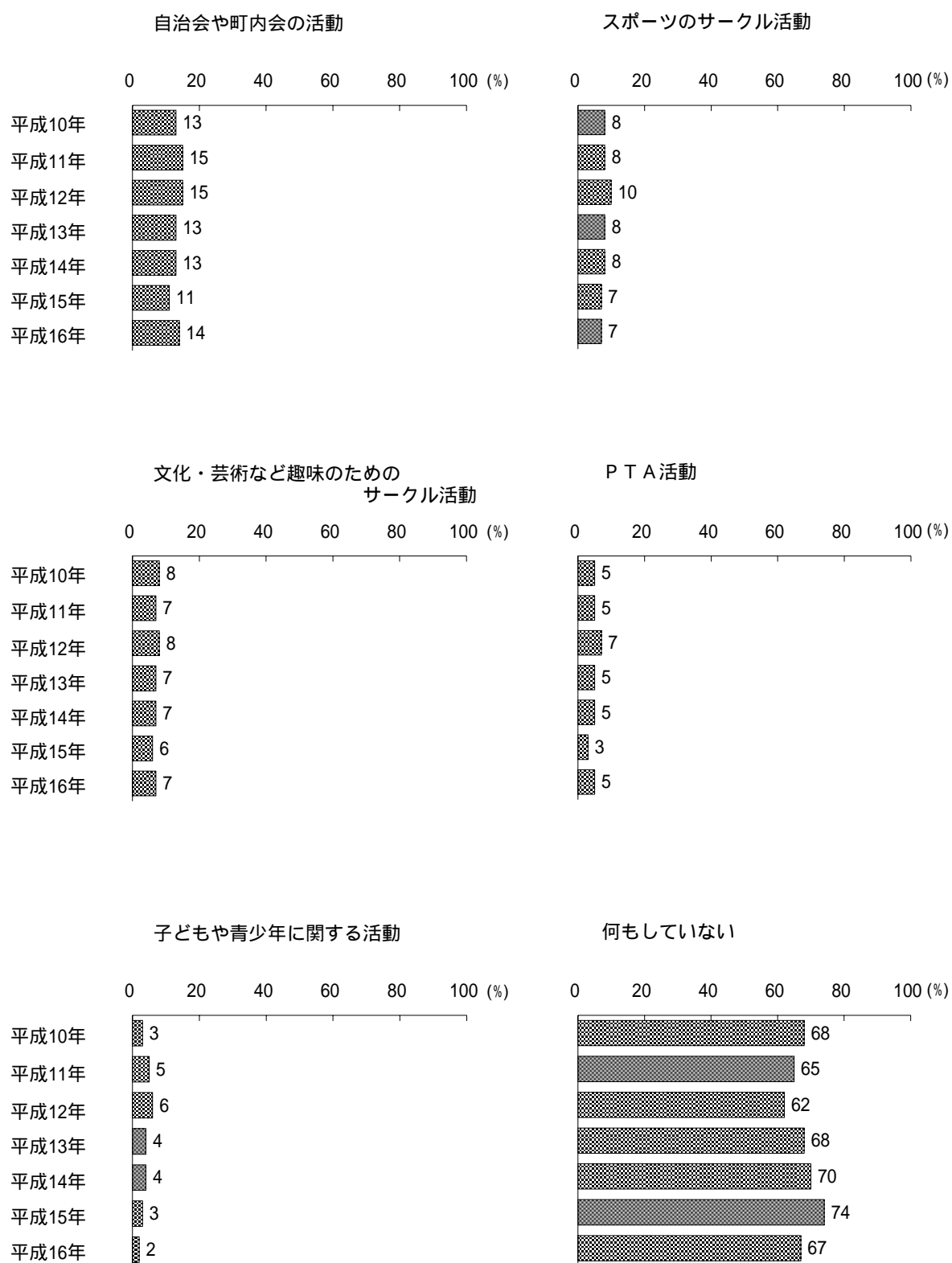
図 5 - 1 回答者数



【全体 = 976】

- ・ 地域に於ける活動状況の内、上位3位は「自治会や町内会の活動」(13.5%)、「スポーツのサークル活動」(7.4%)、「文化・芸能など趣味のためのサークル活動」(7.0%)である。
- ・ 「何もしていない」が(67%)であり、地域活動への参加率は(32%)になる。

図 5 - 2 過去の推移(過去の上位5項目 + 何もしていない)

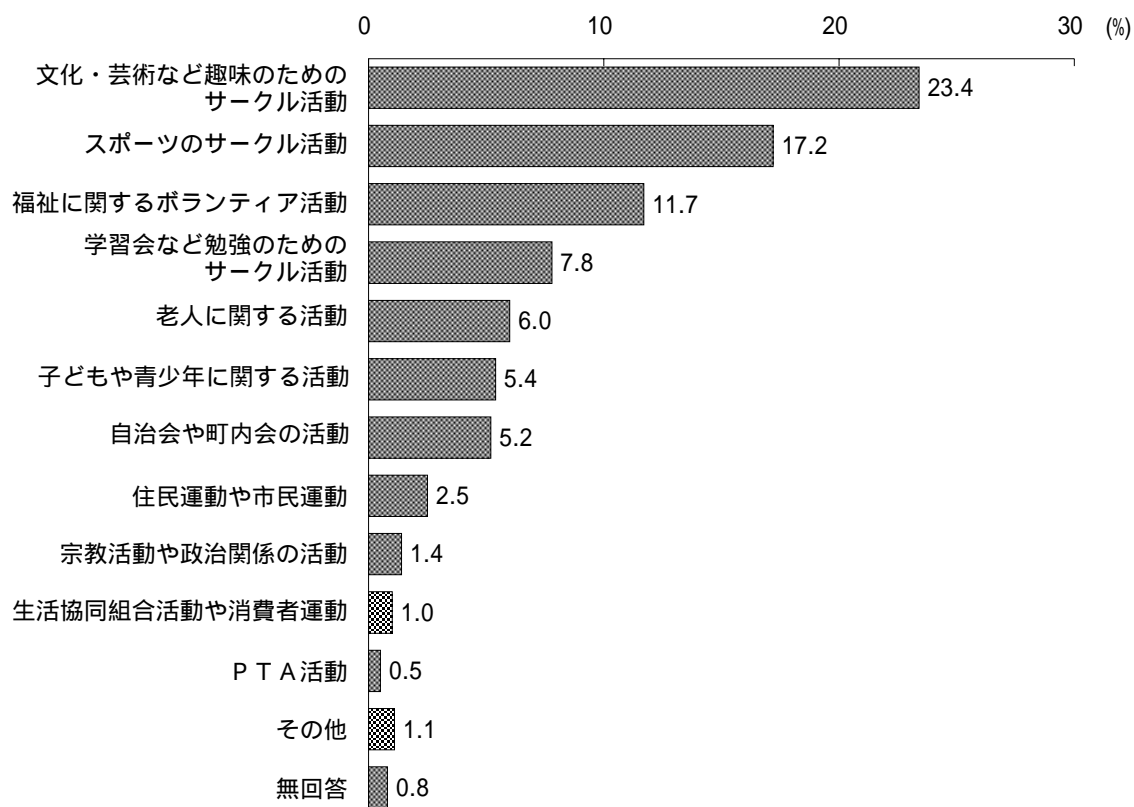


・昨年度と比較して、上位3位に変動はない。他方「何もしていない」は、昨年の(74%)から(67%)へ減少している。

## (2) 今後やってみたい活動

問6 今後、地域でやってみたい活動はありますか。(いくつでも)

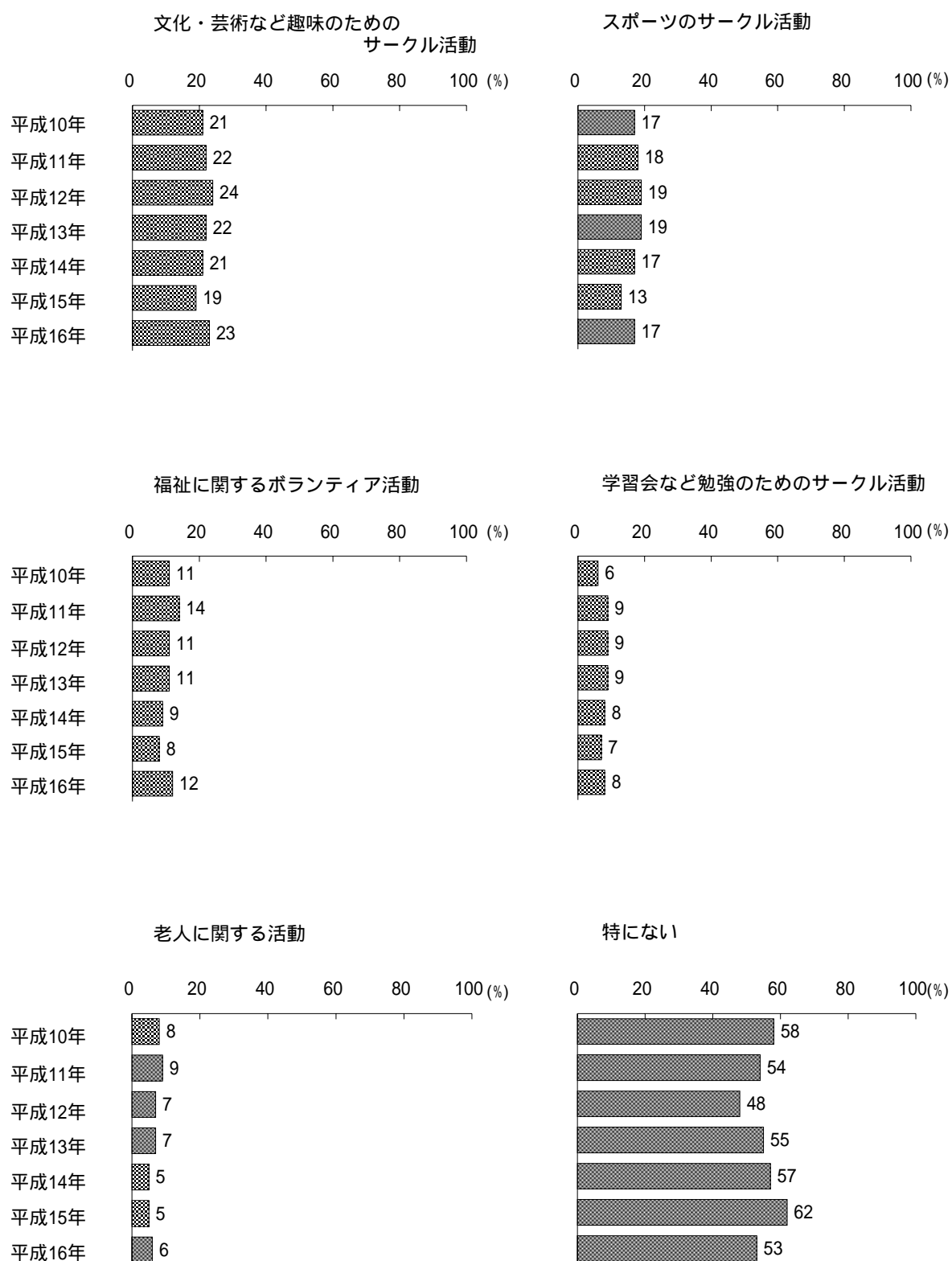
図 6 - 1 回答者数



【全体 = 976】

- ・ 今後行いたい地域活動の内、上位3位は「文化・芸能など趣味のためのサークル活動」(23.4%)、「スポーツのサークル活動」(17.2%)、「福祉に関するボランティア活動」(11.7%)である。

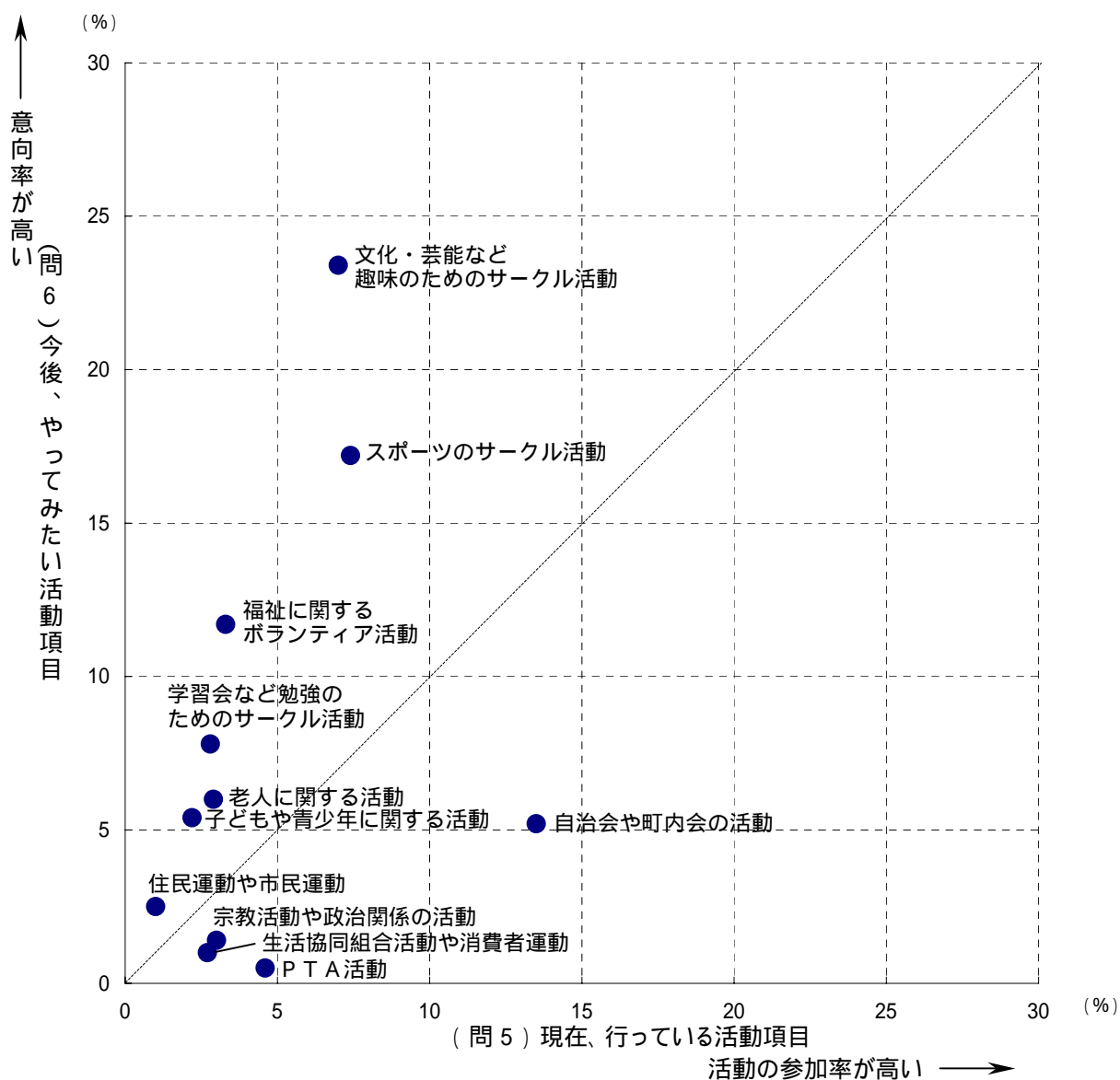
図 6 - 2 過去の推移 (過去の上位5項目 + 特にない)



・昨年度と比較して上位3位（文化／スポーツ／福祉）は同じ順位で、各々の率が（4%）上昇している。一方、「特にない」の率も（62%）から（53%）へ減少している。



図 6 - 3 「現在、行っている活動項目」と  
「今後、やってみたい活動項目」



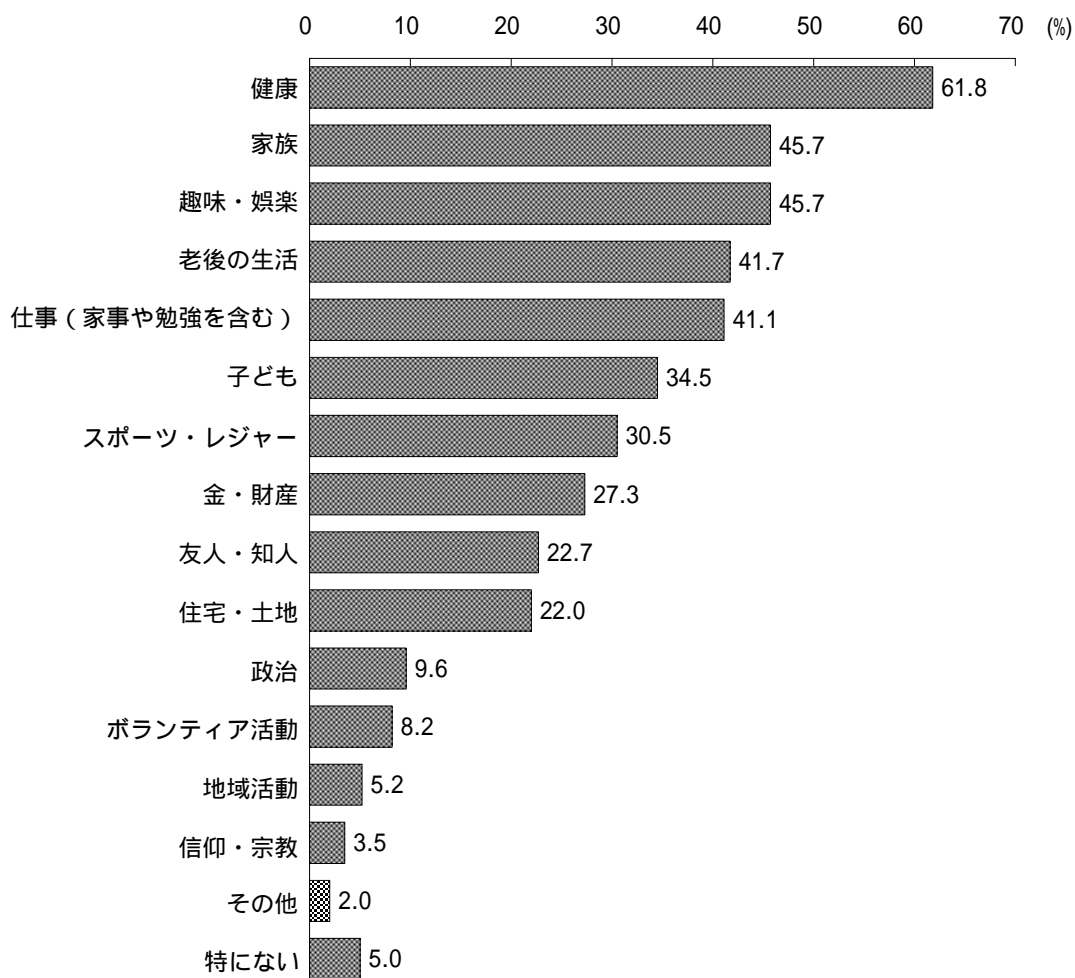
・現在、行っている活動の上位3位のうち、今後、やってみたい活動は、「文化・芸能など趣味のためのサークル活動」、「スポーツのサークル活動」で第1位、第2位に位置付けされている。

#### 4. 市民の関心事と行動範囲

##### (1) 今一番の関心事

問7 あなたが、現在特に関心をお持ちのことは何ですか。(いくつでも)

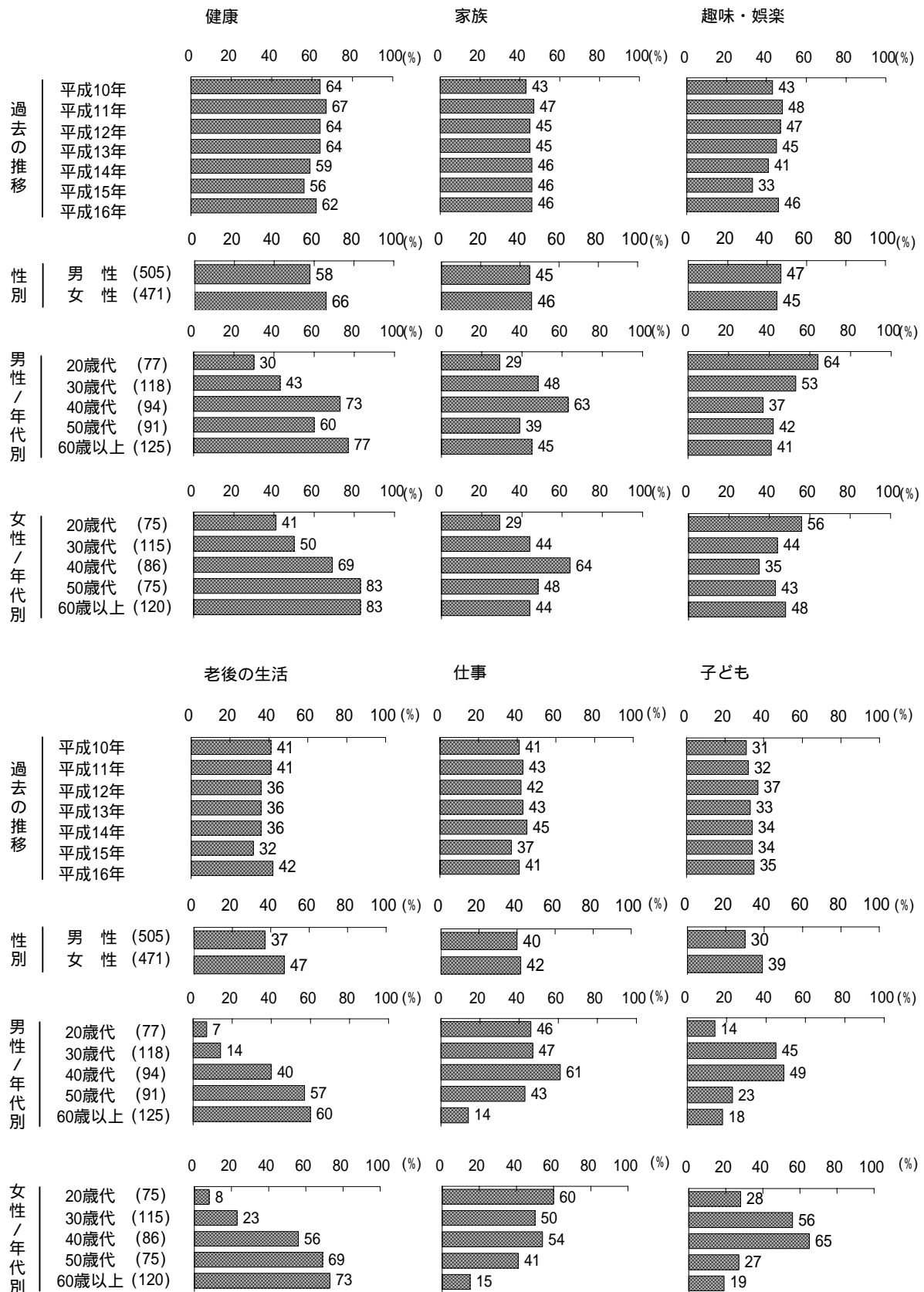
図 7 - 1 回答者数



【全体 = 976】

・現在の関心事の上位3位は、「健康」(61.8%)に次いで、「家族」「趣味・娯楽」(45.7%)の順である。

図 7 - 2 過去の推移 / 性別 / 性年代別 (上位 6 項目)



- ・現在の関心事の中で、最も高いのは「健康」(62%)である。性・年代別では、女性の50歳以上が、(80%)台で最も高い。
- ・上位3位中の「家族」は、40歳代が男女とも(60%)台で最も高い。
- ・同様に「趣味・娯楽」は、男女とも20歳代で最も高い。
- ・昨年度と比較して「仕事」は(4%)上昇しているが、順序は昨年第3位から今年は第5位に後退している。

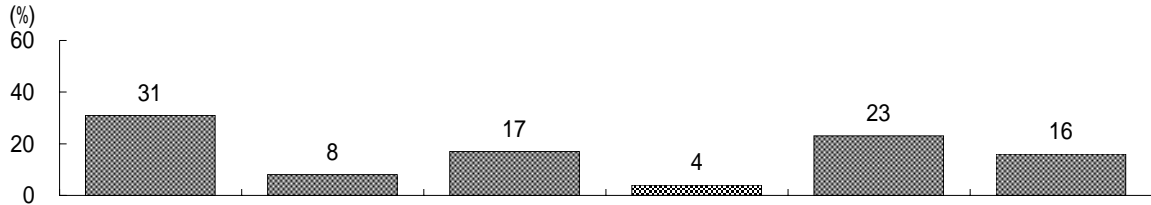
( 2 ) 市民の行動範囲

問8 あなたは、行楽や文化施設の利用・ショッピングなどをされる場合、主にどこに行かれますか。  
( 各項目ごとにあてはまる番号を1つだけ )

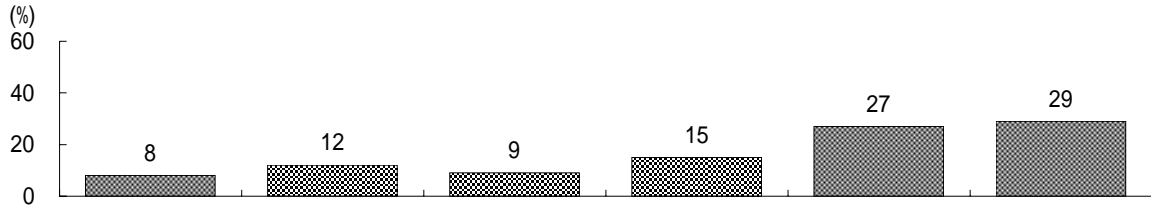
図 8 - 1 回答者数

【全体 = 976】

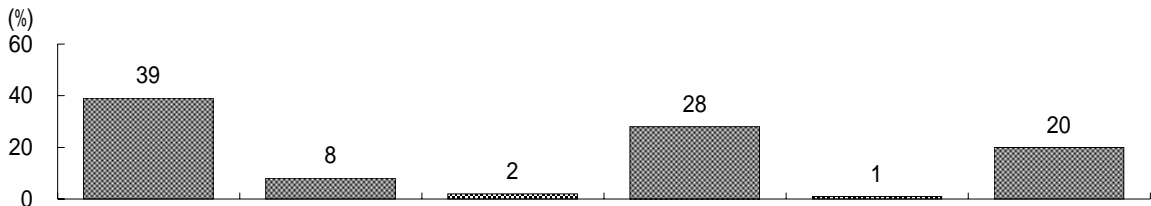
【自然に親しむための近距離の行楽】



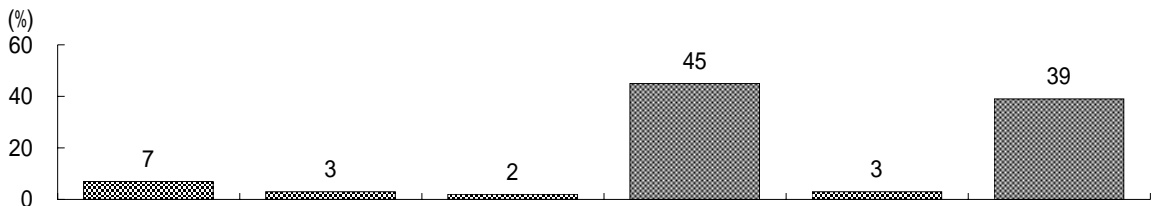
【遊園地や動物園等のレジャー施設での行楽】



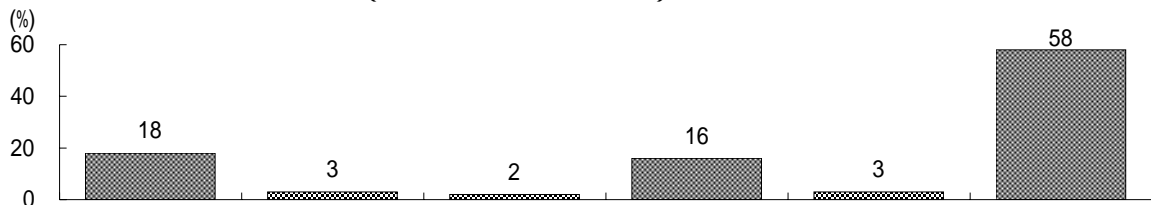
【観劇や映画鑑賞】



【音楽会や美術展鑑賞】

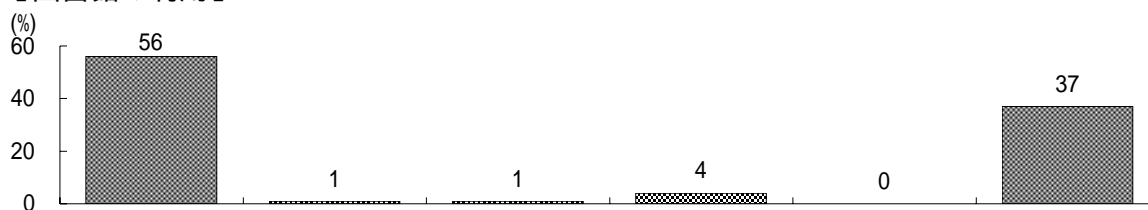


【趣味を生かす講習や練習 (音楽・演劇・美術等)】

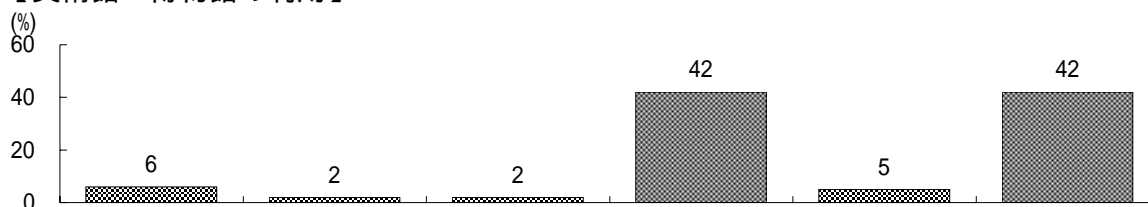


川崎市  
横浜市  
神奈川県  
川崎市以外  
横浜市以外  
東京23区  
域その他  
の地  
なるとそ  
いでは  
わしい  
かなう  
らいこ

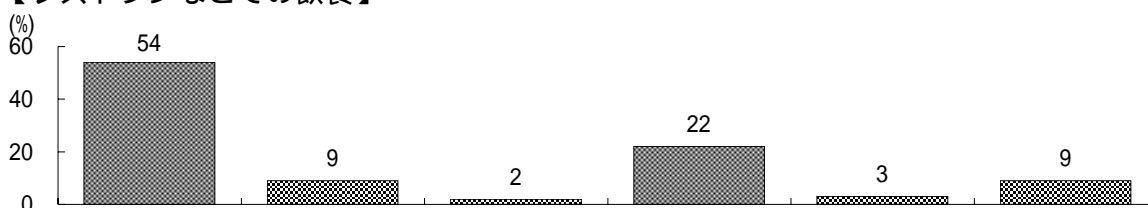
【図書館の利用】



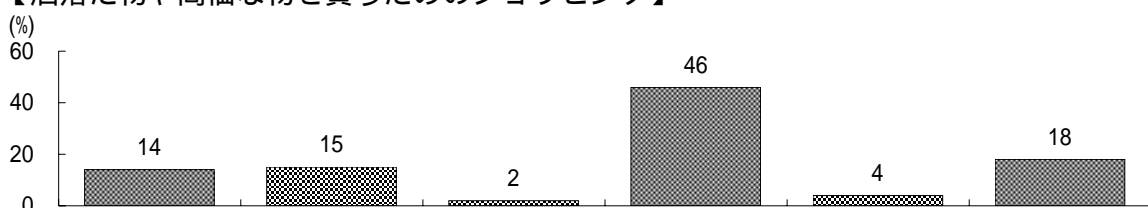
【美術館・博物館の利用】



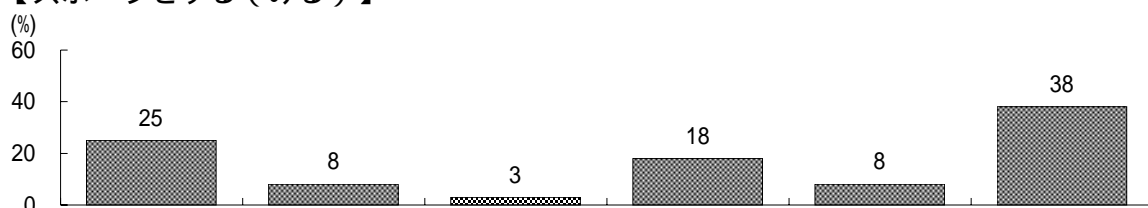
【レストランなどでの飲食】



【洒落た物や高価な物を買うためのショッピング】



【スポーツをする（みる）】



川崎市 横浜市 以外市の市 東京23区 その他の地域  
らしそ  
ななう  
いいい  
のう  
でこ  
わと  
かは

- ・川崎市内の利用率が（50％）以上を占めているのは、「図書館の利用」（56％）、「レストランなどでの飲食」（54％）である。
- ・一方、東京23区の利用率が多い上位3位は、「洒落た物や高価な物を買うためのショッピング」（46％）、「音楽会や美術展鑑賞」（45％）、「美術館、博物館の利用」（42％）である。

・市民の行動範囲、10項目中「遊園地や動物園等のレジャー施設での行楽」を除いては川崎市内又は、東京23区内の割合の多いことから、分類すると以下の様になる。

「川崎市内型」 …………… (ア) 自然に親しむための近距離の行楽  
(カ) 図書館の利用  
(ク) レストランなどでの飲食

「東京都23区内型」 ……… (エ) 音楽会や美術展鑑賞  
(キ) 美術館・博物館の利用  
(ケ) 洒落た物や高価な物を買うためのショッピング

「非限定型」 …………… (イ) 遊園地や動物園等のレジャー施設での行楽  
(ウ) 観劇や映画鑑賞  
(オ) 趣味を生かす講習や練習(音楽・演劇・美術等)  
(コ) スポーツをする(みる)

図8-2 行動の範囲(川崎市内と東京都23区の比較)

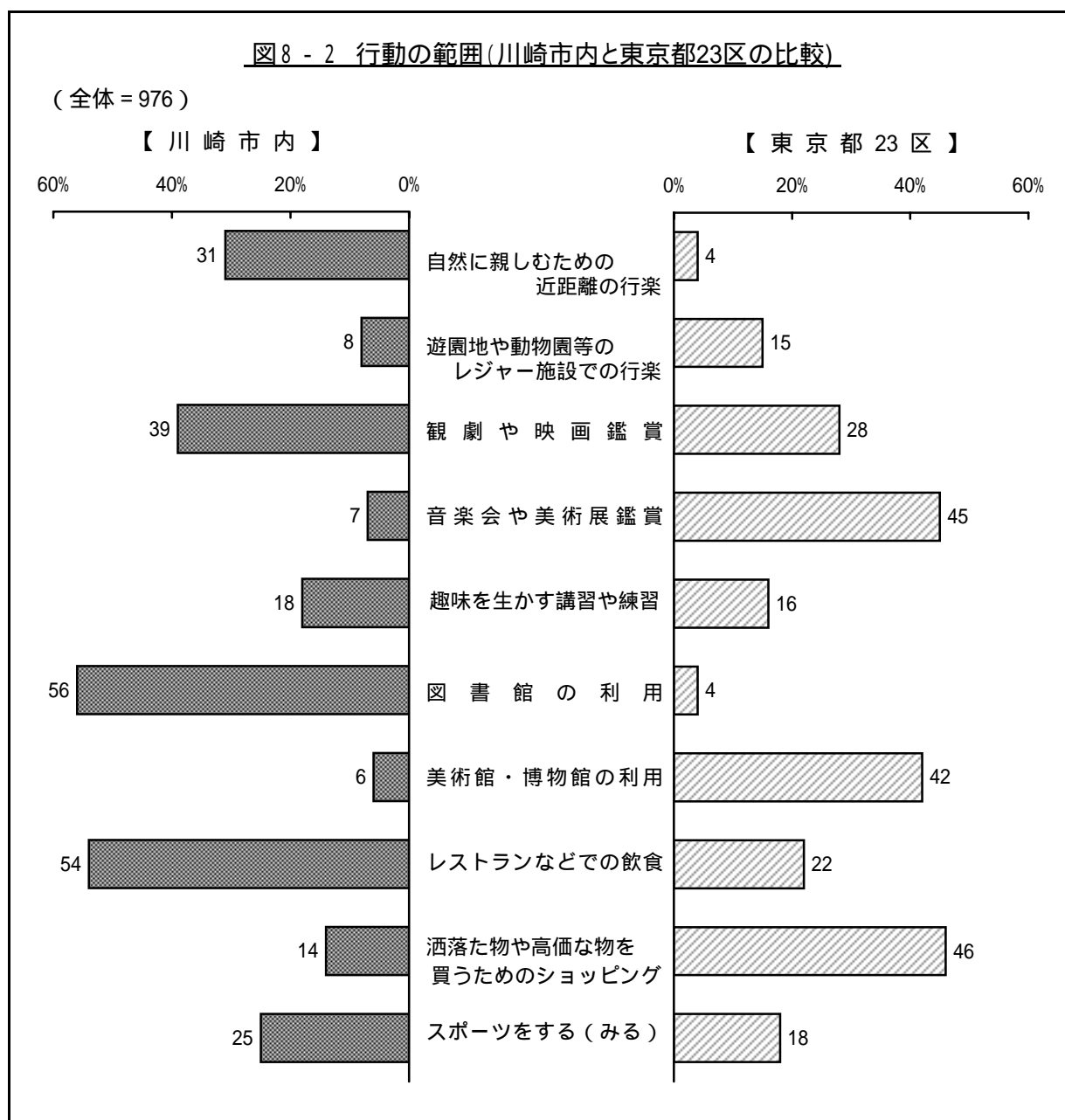
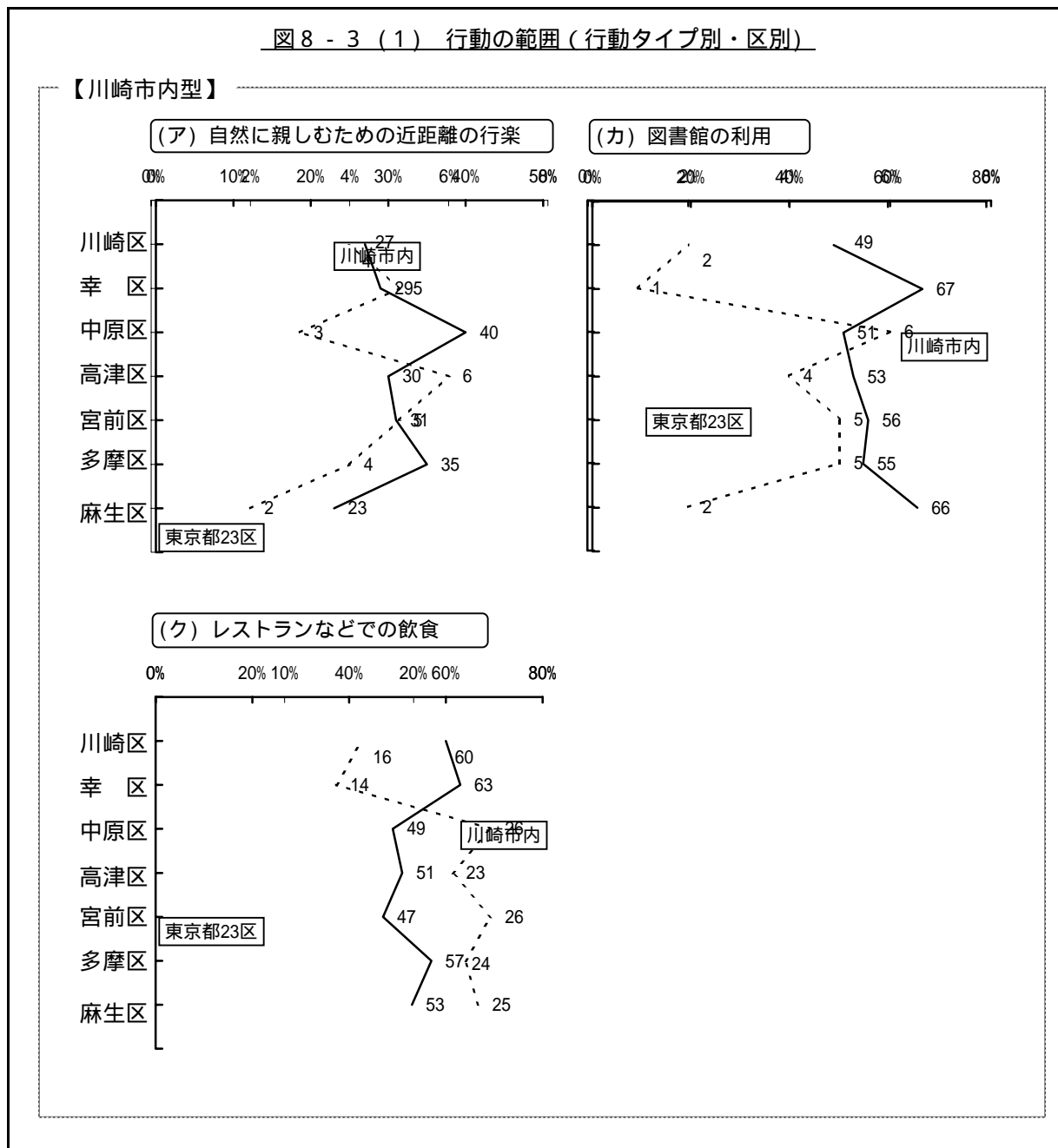
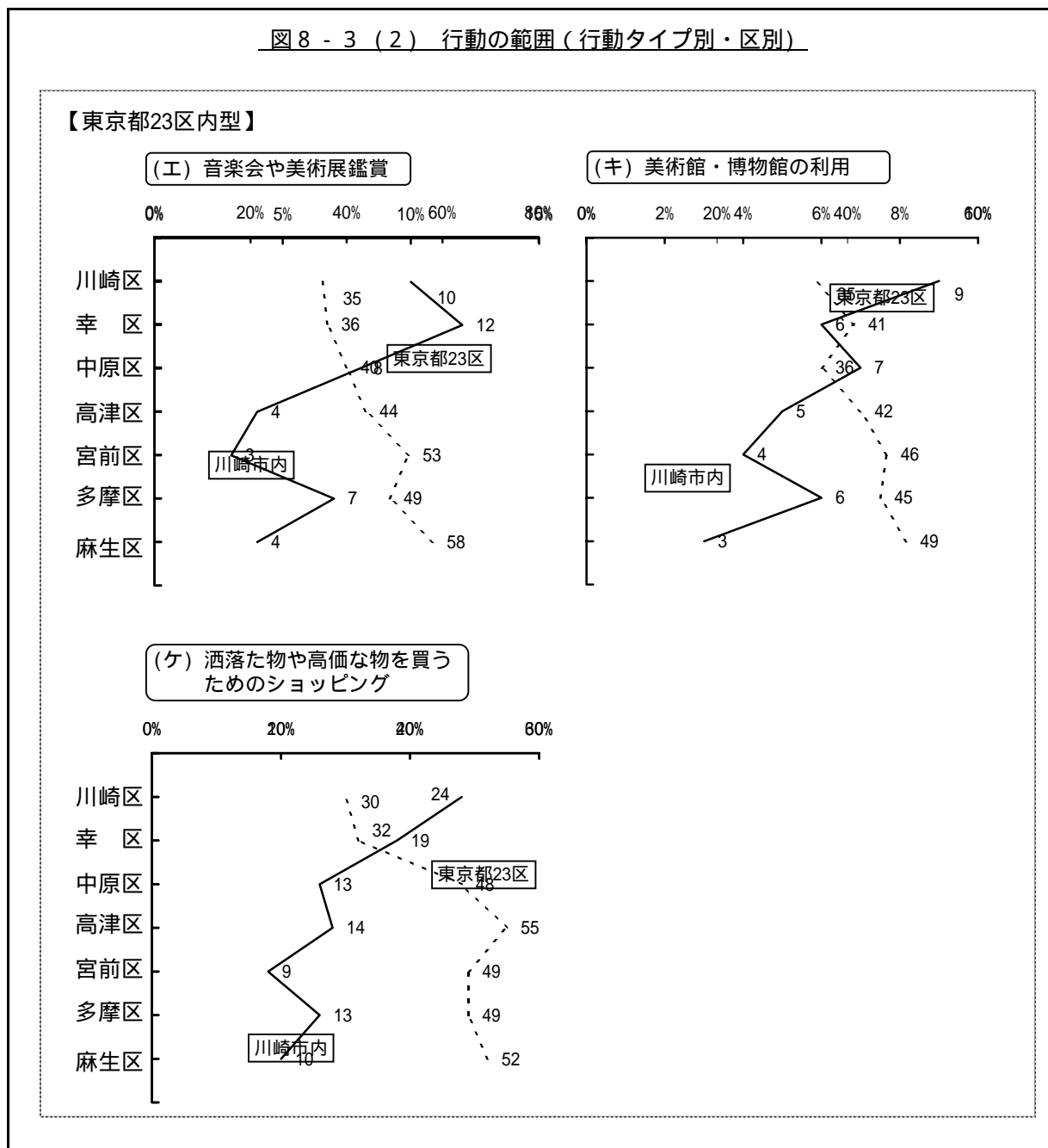


図8-3(1) 行動の範囲(行動タイプ別・区別)



- ・川崎市内の利用率が最も高いのは、「図書館の利用」で、幸区（67%）と多摩区（66%）である。
- ・次いで「レストランなどでの飲食」では、幸区（63%）と川崎区（60%）で市内の利用率が高い。

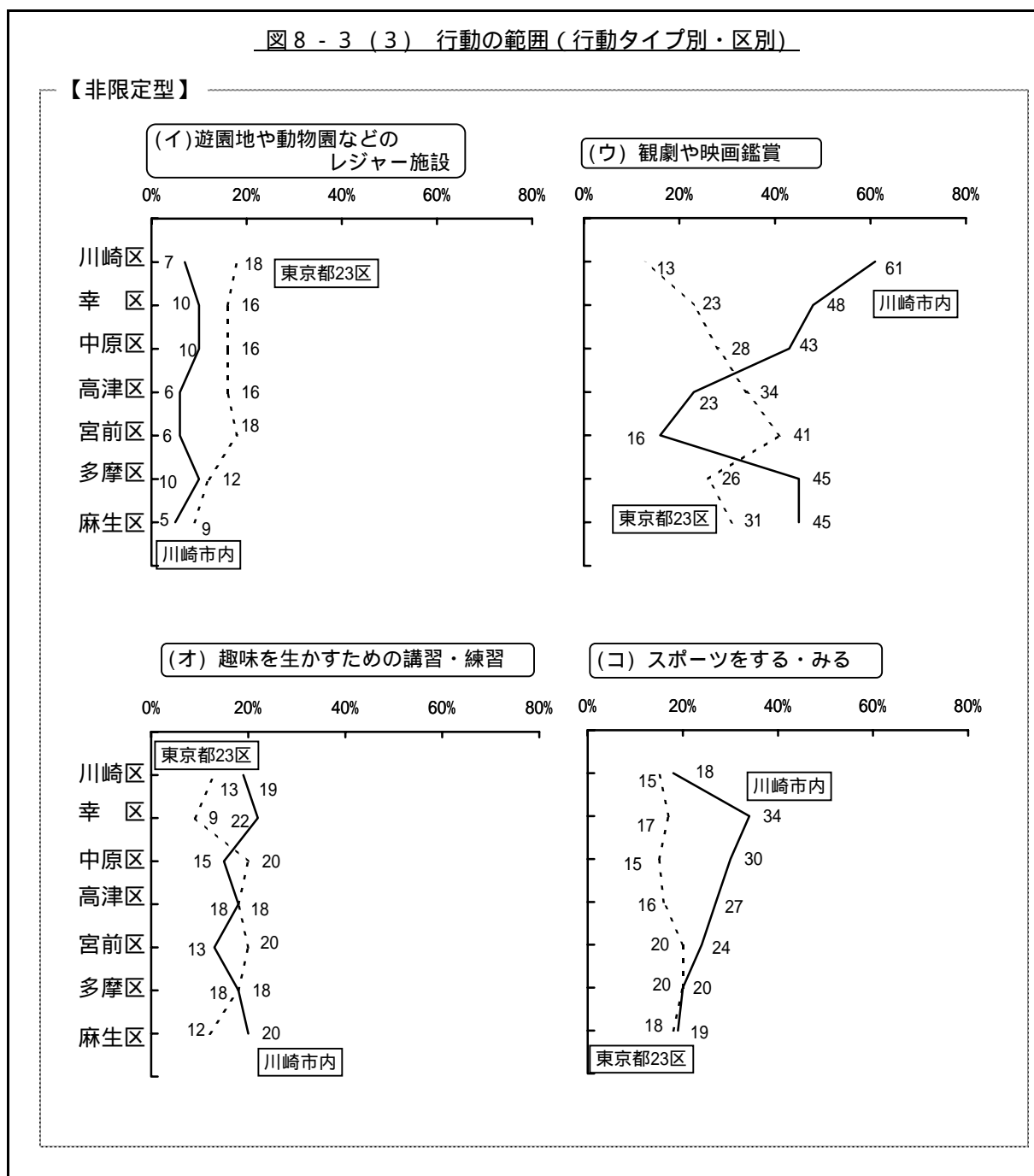
図8-3(2) 行動の範囲(行動タイプ別・区別)



- ・ 東京23区内の利用率が高い上位3位の居住区別では、「洒落た物や高価な物を買うためのショッピング」で川崎区、幸区の(30~32%)を除いて、他区では(50%)前後に達している。
- ・ 「音楽会や美術展鑑賞」では、麻生区と宮前区が(50%)台で、他区に比べて利用率が高い。
- ・ 「美術館・博物館の利用」では、川崎区と中原区が(30%)台で、他区は(40%)台である。



図 8 - 3 ( 3 ) 行動の範囲 ( 行動タイプ別・区別 )



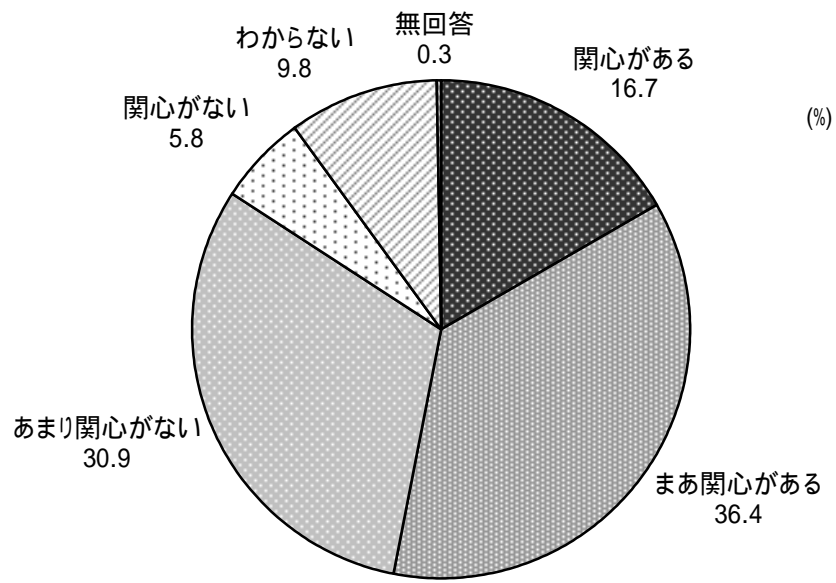
- ・ 「観劇や映画鑑賞」で、川崎区が唯一（60％）台で川崎市内の利用率が高く、一方宮前区が（10％）台で他区に比べ断然低く、東京23区の利用が（41％）である。

## 5 . 市政への関心

### ( 1 ) 市政への関心度

問9 あなたは川崎市政に、どの程度関心をお持ちですか。(1つだけ )

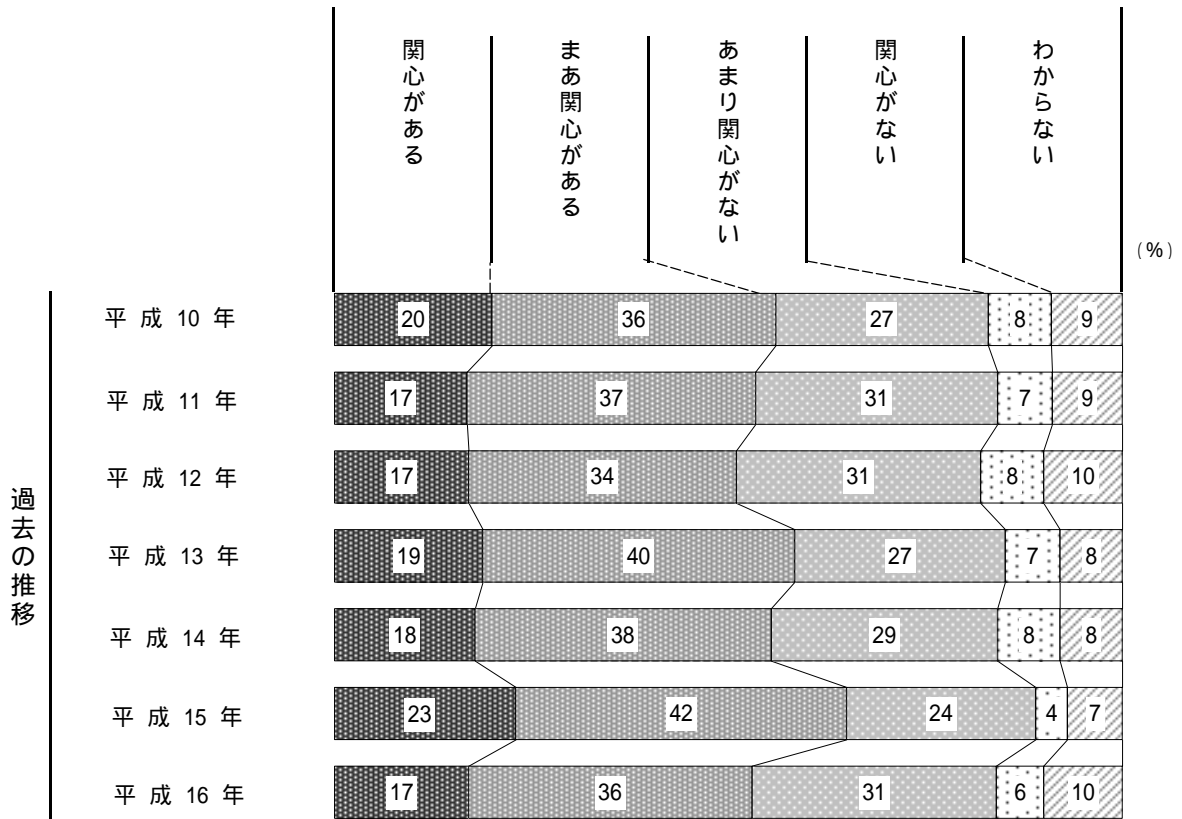
図 9 - 1 回 答 者 数



【全体 = 976】

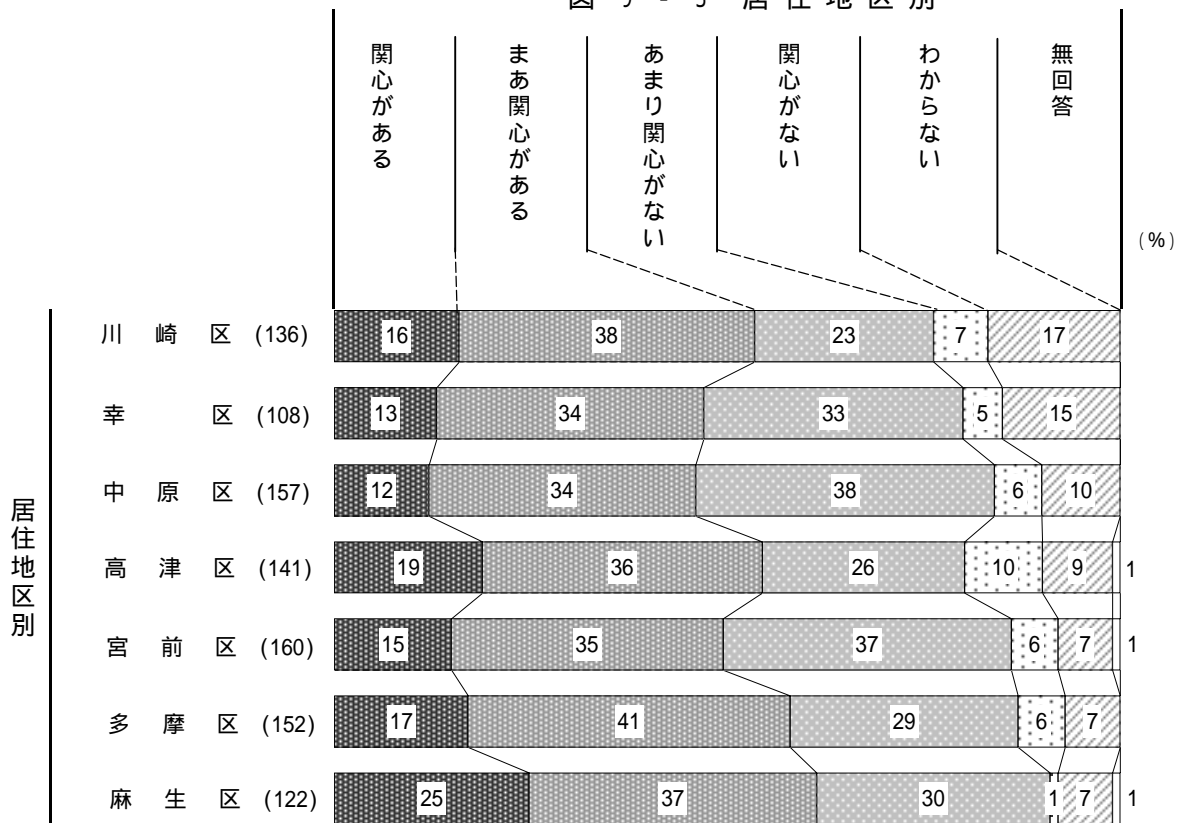
・ 市政への関心度、「関心がある」と「まあ関心がある」を合計した率は、( 53.1% )である。

図 9 - 2 過去の推移



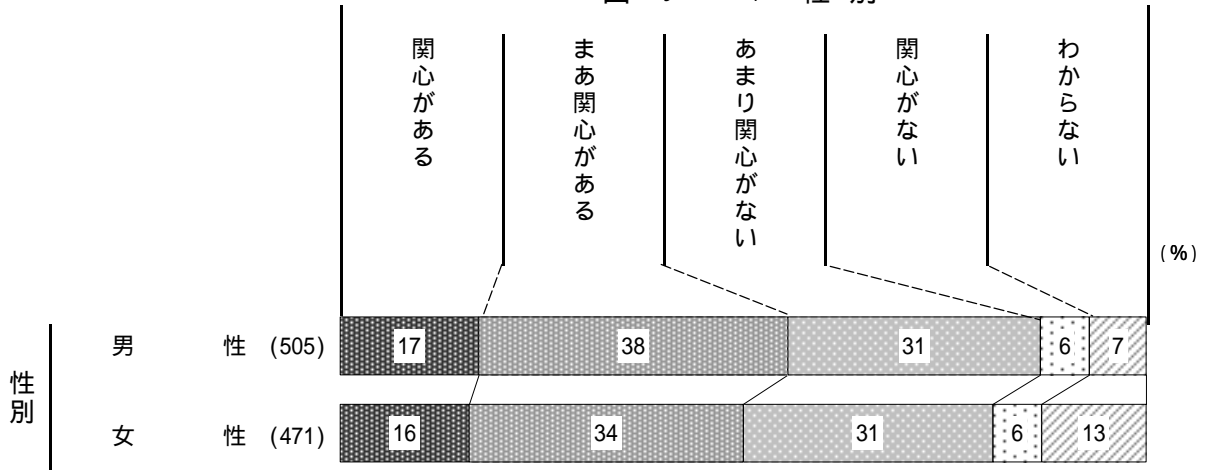
・昨年度の関心度は（65％）で、今年度は（43％）と 12％ 後退している。さらに「関心がない」の合計の率が（9％）増加している。

図 9 - 3 居住地区別



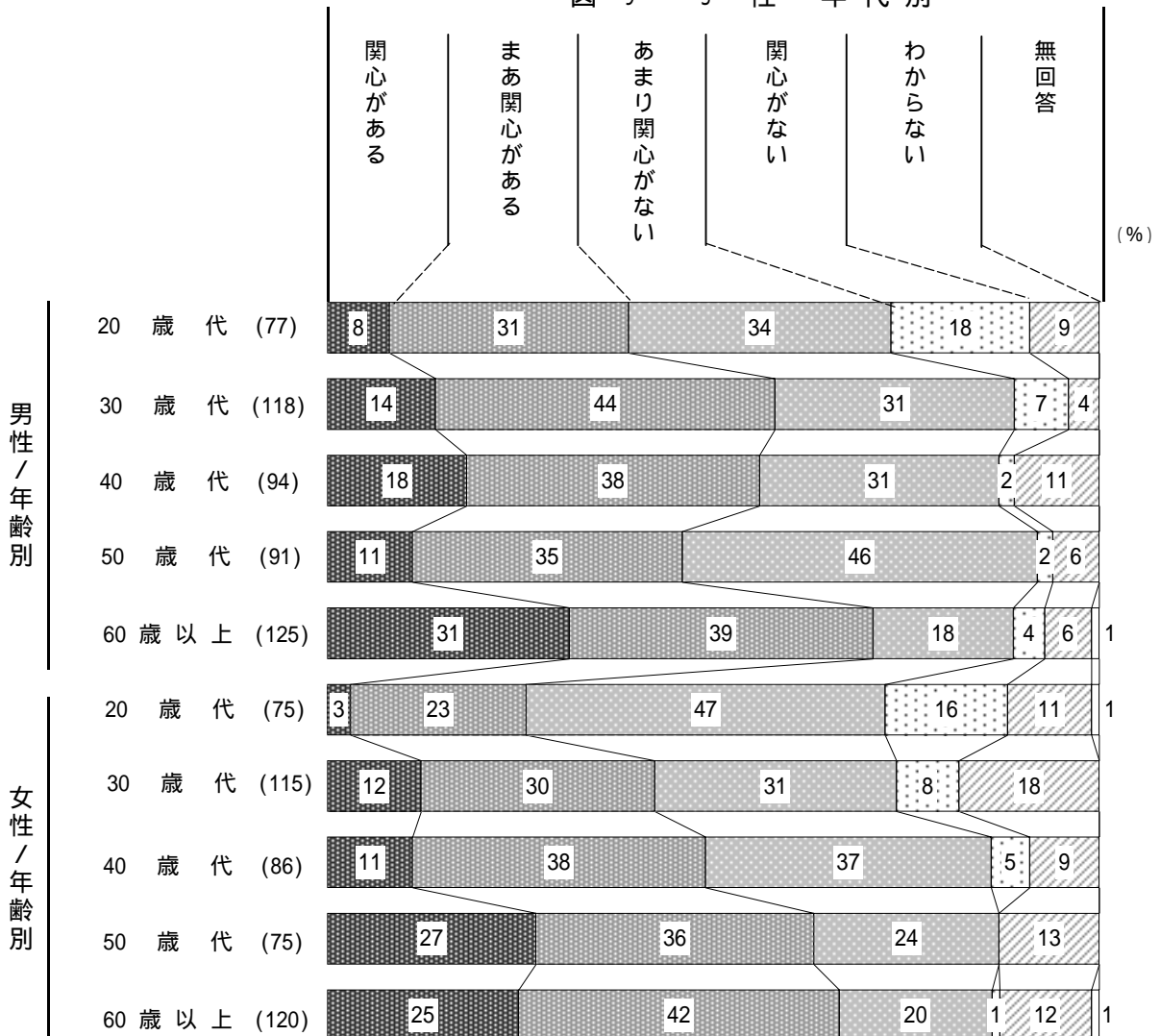
・居住区別で関心のある合計の率は、麻生区が（62％）で最も高く、「関心がある」も（25％）で唯一（20％）台で高い。

図 9 - 4 性別



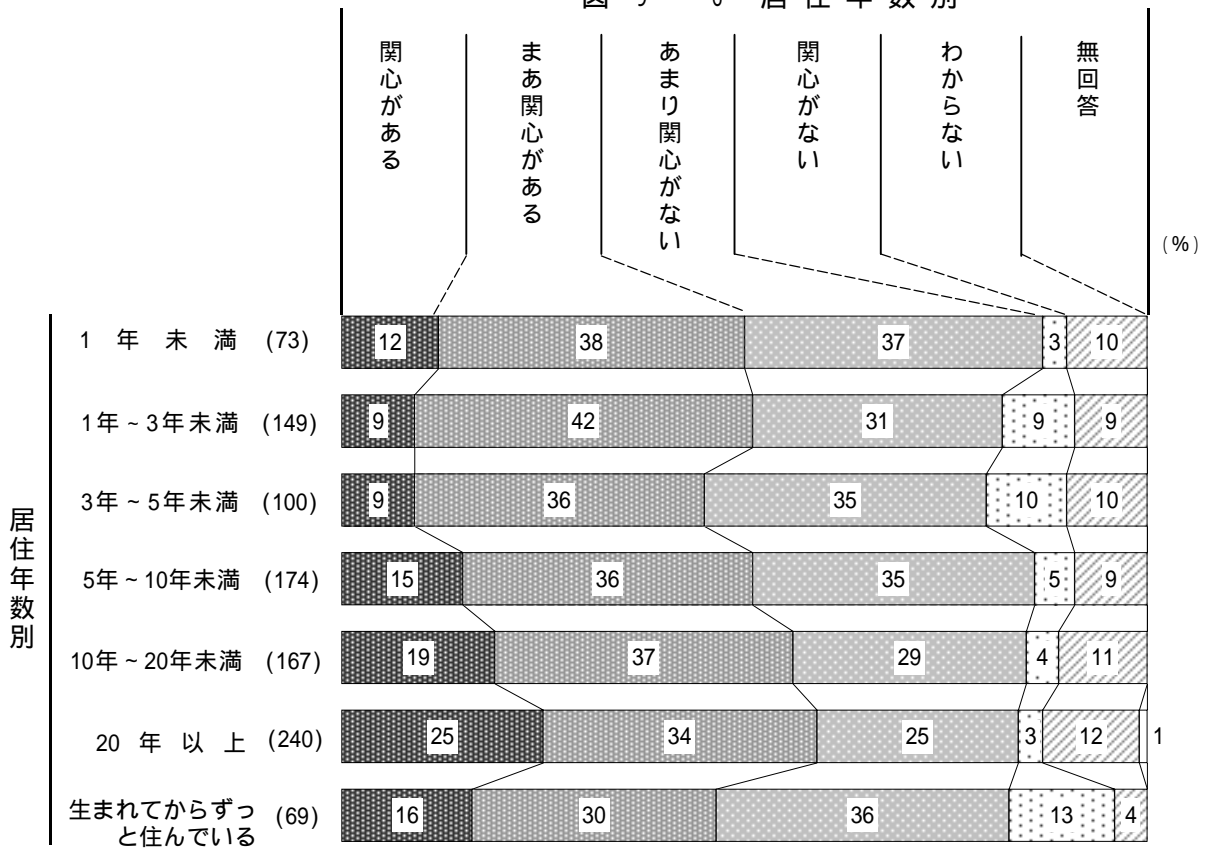
・男女別では、男性の方が（5%）女性よりも関心度が上回っている。

図 9 - 5 性・年代別



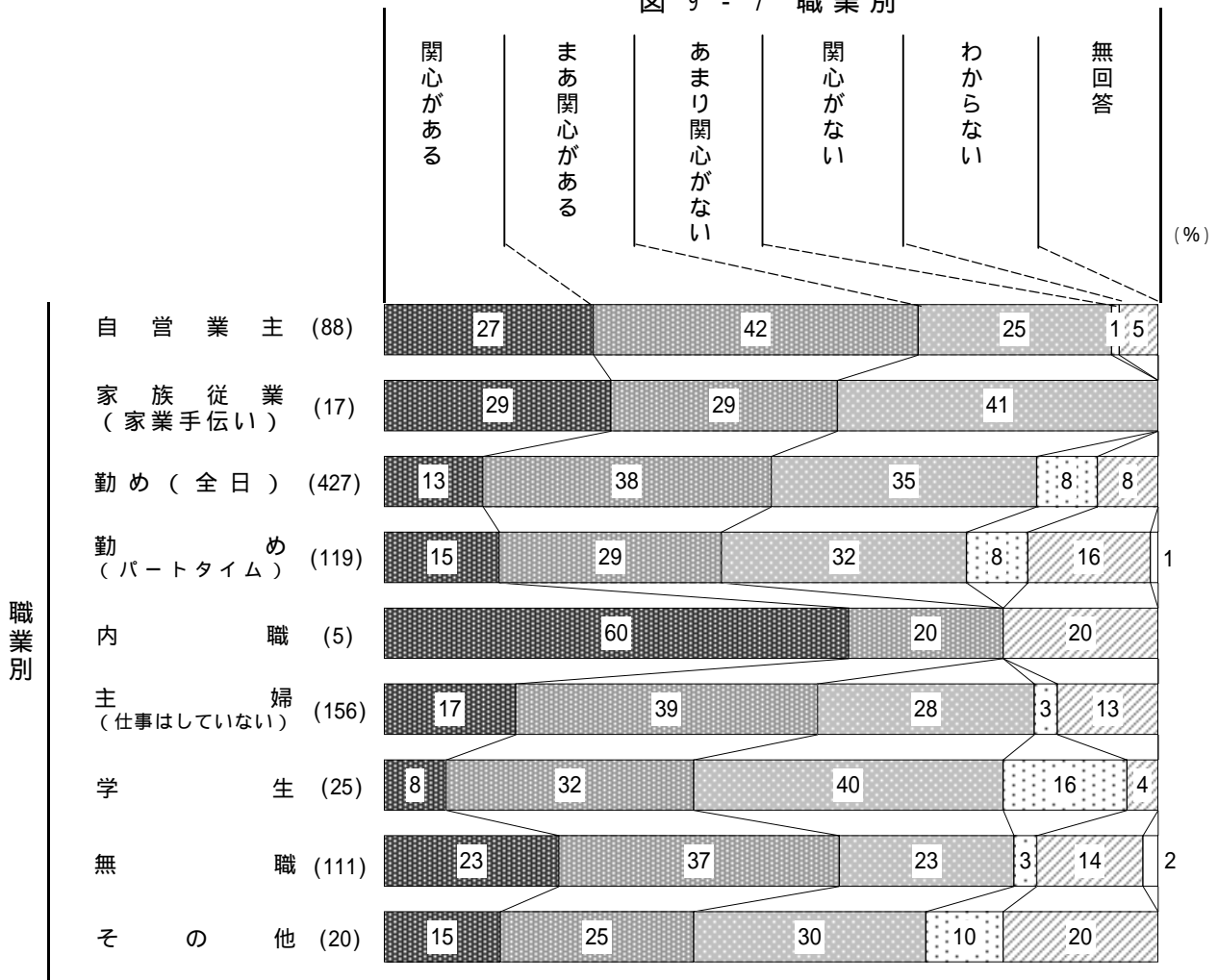
・性、年代別の市政への関心度は、男性60歳以上で（70%）と最も高く、次いで女性60歳以上（67%）の順である。  
 ・他方、最も低いのは女性20歳代で唯一（20%）台である。

図 9 - 6 居住年数別



・居住年数別での市政への関心度の合計の率は、20年以上が（59%）と最も高く、「関心がある」も（25%）で唯一（20%）台である。

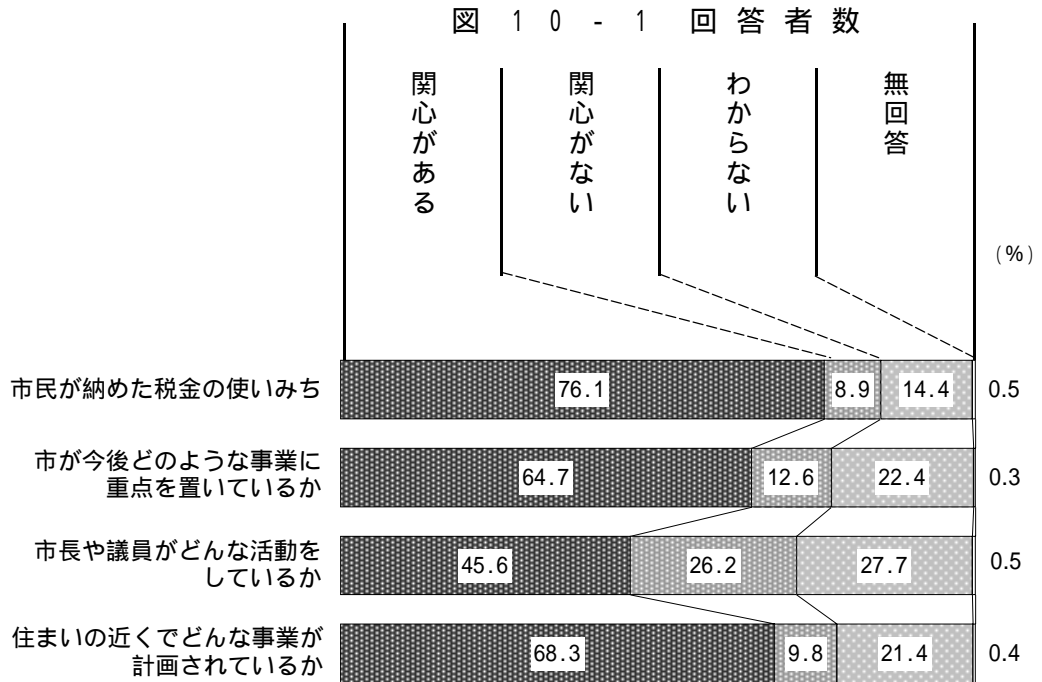
図 9 - 7 職業別



- ・職業別での関心度は、自営業主が（69％）で最も高く、次に無職の（60％）の順となっている。
- ・次いで、主婦（仕事はしていない）が（56％）、勤め（全日）の（51％）となっている。
- ・最も低いのは、勤め（パートタイム）の（44％）となっている。
- （印の記号は、サンプル数が少ないのでコメントしていない）

( 2 ) 具体的な関心状況

問10 では、市政の次のようなことについては、どの程度関心をお持ちですか。(1つだけ )

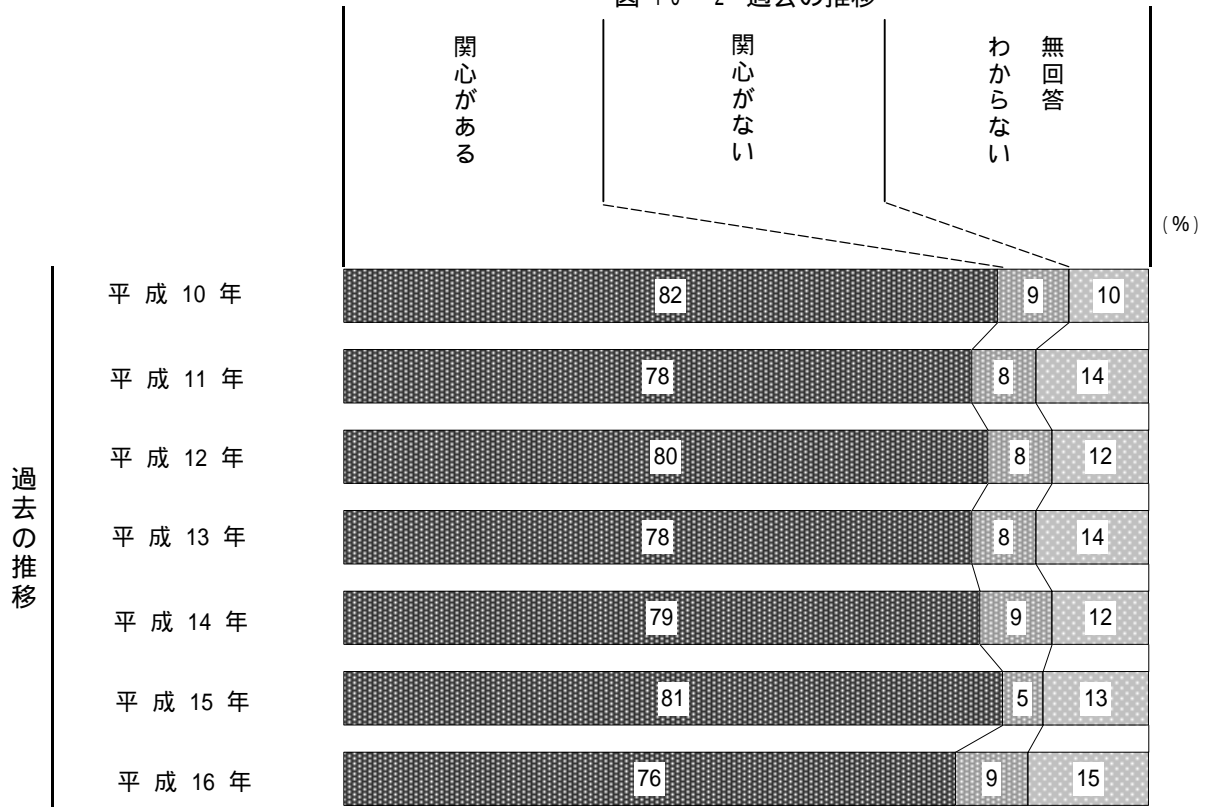


【全体 = 976】

- ・ 市政への具体的関心度で、最も高いのは「市民が納めた税金の使いみち」(76.1%) である。最も低いのは、「市長や議員がどんな活動をしているか」(45.6%) である。
- ・ 昨年度と比較して、全ての項目で関心度が低下している。
- ・ 居住区別では、全ての項目で麻生区の関心度が比較的高い。
- ・ 性、年代別では、男女とも20歳代の関心度が低い傾向にある。
- ・ 居住年数では、あまり特徴が見られない。
- ・ 職業別では、全ての項目で自営業主の関心度が高い。

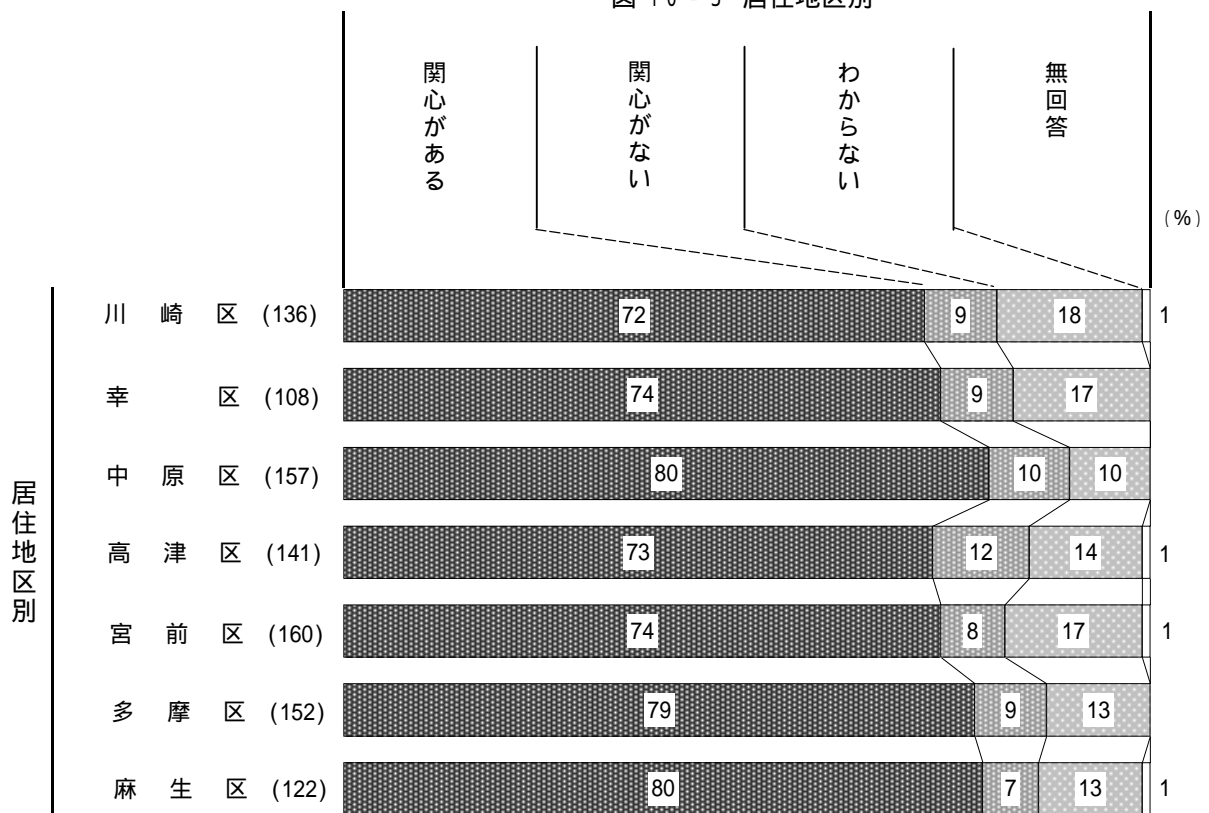
市民が納めた税金の使いみち

図 10 - 2 過去の推移



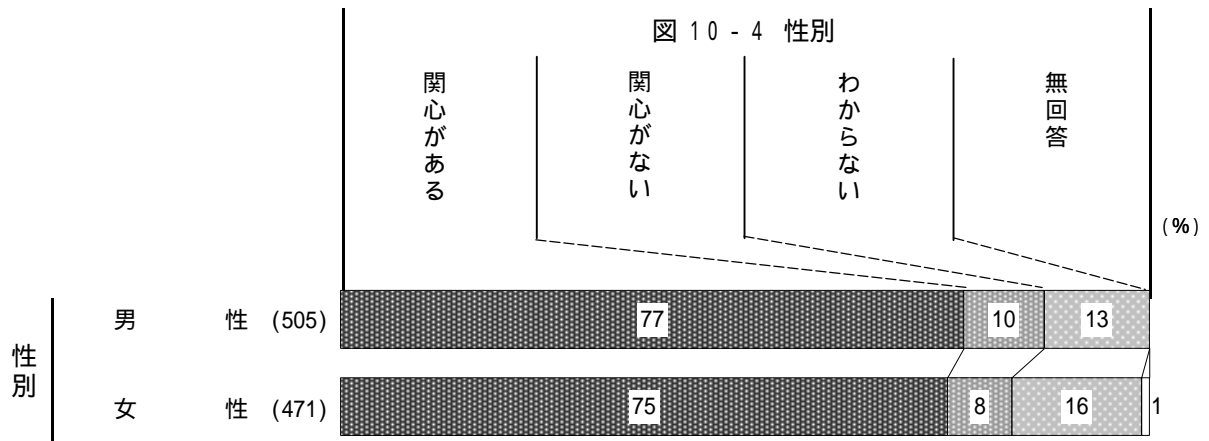
・「興味がある」は、昨年に比べ（5%）後退している。

図 10 - 3 居住地区別

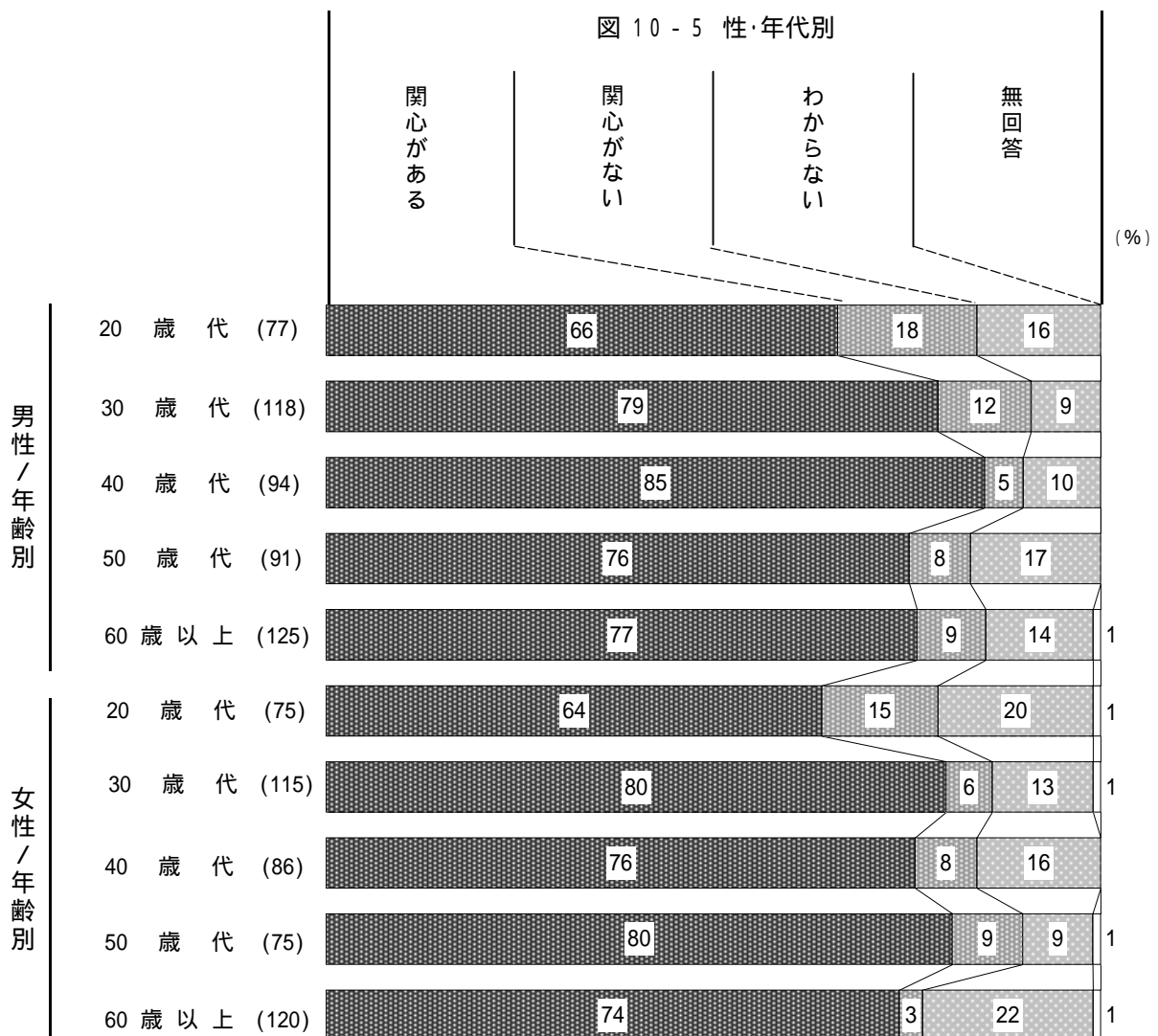


・「興味がある」は、中原区（80%）、麻生区（80%）、多摩区（79%）で比較的高い。

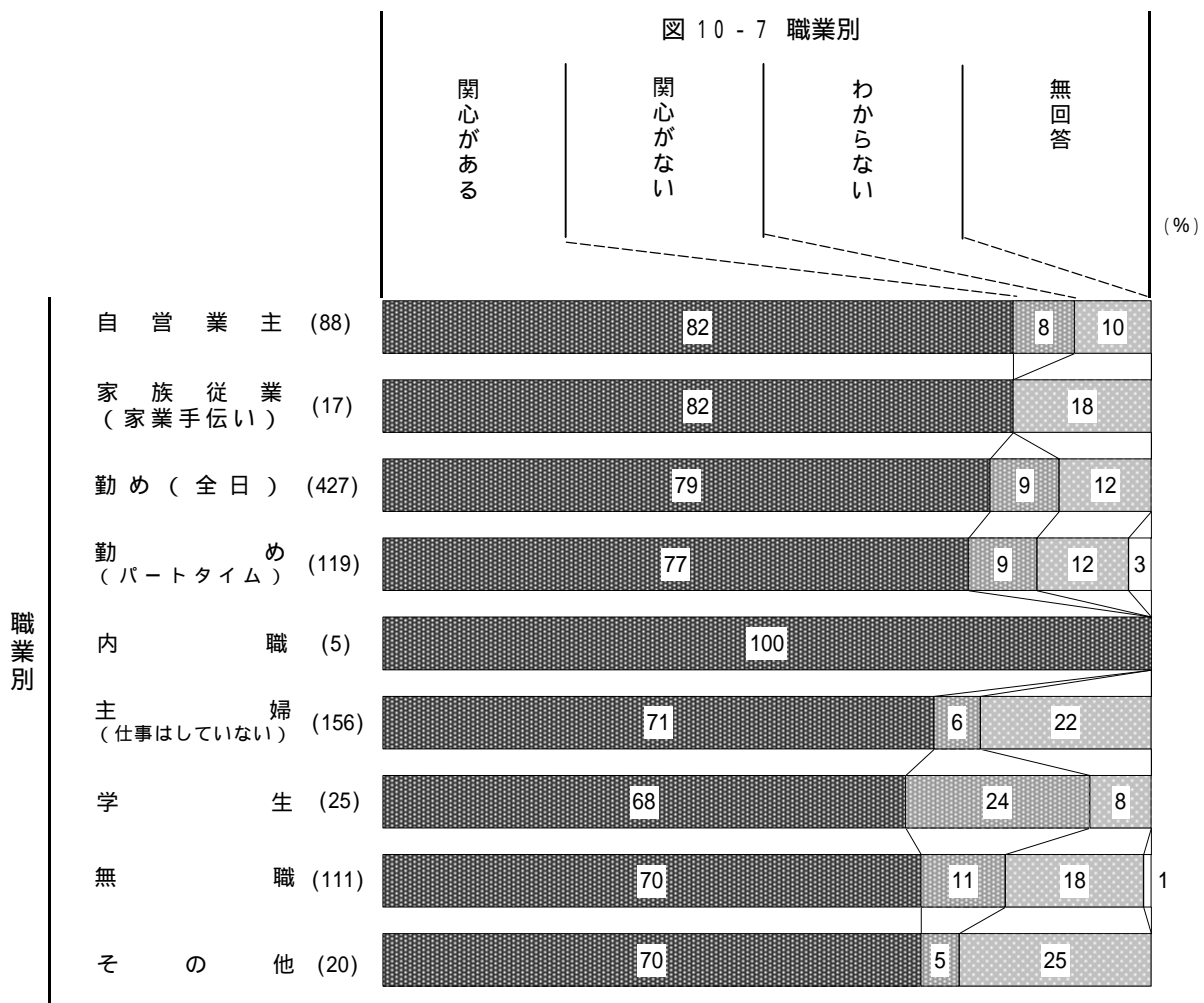
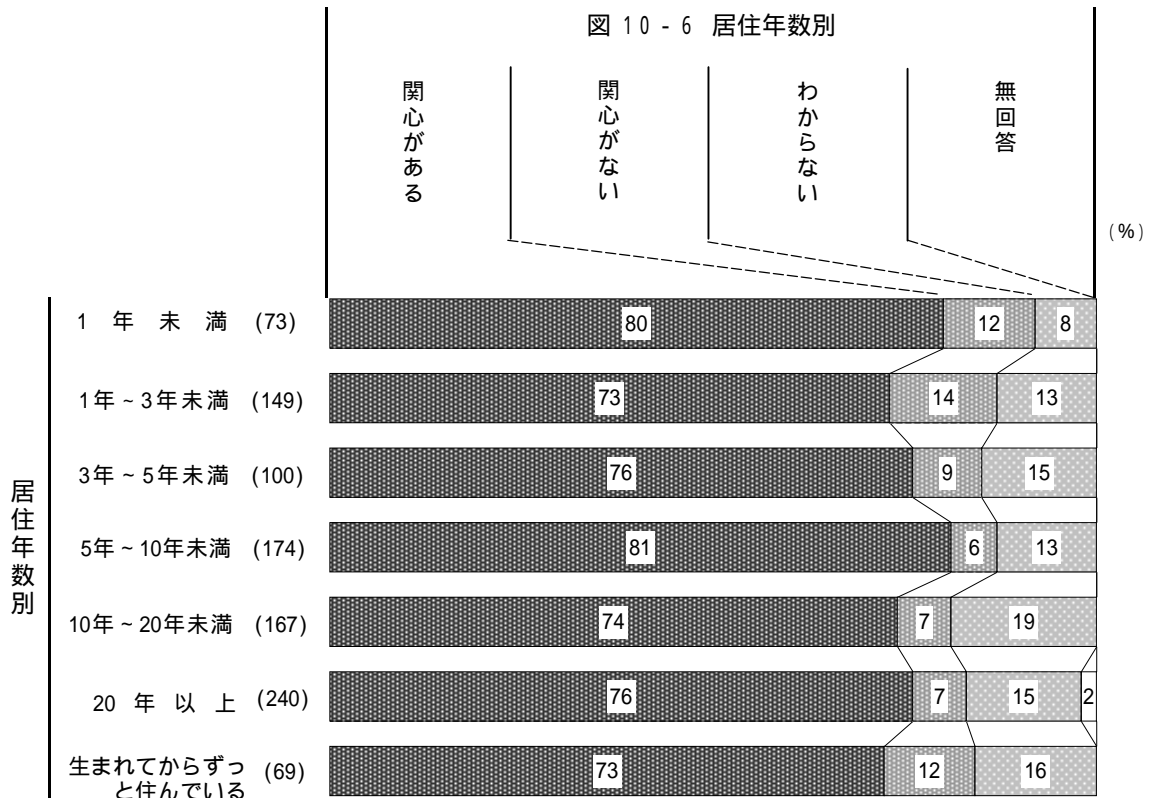




・「関心がある」は、男性の方が（2%）女性より高い。



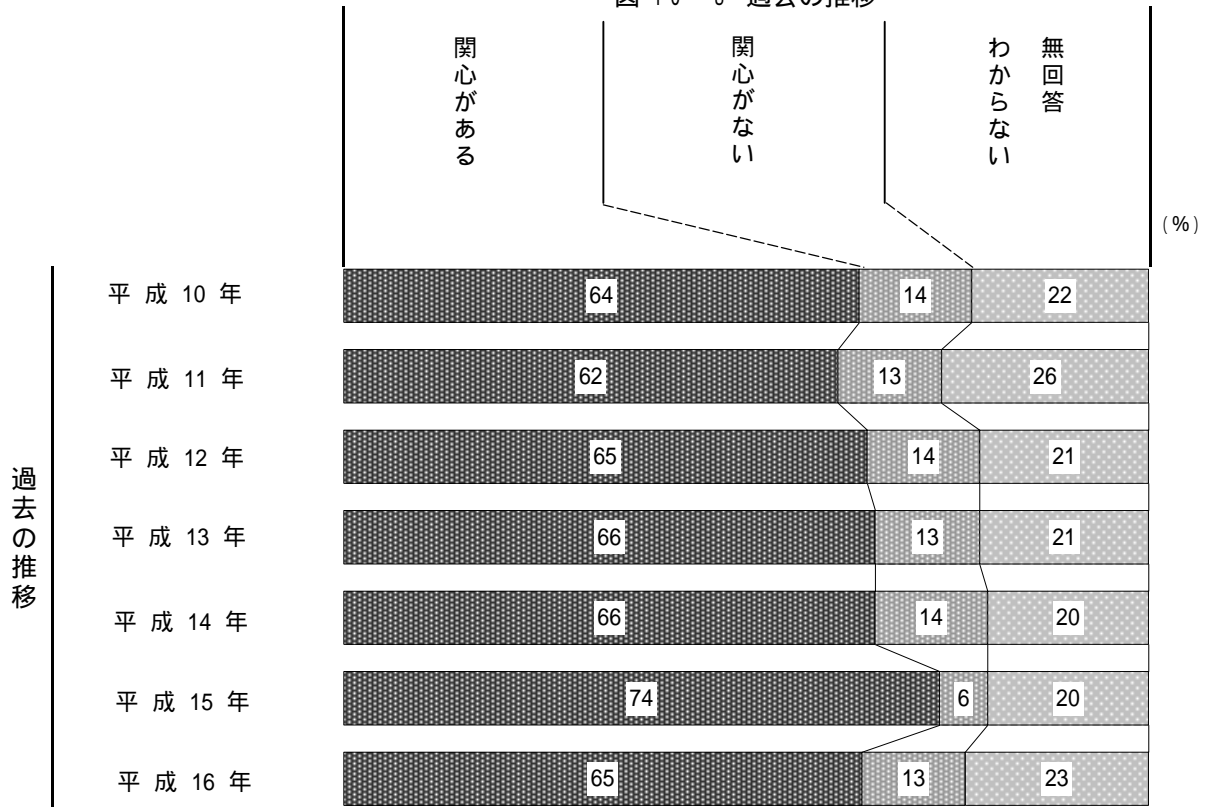
・「関心がある」で最も高いのは、男性40歳代（85%）、次いで女性30歳代（80%）、女性50歳代（80%）の順となっている。  
 ・最も低いのは、女性20歳代（64%）である。



・「興味がある」で「自営業主」が（82%）で高い傾向となっている。  
 （印の記号は、サンプル数が少ないのでコメントしていない）

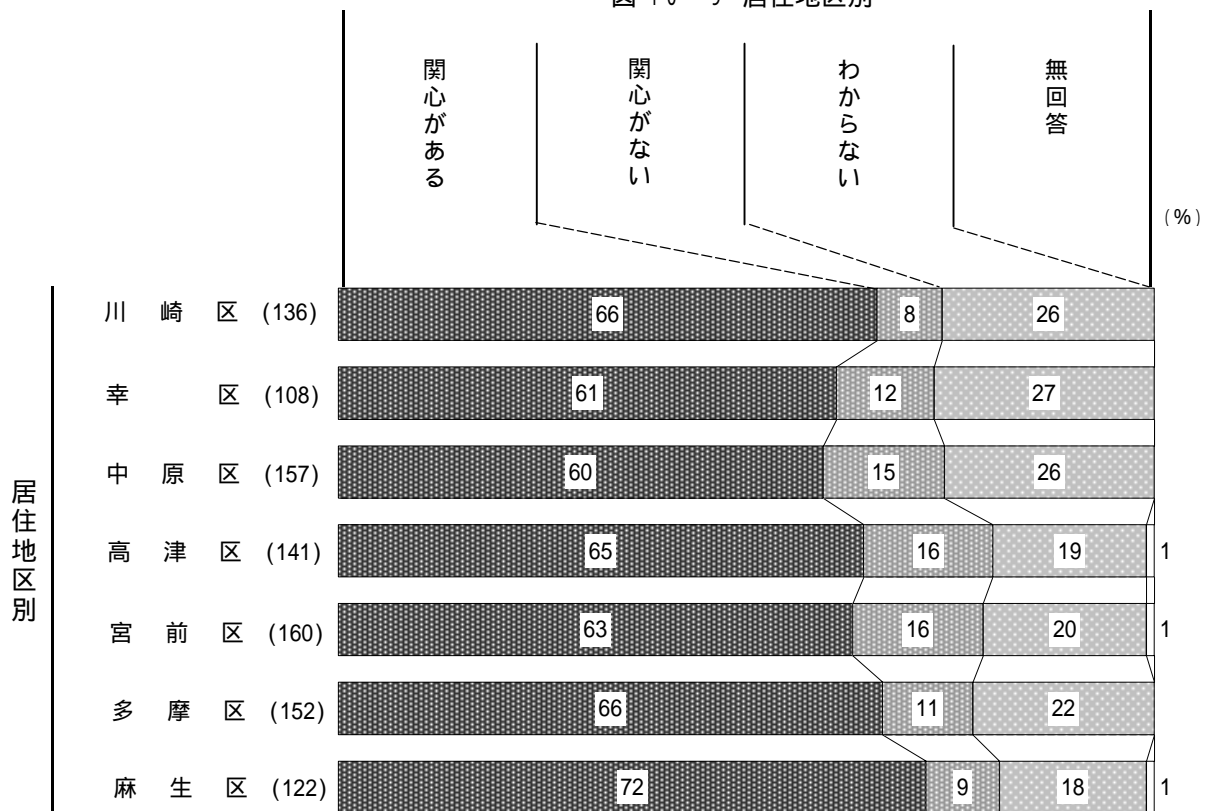
市が今後どのような事業に重点を置いているか

図 10 - 8 過去の推移

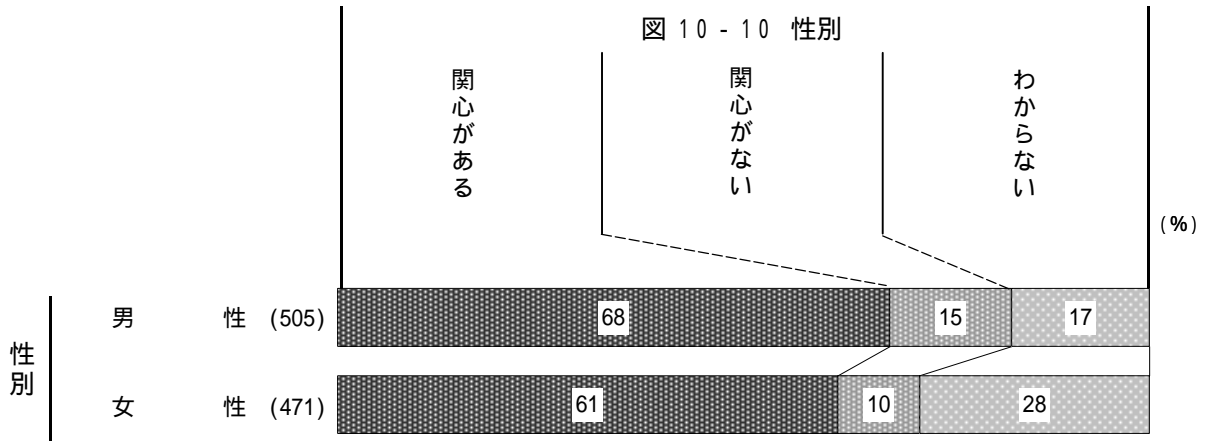


・「関心がある」は、昨年に比べ（9%）後退している。

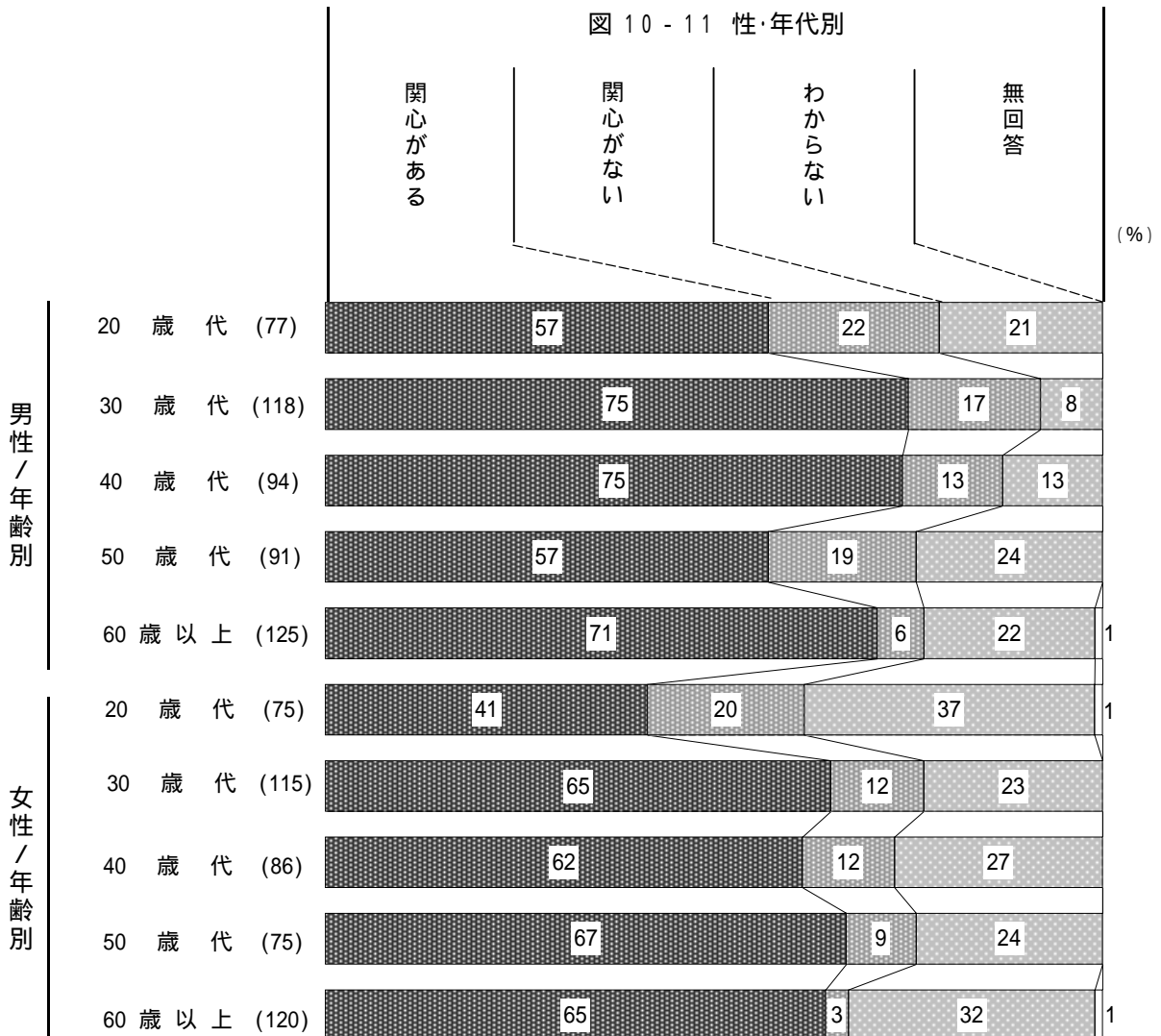
図 10 - 9 居住地区別



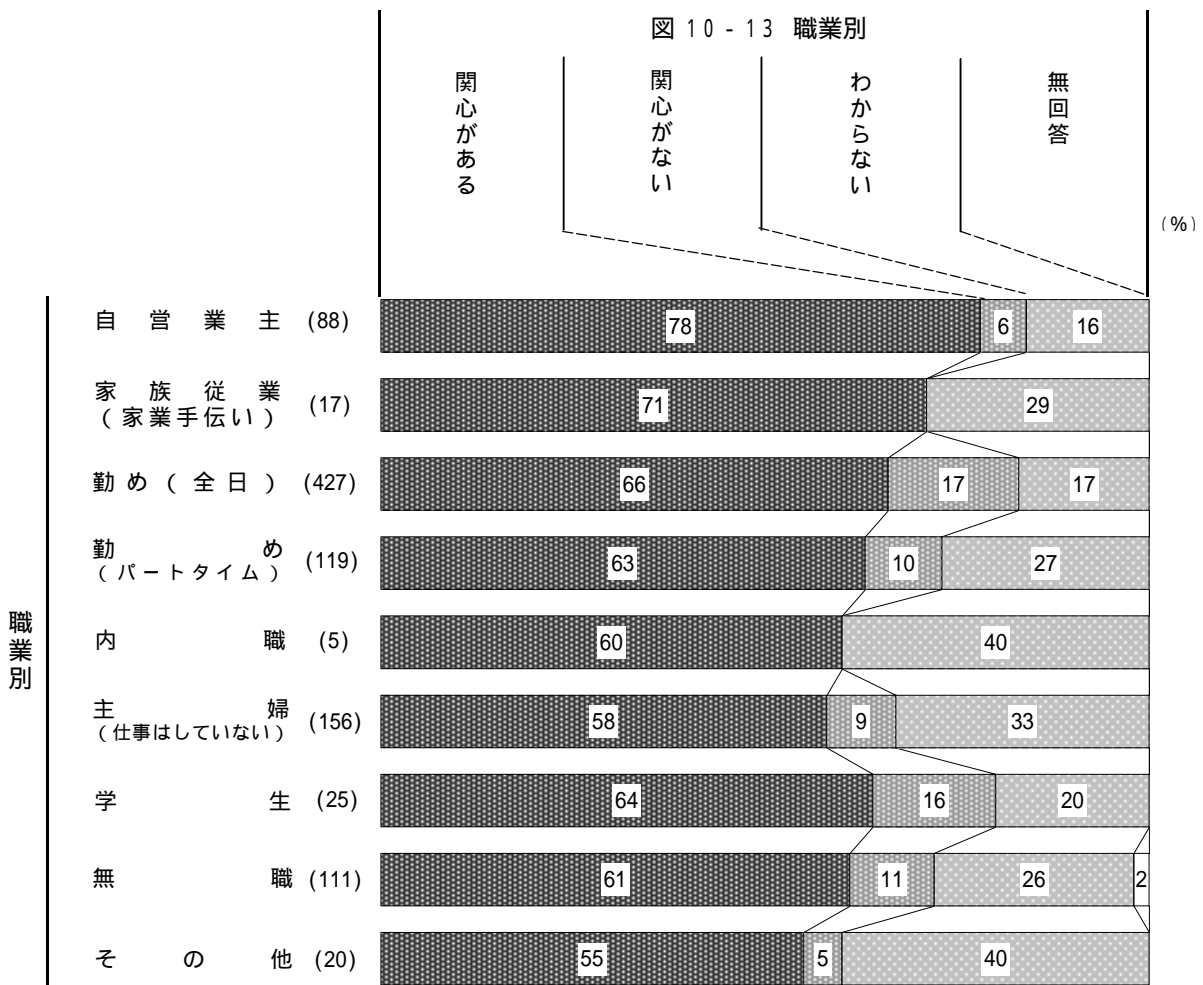
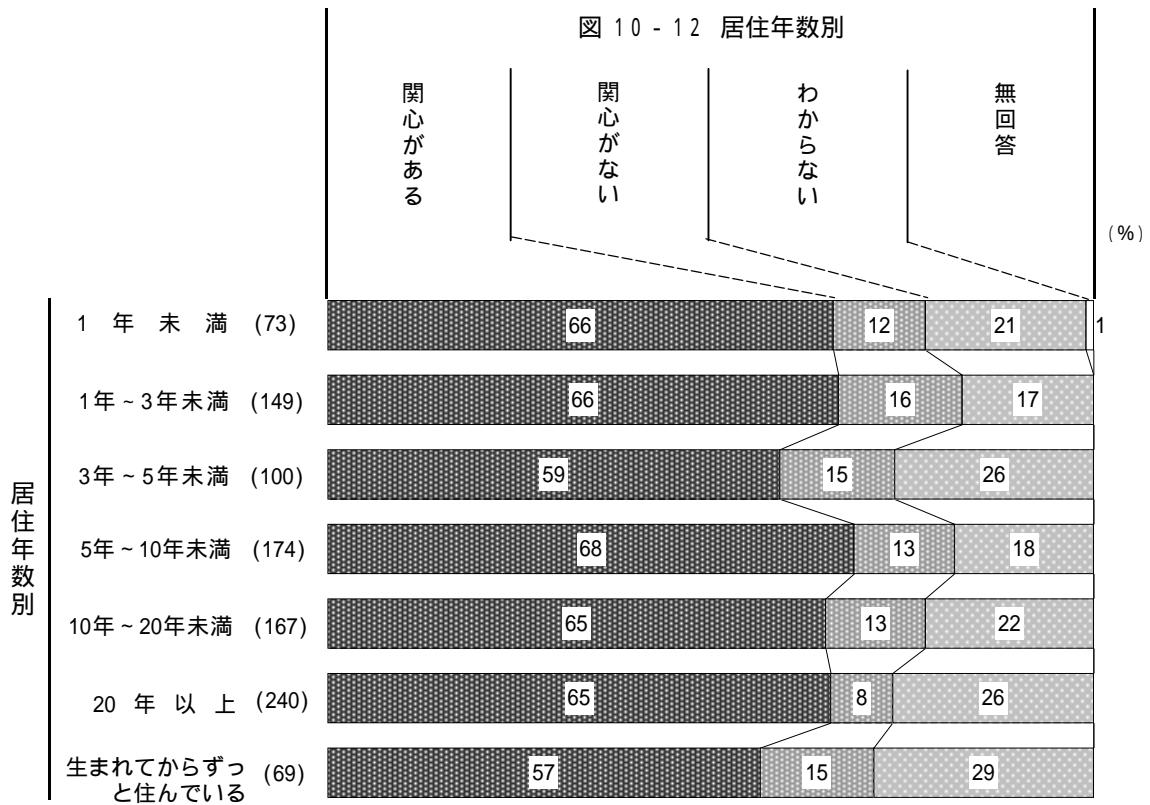
・「関心がある」で麻生区（72%）が、唯一（70%）台で最も高い。



・「興味がある」は、男性の方が（7%）女性より高い。



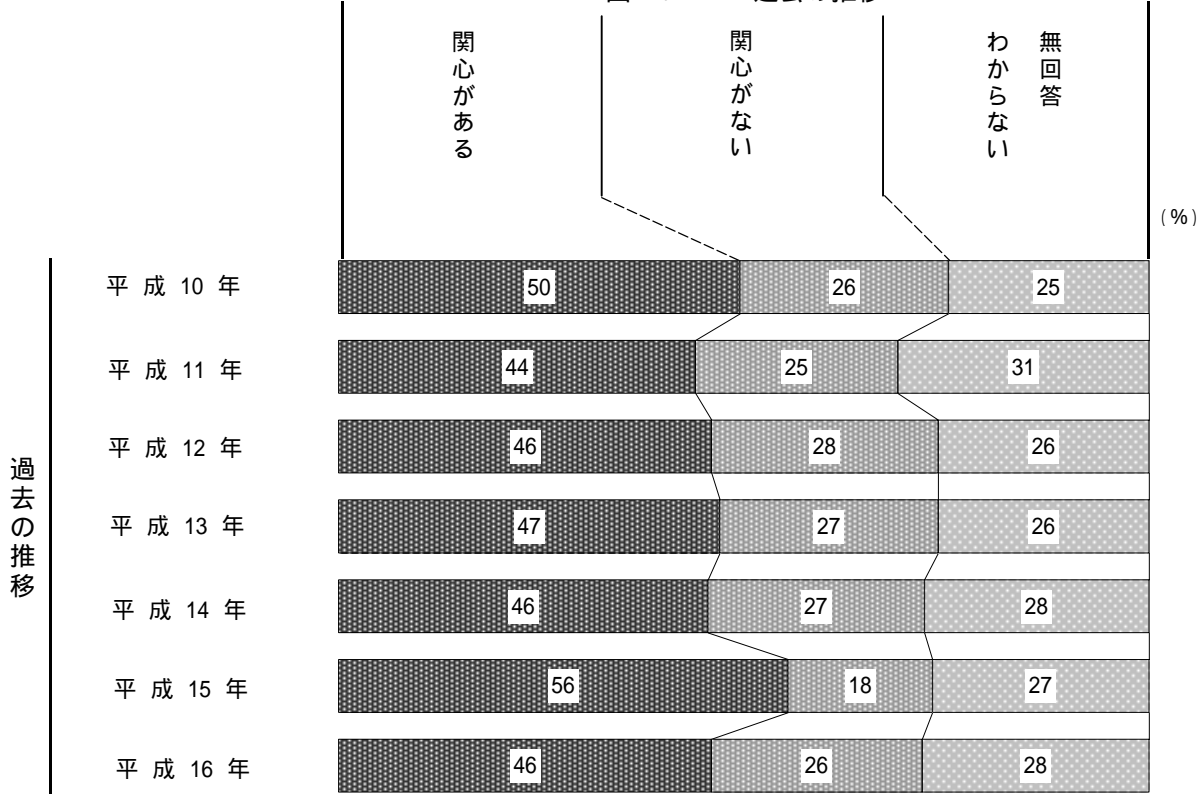
・「興味がある」は、女性20歳代が唯一（40%）台で最も低い。



・「興味がある」は、「自営業主」の(78%)で高い傾向にある。  
 ( 印の記号は、サンプル数が少ないのでコメントしていない)

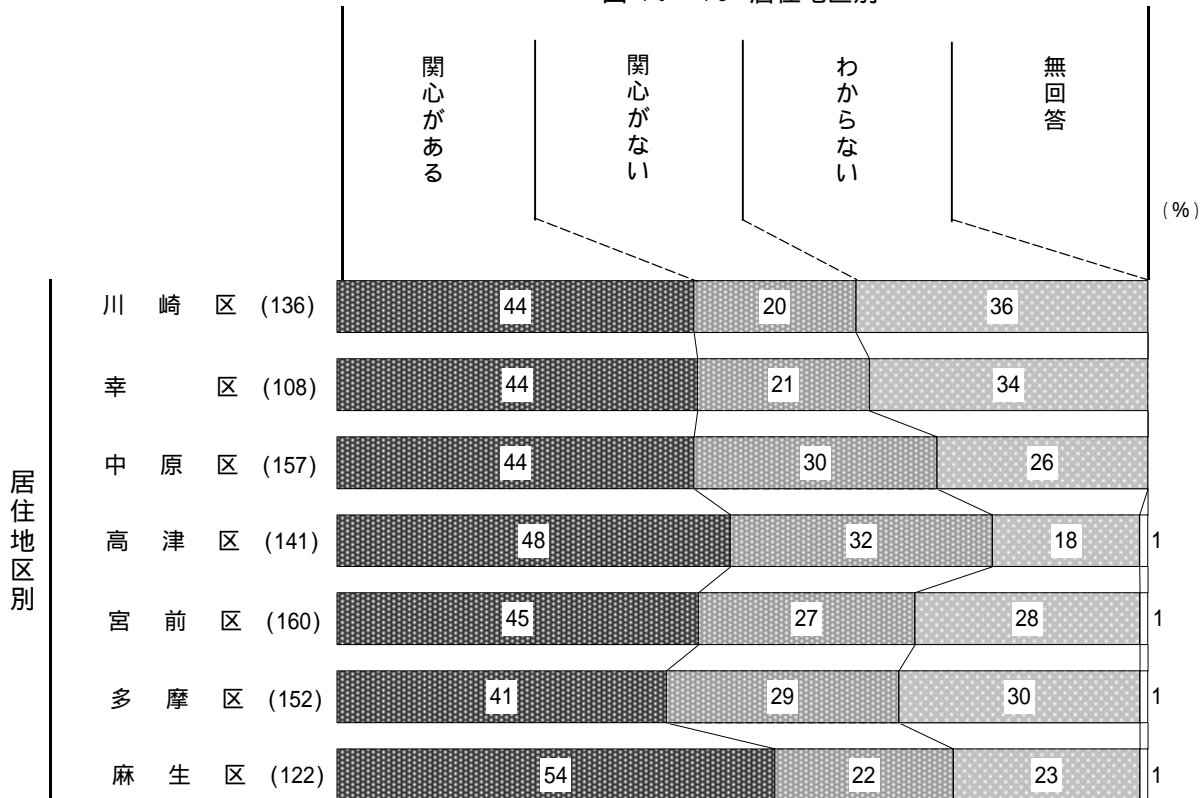
市長や議員がどんな活動をしているか

図 10 - 14 過去の推移

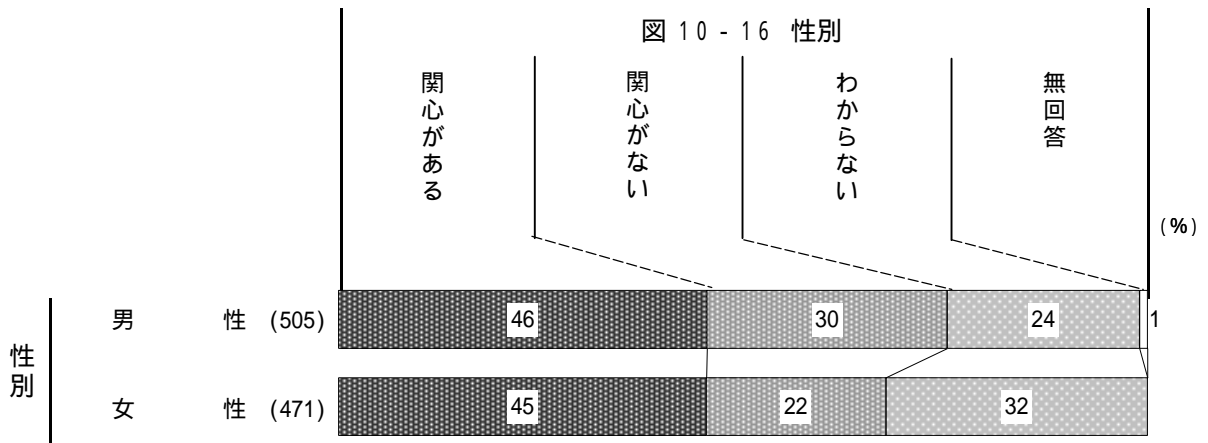


・「興味がある」は、昨年に比べて（10%）後退している。

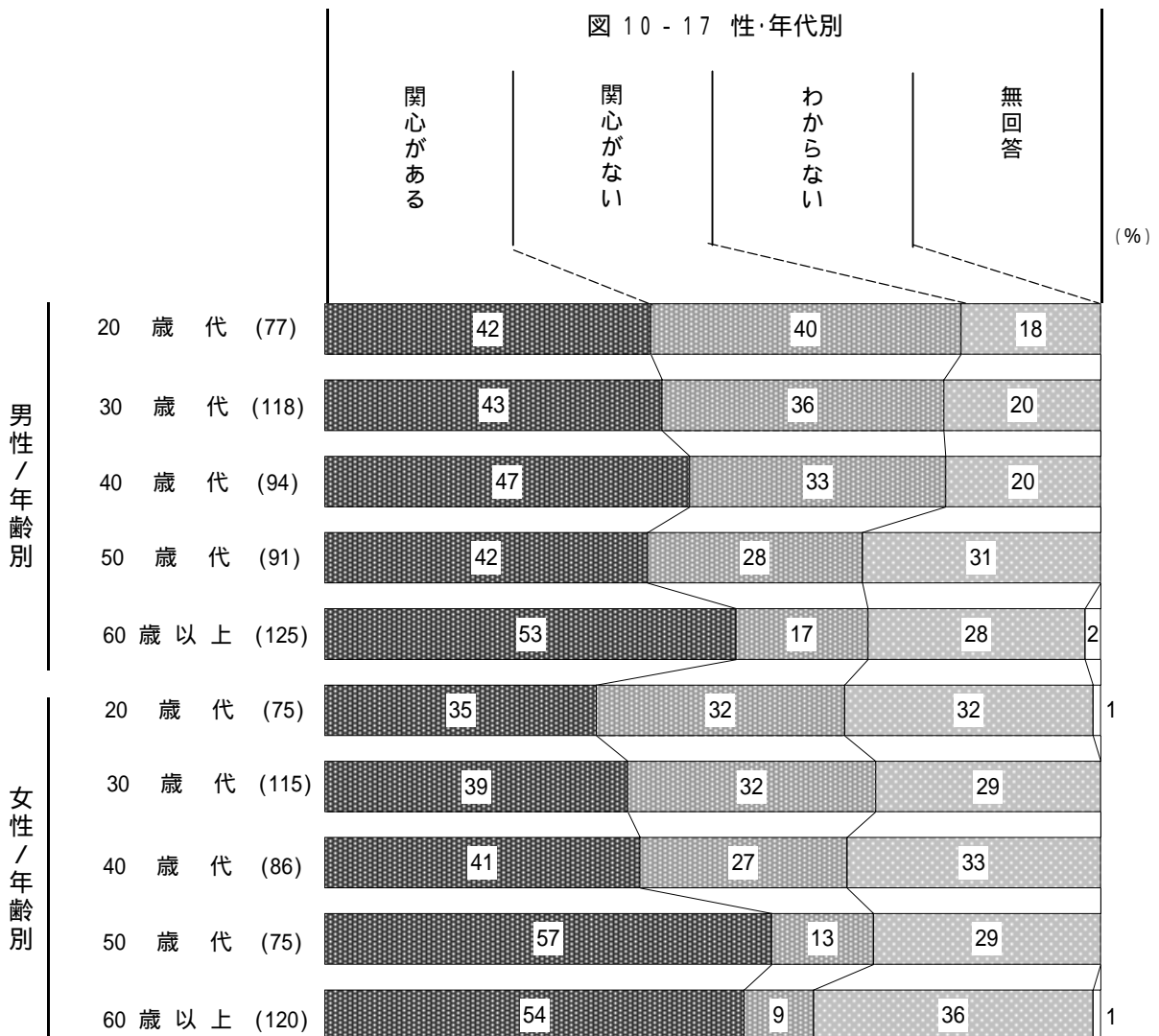
図 10 - 15 居住地区別



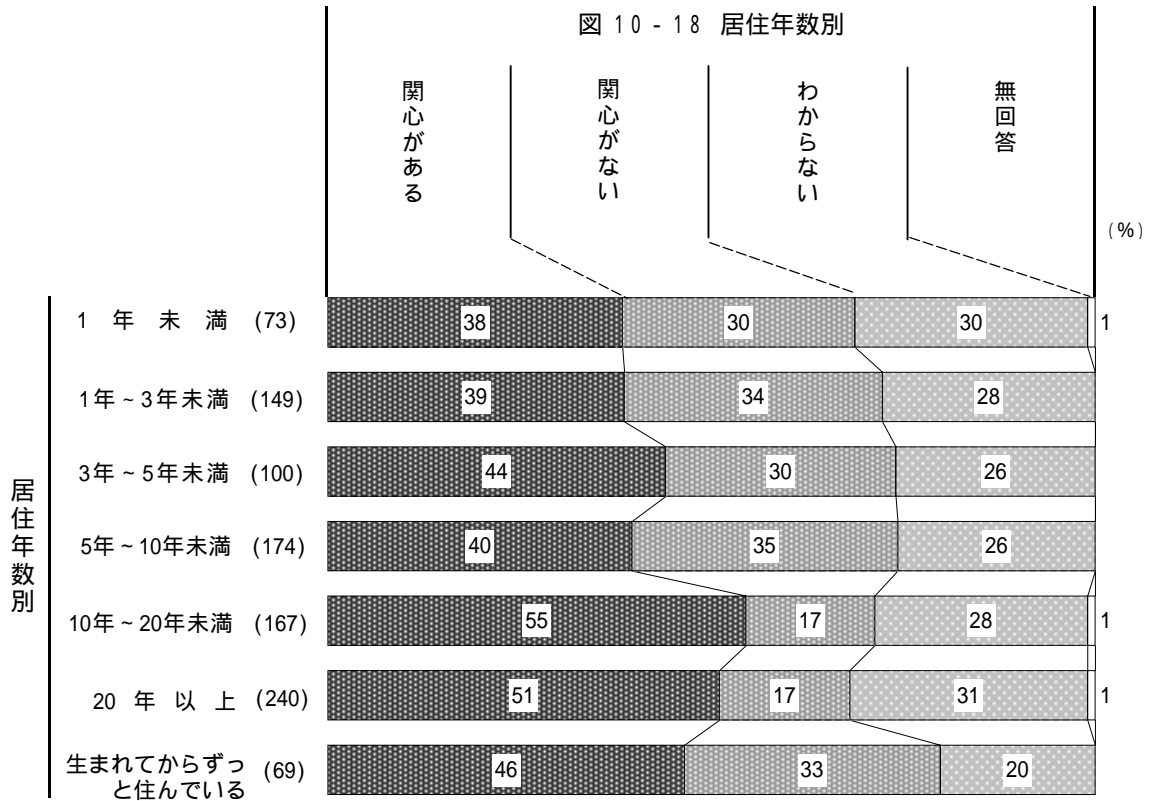
・「興味がある」は、麻生区（54%）が唯一（50%）台と最も高い。



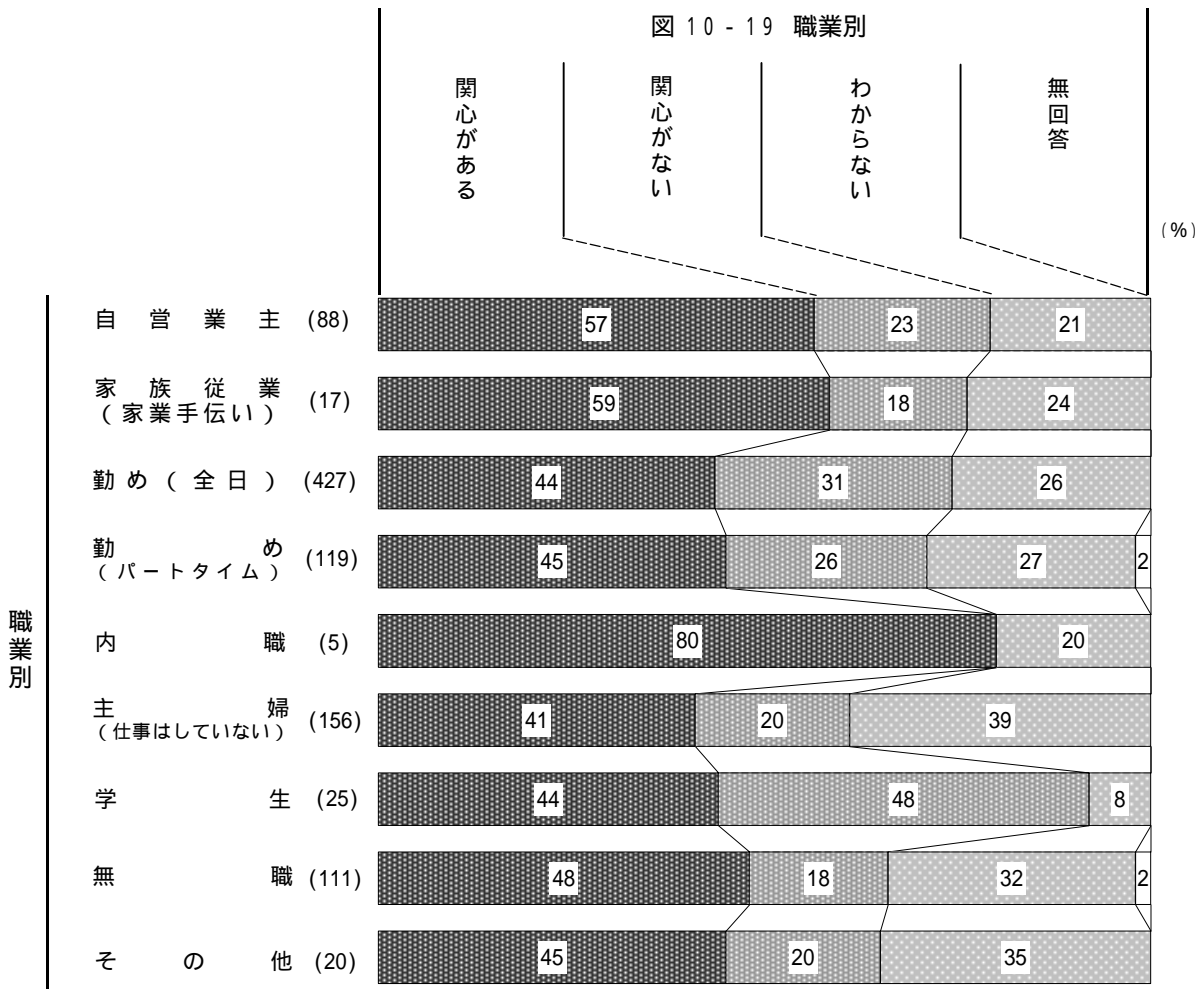
・「興味がある」の男女差は、（1%）で殆ど同率である。



・「興味がある」で最も低いのは、女性20歳代（35%）である。



・「興味がある」は、「1年未満」と「1年～3年未満」が（30％）台で比較的低い。

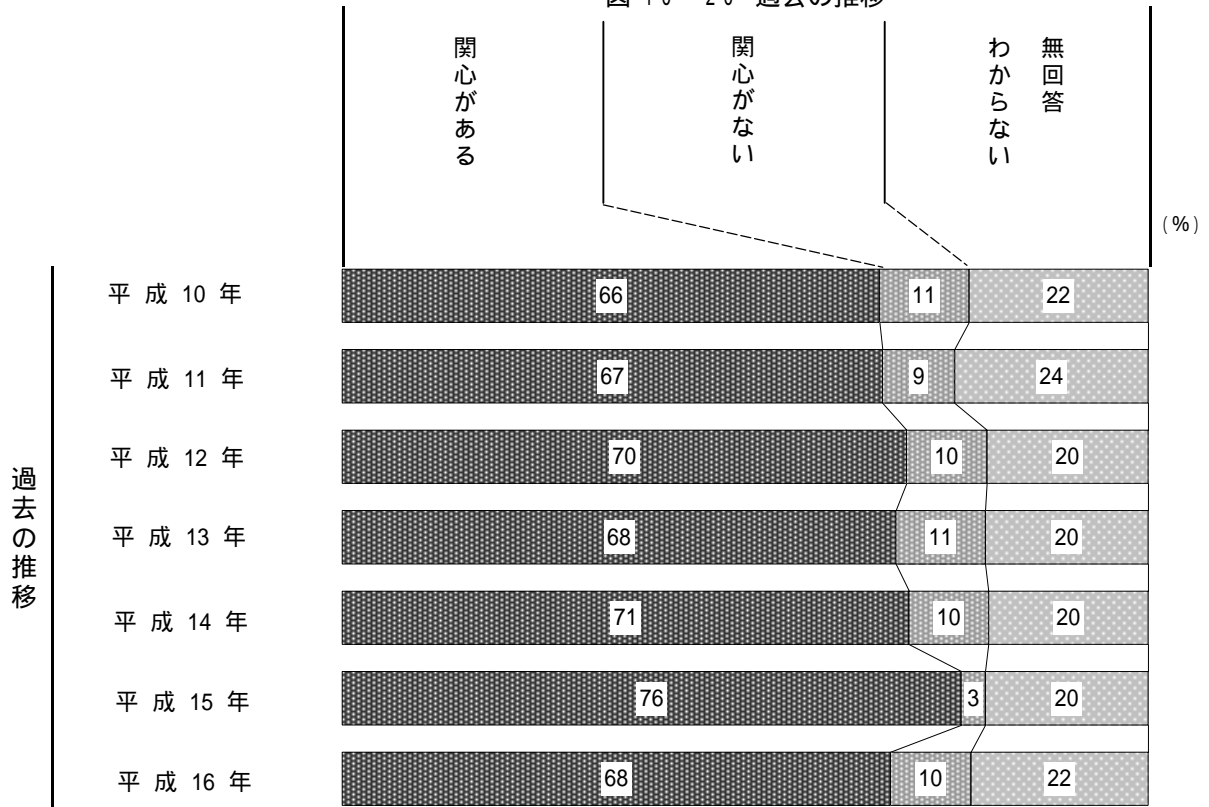


・「興味がある」は、「自営業主」が（57％）と高い傾向にある。  
（印の記号は、サンプル数が少ないのでコメントしていない）



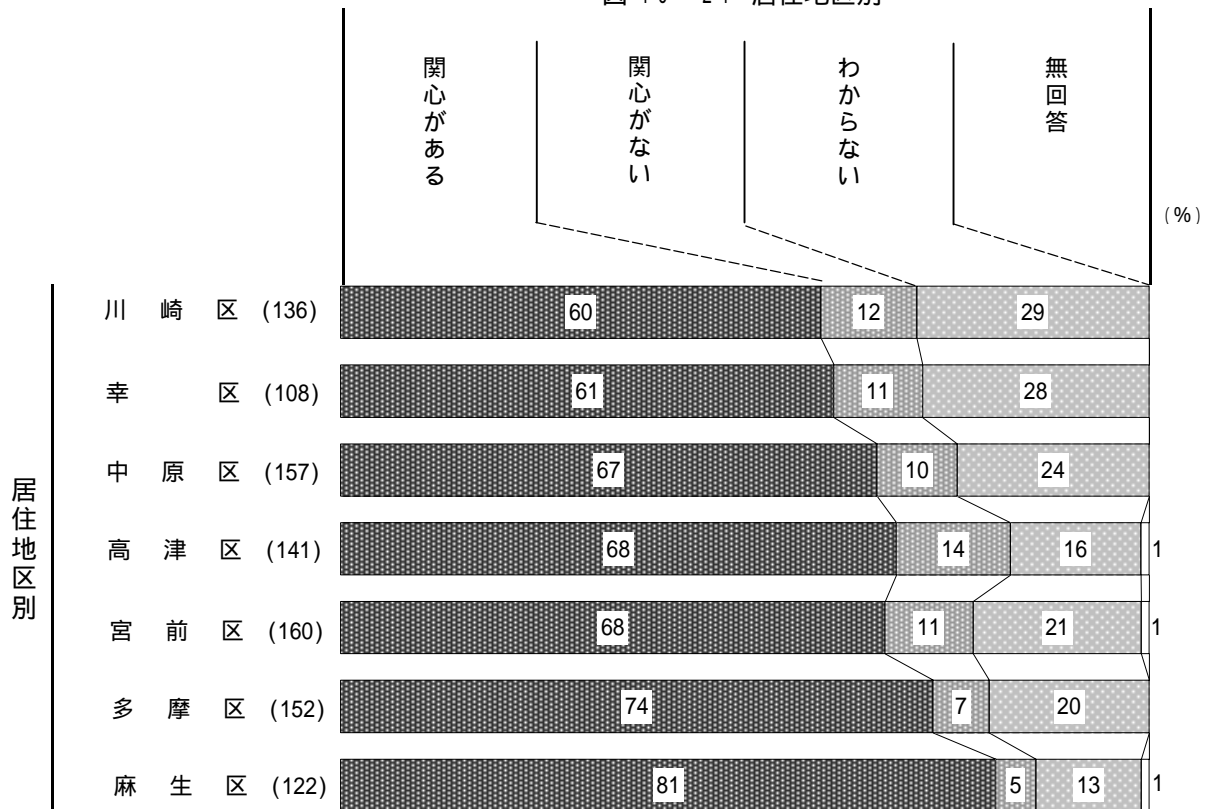
住まいの近くでどんな事業が計画されているか

図 10 - 20 過去の推移

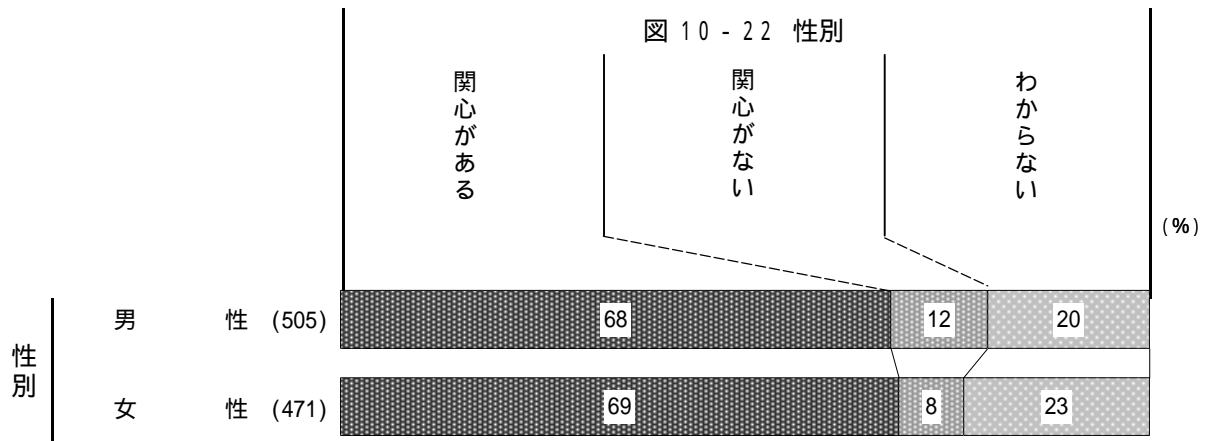


・「興味がある」は、昨年に比べて（8%）後退している。

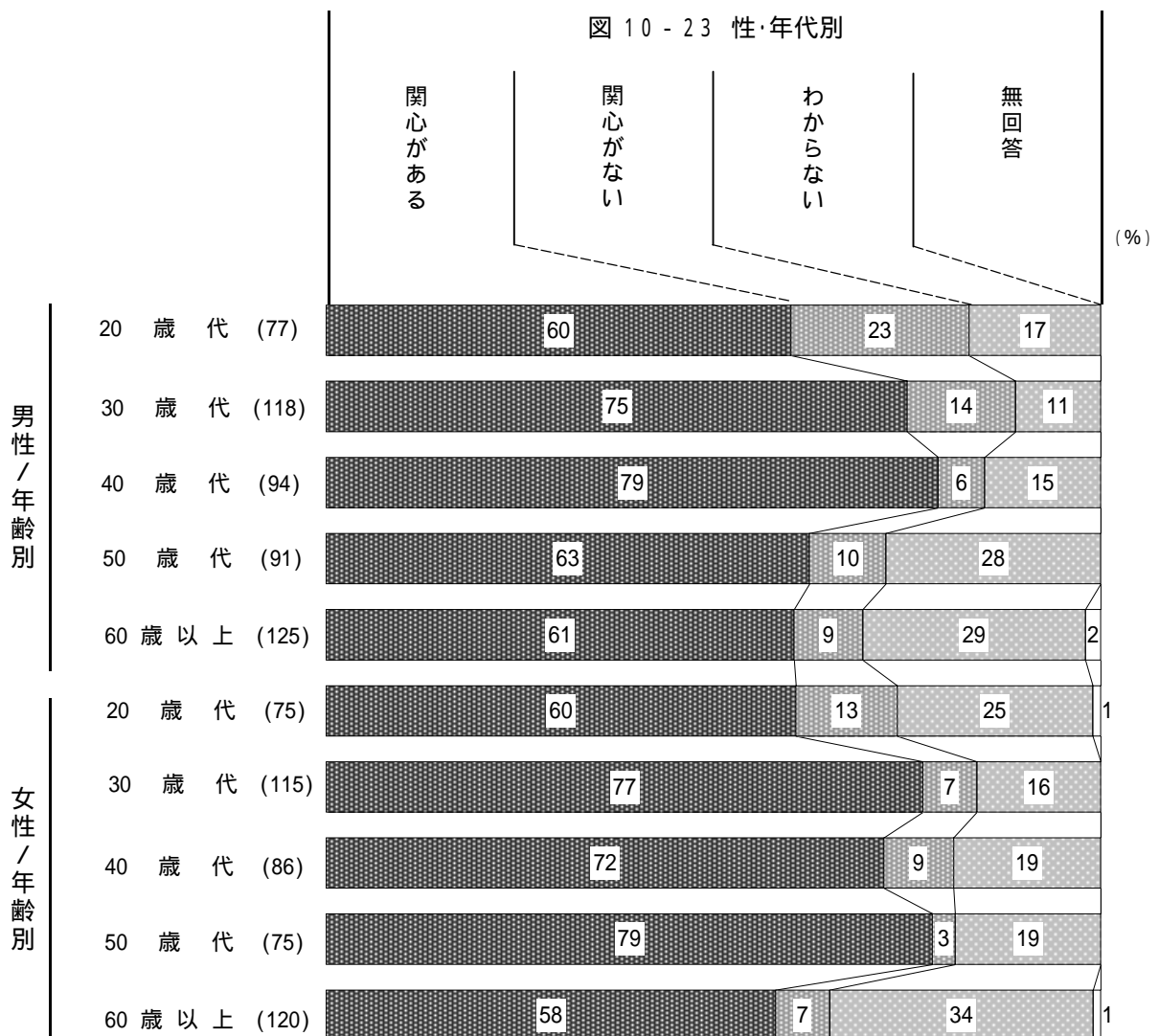
図 10 - 21 居住地区別



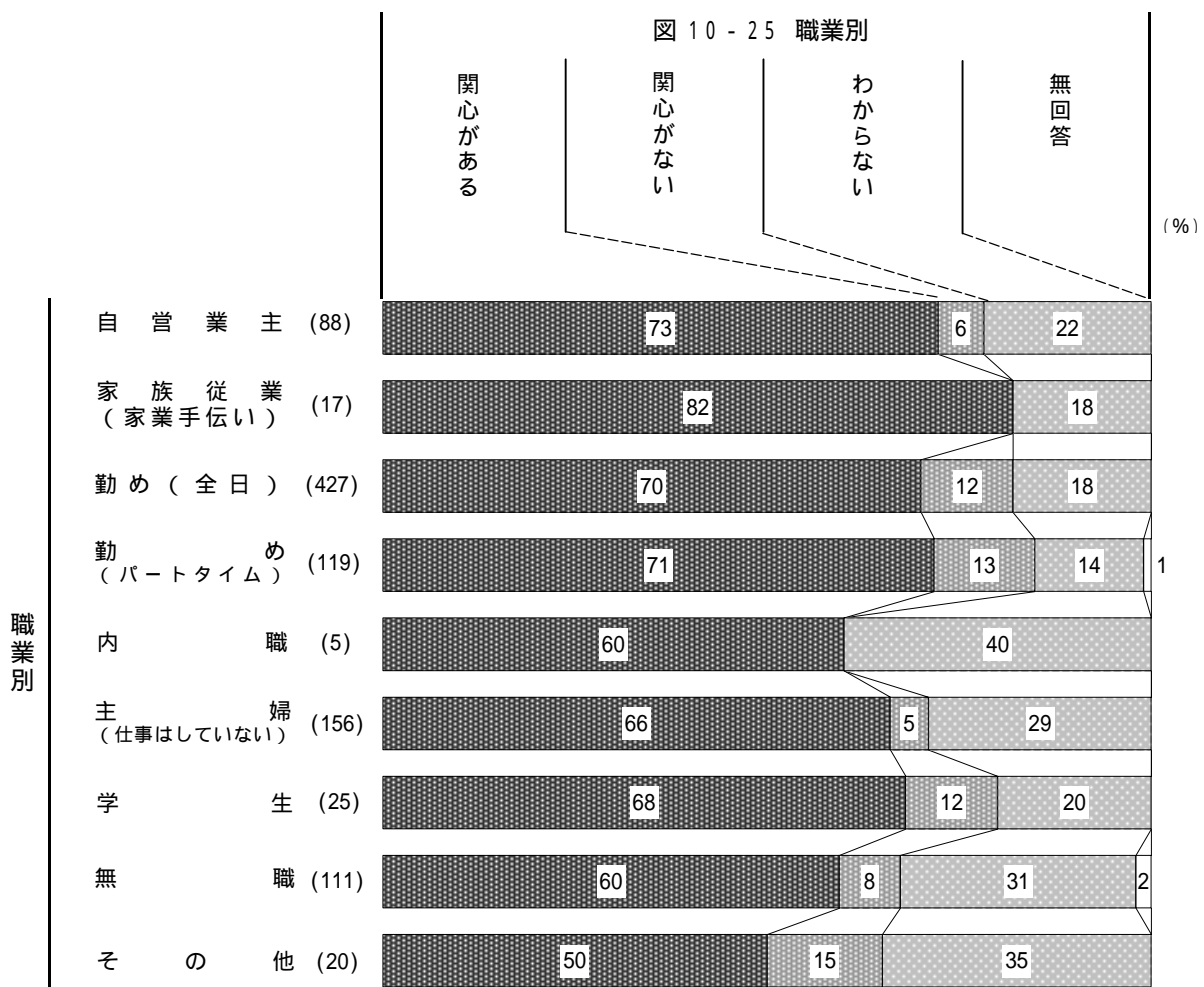
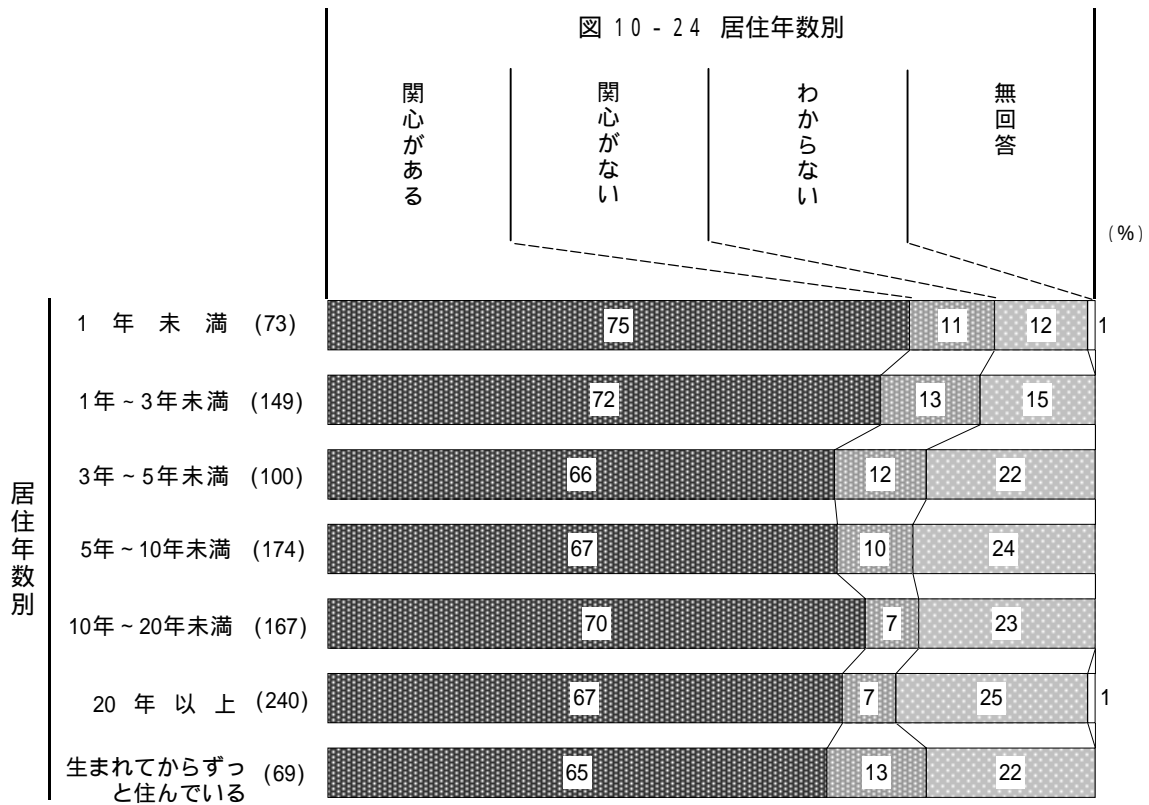
・「興味がある」で、麻生区（81%）が唯一（80%）台と最も高い。



・「興味がある」の男女別は殆んど差がなく、ほぼ同率である。



・「興味がある」で最も高いのは (79%) で、男性40歳代と女性50歳代である。

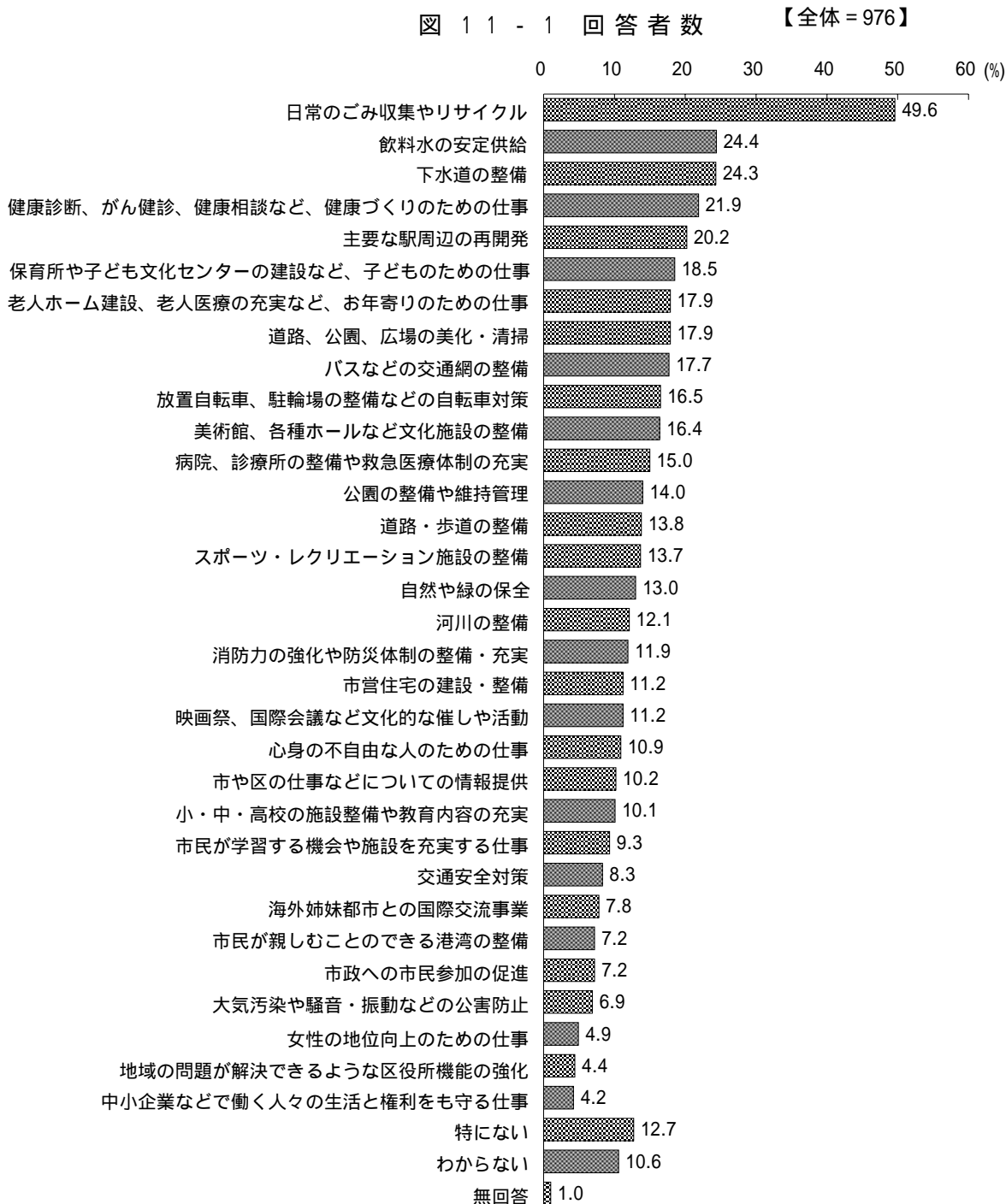


・「興味がある」は、「自営業主」が(73%)と高い傾向にある。  
 ( 印の記号は、サンプル数が少ないのでコメントしていない)

## 6. 市政に対する評価と要望

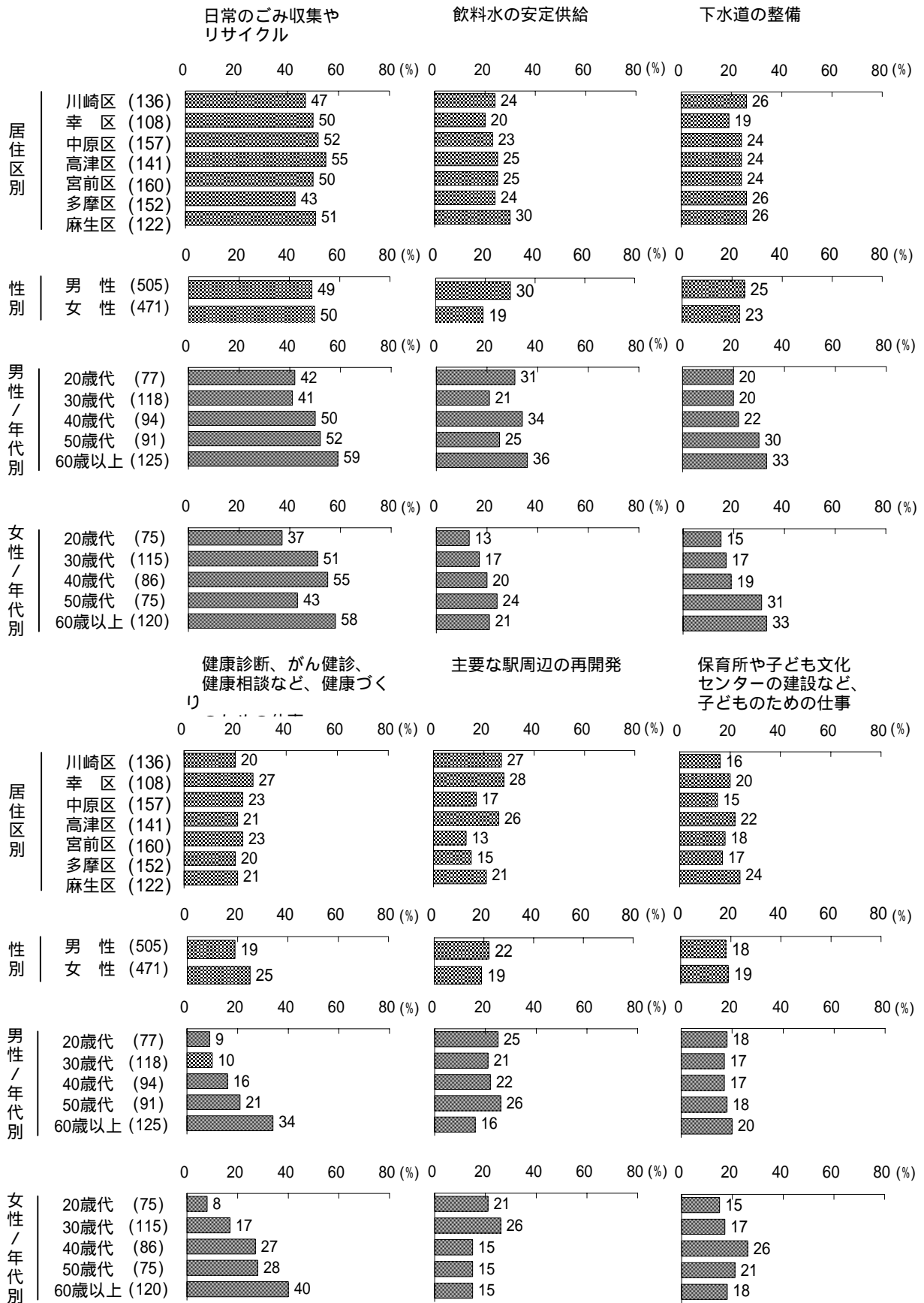
### (1) よくやっている施策

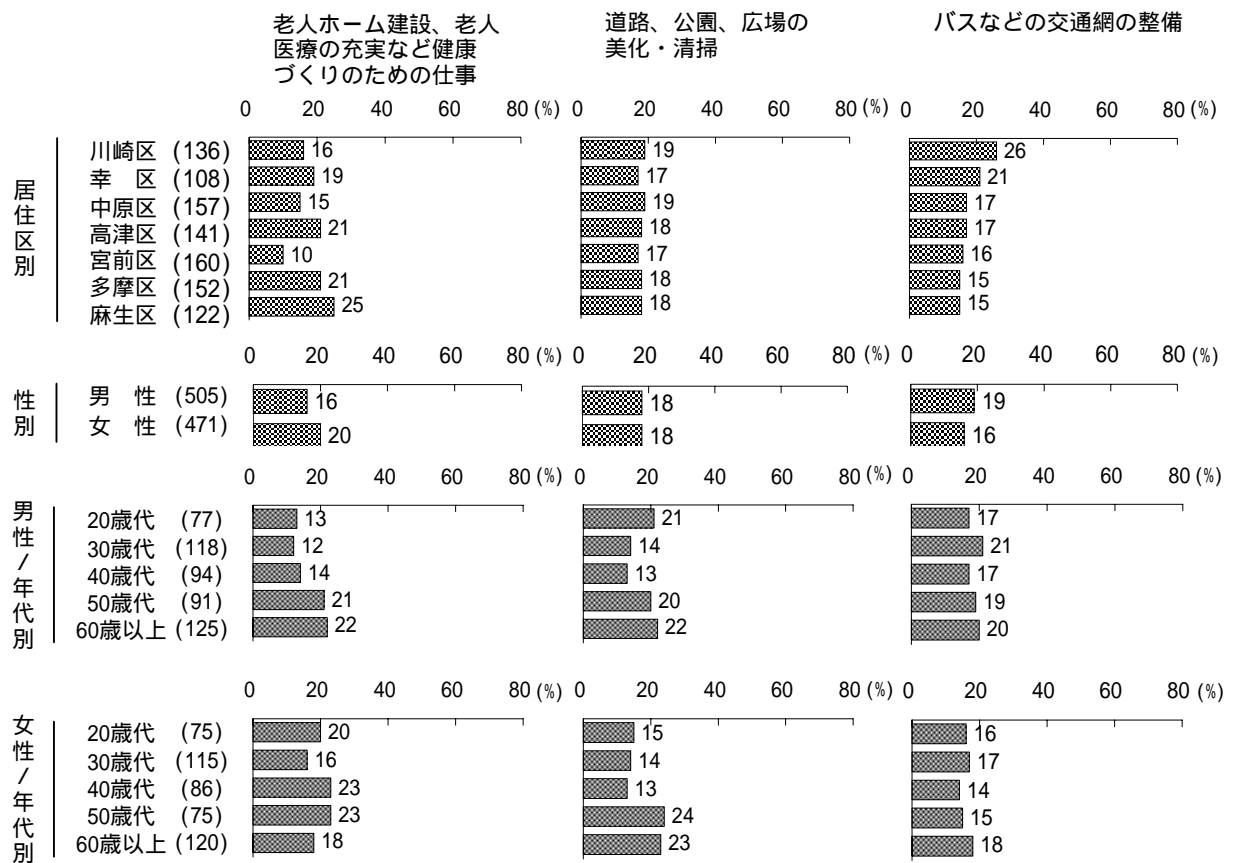
問11 これまでおたずねしたことは別に、市政について総合的に伺います。  
次にあげる仕事の中で、よくやっていると思われるものは、どれですか。(いくつでも)



- ・ 市政に対して良くやっていると思われる施策の上位3位は、「日常のごみ収集やリサイクル」(49.6%)が断然高く、次いで「飲料水の安定供給」(24.4%)、「下水道の整備」(24.3%)である。
- ・ 反対に最も低いのは(4%)台で、「中小企業などで働く人々の生活と権利を守る仕事」(4.2%)、「地域の問題が解決できるような区役所機能の強化」(4.4%)、「女性の地位向上のための仕事」(4.9%)である。

図 11 - 2 居住区別 / 性別 / 性年代別 (上位 9 項目)

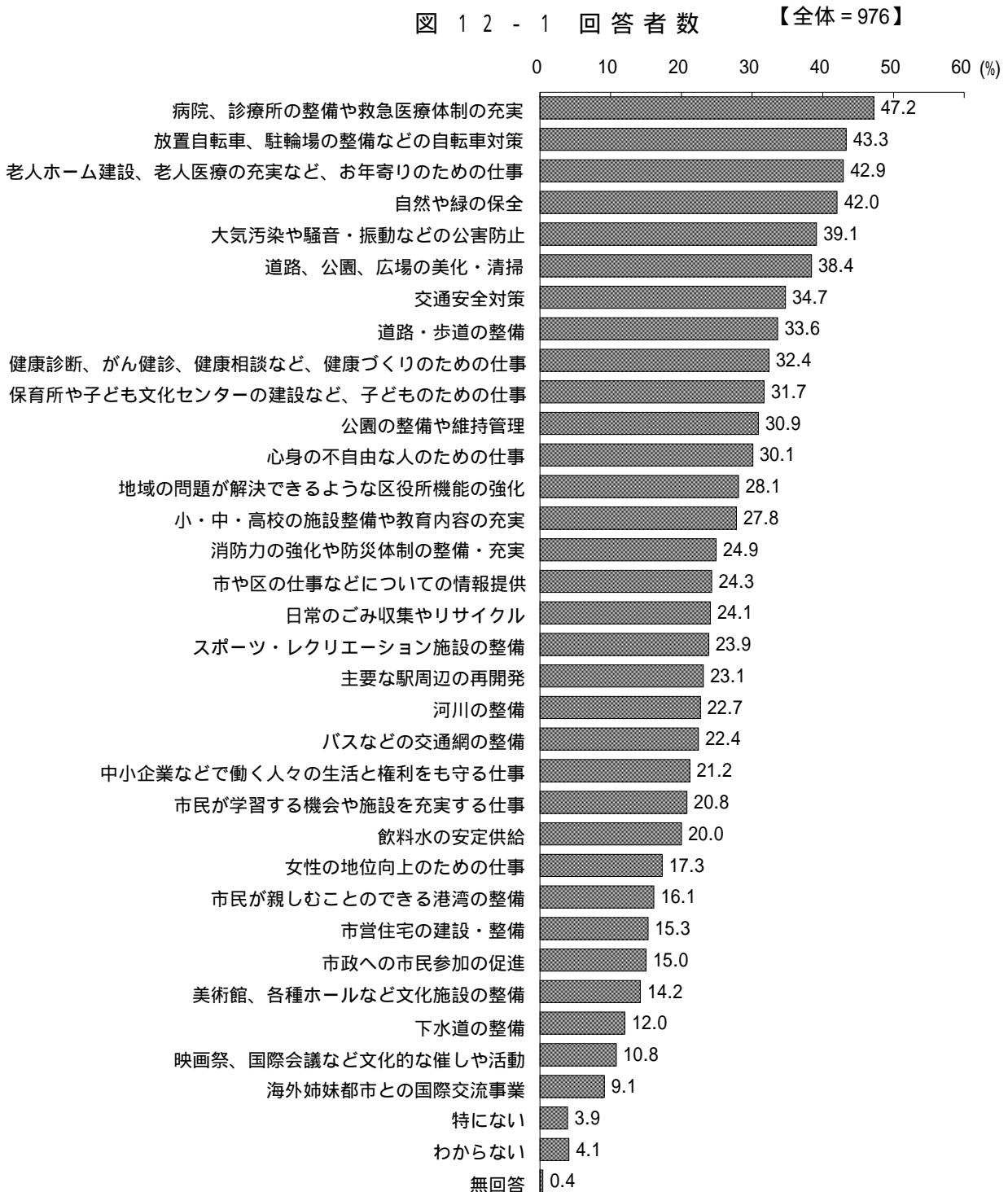




- ・ 最多の「日常のごみ収集やりサイクル」の性、年代別では、女性50歳代を除いて男女とも年代が上がるにつれ評価が上昇している傾向である。
- ・ 「下水道の整備」、「健康診断、がん健診、健康相談など、健康づくりのための仕事」も「日常のごみ収集やりサイクル」に比べ全体的に評価は低いですが、年代が上がるにつれ評価が上昇している。
- ・ 「飲料水の安定供給」では、男性の方が女性より（11%）評価が高い。
- ・ 「健康診断、がん健診、健康相談など、健康づくりのための仕事」は、女性の方が男性より（6%）評価が高い。
- ・ 「主要な駅周辺の再開発」では、市全体平均より下回っているのは、中原区（17%）、宮前区（13%）、多摩区（15%）である。
- ・ 「老人ホーム建設、老人医療の充実など健康づくりのための仕事」では宮前区が（10%）で、評価が最も低い。
- ・ 「道路、公園、広場の美化・清掃」で男女とも50歳代以上が、それ以下の年代に比べ評価が高くなっている。

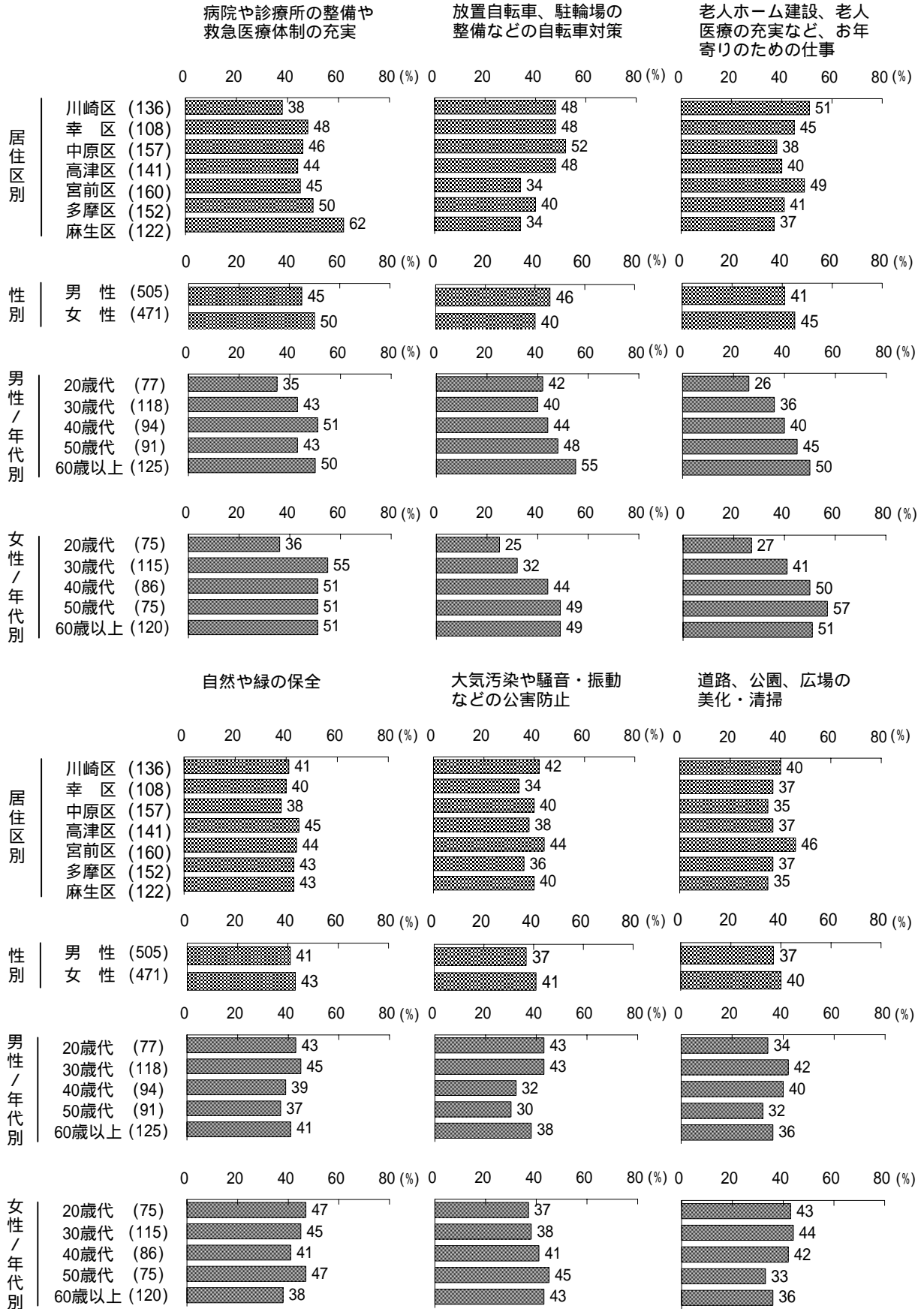
## (2) 力を入れるべき施策

問12 では、今後特に力を入れてほしいとお考えのものは、どれですか。(いくつでも)

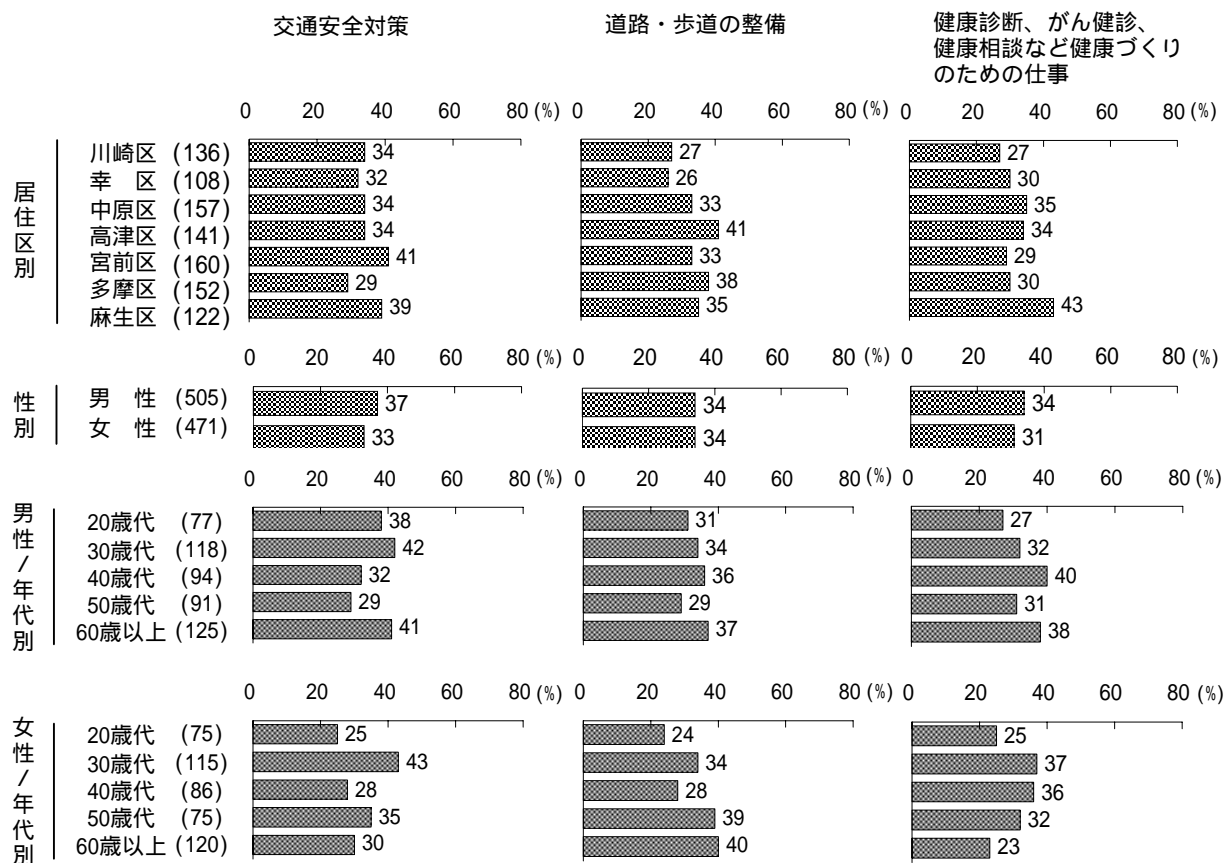


- ・ 市政に対して、今後力を入れてほしい施策の中で、(40%)台で上位4位は、「病院、診療所の整備や救急医療体制の充実」(47.2%)、「放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策」(43.3%)、「老人ホーム建設、老人医療の充実など、お年寄りのための仕事」(42.9%)、「自然や緑の保全」(42.0%)の順である。

図 12 - 2 居住区別 / 性別 / 性年代別 (上位9項目)







- ・上位4項目中、第1位の「病院や診療所の整備や救急医療体制の充実」では、麻生区が唯一（60%）台で最も高い。
- ・第2位の「放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策」では、男性の方が（6%）女性より要望が高い
- ・第3位の「老人ホーム建設、老人医療の充実など、お年寄りのための仕事」では、女性60歳以上を除いて、男女とも年代が上がるにつれ要望が高まっている傾向である。
- ・「健康診断、がん健診、健康相談など健康づくりのための仕事」では、麻生区が唯一（40%）台で最も高い。